

令和4年度第1回ゆりはま創生総合戦略会議

日 時 令和4年6月1日（水）

10時～

場 所 湯梨浜町役場講堂

1. 開 会

2. 町長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るK P I の状況及び具体的事業の取組状況について・・・資料1～5

5. 第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について・・・資料6

6. その他

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業効果検証について・・・資料7、8

7. 閉 会

ゆりはま創生総合戦略会議委員名簿

任期：令和3年5月27日～令和5年5月26日（2年間）

敬称略

	区分	役職	氏名	備考
1	産	湯梨浜町商工会	副会長	石沼 友
2	産	鳥取中央農業協同組合	中央営農センター長	西村 好美
3	産	株式会社 栄進工業	会長	坂田 康則
4	官	湯梨浜町	町長	宮脇 正道
5	学	鳥取看護大学・鳥取短期大学	理事長	山田 修平
6	学	東郷湖・未来創造会議	会長	遠藤 公章
7	学	女性団体連絡協議会	理事	井土 美智子
8	金	山陰合同銀行	羽合支店長	岩谷 悟
9	金	鳥取銀行	羽合支店長	前田 博史
10	金	日本政策金融公庫	鳥取支店国民生活事業統轄	和田 芳廣
11	労	倉吉公共職業安定所	所長	野上 秀和
12	労	労働団体の関係者		加藤 一
13	労	労働団体の関係者		岡本 梓
14	言	新日本海新聞社	編集部報道課デスク	石原 美樹
15	公募	女性公募		佐相 亜友美

	鳥取県中部総合事務所県民福祉局	副局長	野藤 和則	コンシェルジュ
	湯梨浜町	副町長	吉川 寿明	
	湯梨浜町	教育長	山田 直樹	
	湯梨浜町総務課	課長	岩崎 正一郎	
	湯梨浜町議会事務局	局長	山根 薦	
	湯梨浜町出納室	室長	竹本 里香	
	湯梨浜町建設水道課	課長	石本 義之	
	湯梨浜町産業振興課	課長	遠藤 秀光	
	湯梨浜町企画課	課長	上井 明彦	
	湯梨浜町町民課	課長	尾坂 英二	
	湯梨浜町子育て支援課	課長	杉原 美鈴	
	湯梨浜町総合福祉課	課長	前田 知代	
	湯梨浜町健康推進課	課長	林 紀明	
	湯梨浜町長寿福祉課	課長	西田 貴頼	
	湯梨浜町農業委員会	事務局長	藤井 貞宣	
	湯梨浜町教育総務課	課長	山田 志伸	
	湯梨浜町生涯学習・人権推進課	課長	池田 豊具	
	湯梨浜町中央公民館	館長	宮脇 一善	
	湯梨浜町立図書館	館長	岡本 陽子	
	湯梨浜町国民宿舎水明荘	支配人	小椋 誠	
	湯梨浜町みらい創造室	室長	西原 秀昭	事務局
	湯梨浜町みらい創造室	活力創造担当係長	音田 将人	事務局
	湯梨浜町みらい創造室	未来創造担当主事	濱本 怜子	事務局

湯梨浜町の人口動向

資料1

○自然増減は、令和3年は出生数が前年に比べて増加となったが、死亡数の増加が大きく、減少数が拡大した。

○社会増減は、令和3年は転入・転出が前年に比べてそれぞれ減少したが、転出の減少が大きく3年ぶりの転入超過で社会増となった。転入・転出とも県外移動が大幅に減少した。

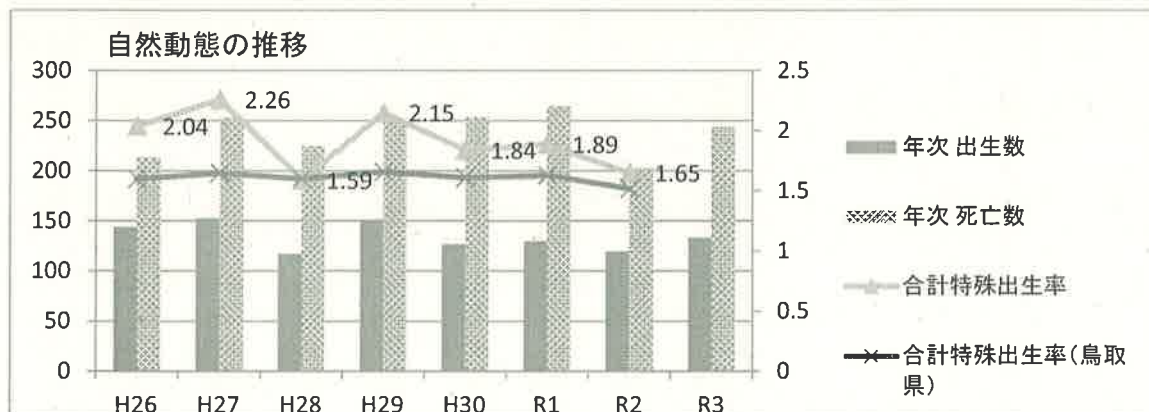
1 自然動態の推移

【自然動態の推移】

年次	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
自然増減	▲ 70	▲ 100	▲ 108	▲ 99	▲ 127	▲ 135	▲ 83	▲ 111
出生数	144	153	117	151	127	130	120	133
死亡数	214	253	225	250	254	265	203	244

【出生数と合計特殊出生率の推移】

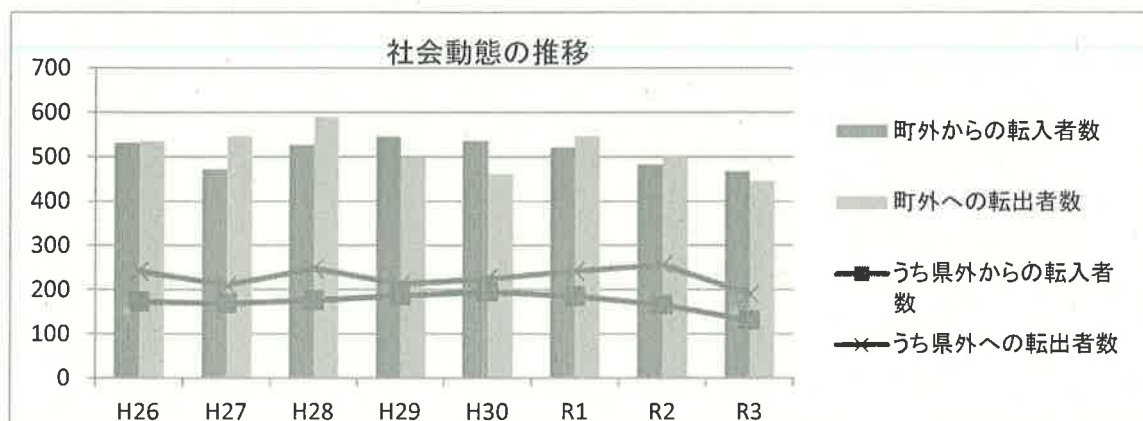
年次	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
出生数	144	153	117	151	127	130	120	133
前年比	▲ 17	9	▲ 36	34	▲ 24	3	▲ 10	13
合計特殊出生率	2.04	2.26	1.59	2.15	1.84	1.89	1.65	
合計特殊出生率(鳥取県)	1.60	1.65	1.6	1.66	1.61	1.63	1.52	



2 社会動態の推移

【社会動態の推移】

年次	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
社会増減	▲ 4	▲ 75	▲ 62	47	74	▲ 25	▲ 17	21
町外からの転入者数	531	472	527	545	535	521	483	467
町外への転出者数	535	547	589	498	461	546	500	446
うち県外転入増減	▲ 69	▲ 41	▲ 72	▲ 26	▲ 30	▲ 57	▲ 90	▲ 60
うち県外からの転入者数	173	169	176	187	195	185	166	131
うち県外への転出者数	242	210	248	213	225	242	256	191



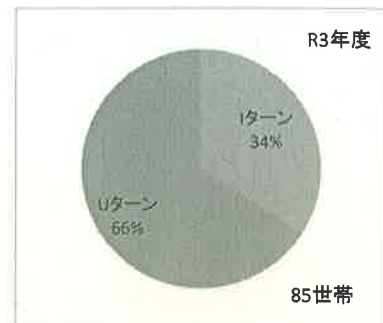
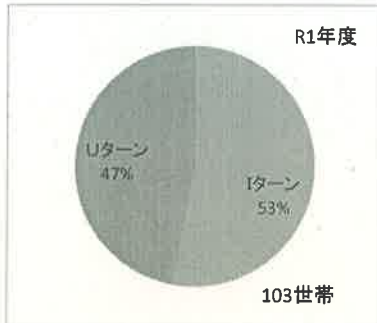
出典: 出生数、死亡数、転入出者数…「鳥取県の人口推計」

合計特殊出生率…県福祉保健課が算出

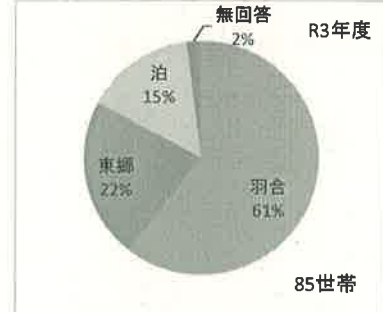
●県への報告数(参考値)

	R1	R2	R3
世帯数	103	103	85
人数	142	134	104

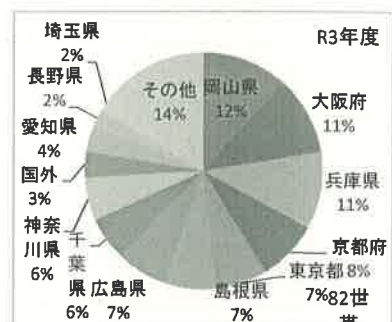
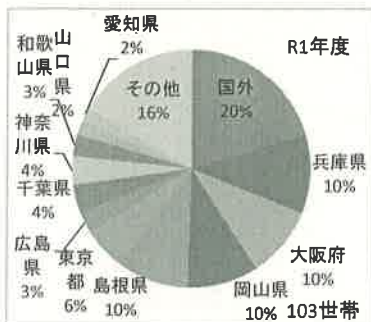
●県外からの移住 Iターン、Uターンの割合



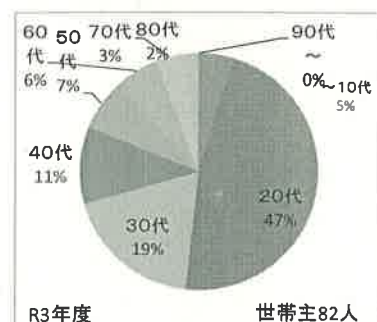
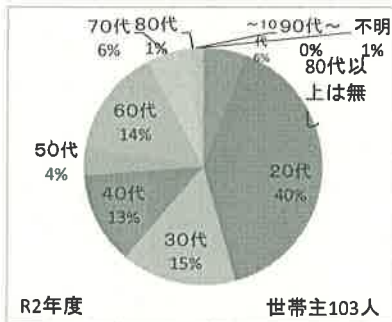
●県外からの移住者 転入先地域の割合



●移住前の住所



●移住者の年代

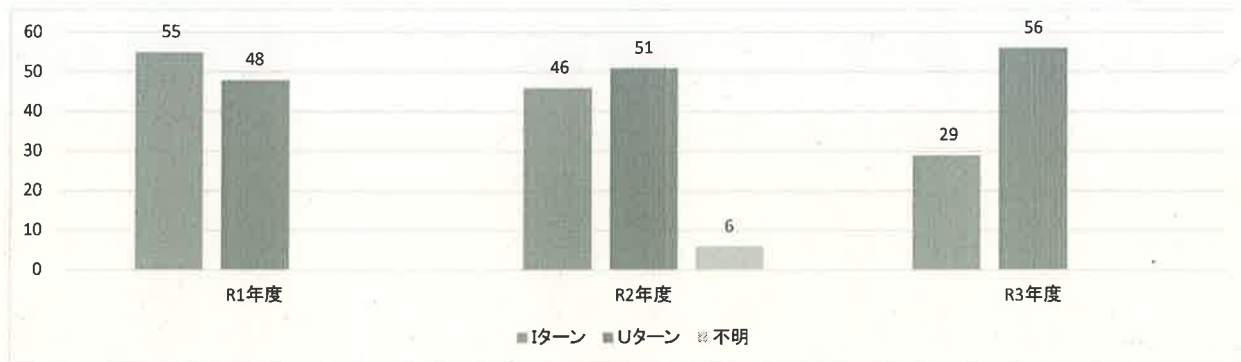


湯梨浜町における移住の傾向(参考データ) ※移住者向けアンケートによる

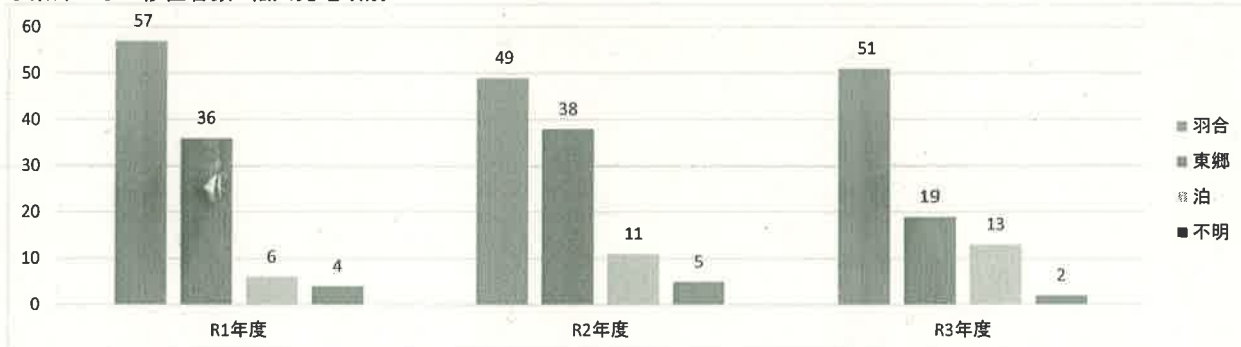
●県への報告数(参考値)

	R1	R2	R3
世帯数	103	103	85
人数	142	134	104

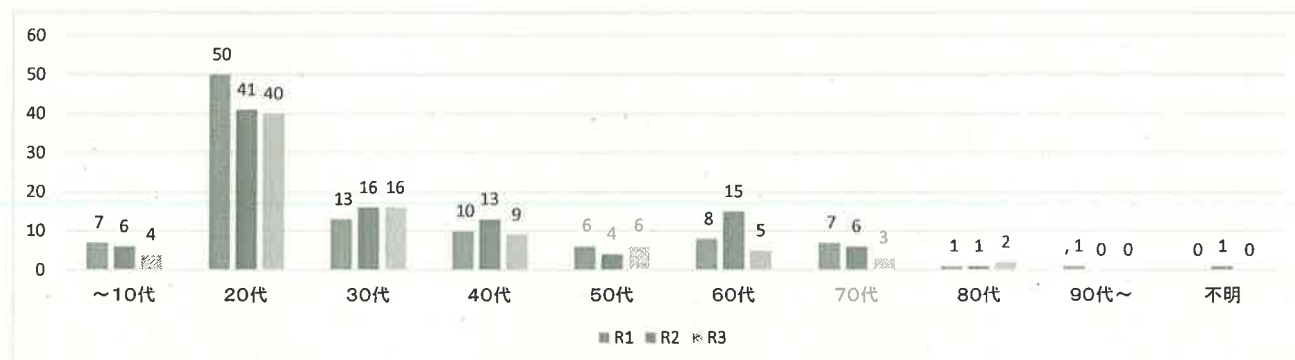
●県外からの移住 Iターン、Uターン者数



●県外からの移住者数 転入先地域別



●移住者の年代別移住者数推移



湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況の概要(令和3年度)

1. 重要業績評価(KPI)の状況

(1)基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち

- 1) 温泉宿泊客数と新規就業者数が新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降減少し停滞しています。観光客数の減少と経済停滞による中小企業の雇用状況の悪化が要因となっています。
- 2) 二十世紀梨をはじめとする特産梨の栽培面積が、生産者の高齢化や減少により、年間1割程度減少しています。高値販売が期待される県の奨励新品種への新改植を補助制度で支援していますが、全体の栽培面積としては改植面積以上の廃園があるため減少しています。
- 3) 東郷湖シジミの漁獲量は、近年稚貝の生育不良が確認されており、5年前と比較して65%程度に減少しています。温暖化の影響とも考えられています。
- 4) 新型コロナウイルス感染症の影響で観光客数が減少する中ではありますが、東郷湖でのドラゴンカヌーや発祥スポーツのグラウンド・ゴルフを体験する教育旅行の利用者が増加しています(コロナの影響により、県内小中学校が県外への修学旅行を自粛したことにより県内での体験(教育旅行)の増、県外小中学校についてもコロナ感染者が比較的少ない本県へ修学旅行を変更したことによる利用者増と考えられます)。
- 5) 企業活動の停滞が懸念される中ではありますが、町独自施策の創業・販路開拓支援制度やチャレンジショップなどを活用した事業者数が年間目標数を上回り、昨年度より増加しています。事業承継に取り組む事業者数も商工会による支援により増加しています。

(2)基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

- 1) 数値目標の合計特殊出生率が昨年度に比べて減少しました。全国的な傾向であり、新型コロナウイルス感染症の影響と推測されます。出生数については、大幅な減少となった昨年度より増加しており、次年度の見込みとしても母子手帳発行件数等から増加の兆しが認められています。
- 2) 乳幼児を家庭で保育する割合が減少しています。低年齢児保育施設の開設や子育て支援制度の充実により、多様な保育ニーズに応じた保育施設の利用希望者が増加している状況です。第3子以降の出生数は順調に増加しています。
- 3) 町立小中学校においてふるさと教育の充実に取り組んでおり、児童生徒のアンケート調査結果で「住んでいる地域や湯梨浜町が好き」とする割合が増加しています。
- 4) 鳥取県男女共同参画推進において、啓発活動により県の認定企業数が増加しています。就業環境改善に向けたイクボス宣言企業数も当初計画以上に増加しています。

(3)町民みんなが創るまち

- 1) 人口移動の現状としては、県外からの転入者数が減少しています。県内移動も含めた社会増減の状況は、県内からの転入者数が引き続き多く推移しているため、全体として均衡を維持しています。
- 2) 空き家バンク登録物件の成約件数が順調に増加していますが、空き家が増加傾向の中、掘り越しを進めて、登録物件を増やしていく必要があります。
- 3) 若者・子育て世代の定住支援制度を活用した移住件数が計画を上回り順調に推移しています。
- 4) 地域活動組織の活動を促進するために新たに設けた設立支援制度を活用して、泊地域の福祉増進や地域活性化等を目的とする特定非営利活動法人が設立されました。

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) 一覧

資料4

基本目標 I 活力ある元気なまち

●数値目標(令和4年度)

《SDGsの関連目標》

目標指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績				目標値 (R6)	担当課
			R2	R3	R4	R5	R6	
温泉宿泊客数	今後も現状の宿泊客室数を維持することを前提に、国内交流人口の減少が見込まれる中ではあるが、教育旅行やコンベンションの誘致、インバウンドの促進など多角的な取り組みにより、R1実績を上回る宿泊客数を目指す。	【年間】 135,662人	67,068人	60,584人			17万人 (年間)	旅館組合宿泊客数報告 による。
新規就業者数 (常用雇用)	今後の労働力人口の減少と現在の雇用情勢の継続による減少と、地方創生企業支援金・移住支援金事業による東京圏からのUターンによる起業、就業者の増加により、現状維持を見込む。	159人	129人	144人			200人 (年間)	町民が町内外の企業等に就職した常用雇用者数。ハローワーク倉吉から情報提供。 R3.4～R4.3まで

産業振興課

●具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績				目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6	
農林水産業の振興	○二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大国」の推進 ○新規就業者の増加支援、担い手確保・育成、集落営農化の促進 ○農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓 ○遊休農地及び耕作放棄地解消への対策 ○東郷池や日本海の豊かな海産物を活かした漁業の振興	梨栽培面積	急峻で生産性の低い二十世紀梨園の減少に対し、平坦で生産性の高い新品種も含めた梨園を増やし、全体面積をR1年度対比1割減の面積で留める。 目標面積 梨全体130ha 二十世紀梨70ha その他品種60ha	138ha	125ha	112ha			JA、東郷果実部により令和3年度産の面積を集計。 二十世紀梨67ha その他45ha 計112ha	梨全体 130ha
			R1目標では、スーパー梨団地や松崎駅南団地の新植により目標を達成した。今後県奨励品種の積極的な導入を支援し、上段梨全体130haを維持するために年間1haの増加を図っていく。	248ha 【累計】 27.9ha	新植0.76ha 改植0.20ha 【累計】 27.7ha 累計は廃園により減	改植0.52ha 【累計】 27.5ha 累計は廃園により減			新品種は「新甘泉」、「王秋」。新改植は鳥取県生産振興事業補助金を活用した植栽面積で累計値の内数。累計値は年次別品種別面積表(東郷果実部)による。	新品種 5.0ha

産業振興課

基本目標 I 活力ある元気なまち

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6		
農林水産業の振興	○二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大園」の推進 ○新規就農者の増加支援、担い手確保・育成、集落営農化の促進 ○農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓 ○遊休農地及び耕作放棄地解消への対策 ○東郷地や日本海の豊かな海産物を活かした漁業の振興	新規就農者	就農相談件数は毎年一定数あり、梨産地再生プラン等による就農者確保や支援に積極的に取り組み、国・県事業活用者を年2名ずつ増やす。	2人 【累計】16人	3人 【累計】19人	1人 【累計】20人				親元就農研修終了後に就農1人	新規就農者10名増
		認定農業者(家)数	既存農業者への声掛け、新規就農者の経営発展などで新たな認定農業者を年2名ずつ増やす。	1経営体 【累計】47経営体	3経営体 【累計】50経営体	3経営体 【累計】53経営体				新規認定3経営体	新たな認定農業者10名増
	GIマーク、商標権、意匠権等の取得件数		GI申請に向けた準備を進めている「東郷梨二十世紀」の認証と、商標権未取得の農産物(野花梅、とまり美人等)について取得に向けて継続して取り組む。	0件 【累計】1件	0件 【累計】1件	0件 【累計】1件				令和2年10月にGIマーク「東郷二十世紀梨」を農水省に申請済。現地確認が予定されているが、コロナ禍により省内で保留。	3件
		利用権設定面積	農業者の高齢化・後継者不足により耕作を依頼される農地は増える見込まれる。一方で、担い手の耕作可能面積にも限界がある。荒廃農地の発生を防ぐため、担い手を確保しつつ、担い手への農地集積を年8haずつ増やす。	5ha 【累計】264.9ha	3ha 【累計】267.8ha	5ha 【累計】273.0ha				農地基本台帳より	利用権設定面積【累計】300ha

産業振興課

● 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	実績					現状値 (R1)	実績					目標値 (R6)	担当課
				R2	R3	R4	R5	R6		R2	R3	R4	R5	R6		
農林水産業の振興	○ 二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大園」の推進 ○ 新規就農者の増加支援 担い手確保・育成、集落営農化の促進 ○ 農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓 ○ 遊休農地及び耕作放棄地解消への対策 ○ 東郷池や日本海の豊かな海産物を活かした漁業の振興	シジミの漁獲量	R1目標の成果としてH28から連続して120トン以上の漁獲が続いてきた。しかし自然環境の変化により、生鳥数の減少が確認されている。水質管理により生産量をあげていき、計画期間の累計を560トンとする。(栽培漁業センターと協議) R2～3 100t/年、R4～6 120t/年	95t	74t	78t									【累計】 560トン	産業振興課
				0経営体 【累計】 40経営体	1経営体 【累計】 41経営体	△4経営体 【累計】 37経営体									現状維持 40経営体	
観光産業の振興	○ 「グラウンド・ゴルフ」や「ウオーキング」など本町の特性を活かし、国内はもとよりインバウンドを推進 ○ はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上(滞在型観光・周遊観光の推進) ○ 天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進 ○ 観光客に対応したWi-Fiの整備、誘客キャンペーンなどの推進(多言語対応、利便性の向上) ○ 戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客	海外からのイベント参加者数	(グラウンド・ゴルフ) トップセールス他海外へPRを行い新規参加国を増やすとともに、これまでに参加している国の継続した参加を見込む。年間10か国の参加を目指す。合わせて新規参加国を5年間で10か国を目指す。(内数) (ウオーキング) 済州オルレとの「友情の道」協定をR2.11に締結した。締結後の相互PRにより済州オルレ関係国(韓国)からの来町を見込む。	■GG 149人 ■天女 ウオーク 0人 【累計】 816人	■GG 0人 ■天女 ウオーク 0人	■GG 0人 ■天女 ウオーク 0人									【累計】 2296人 (1480人増)	生涯学習・人権推進課／健康推進課
				■GG 8か国 ■天女 ウオーク 0人 【累計】 49か国 【実参加国 累計】 22か国	■GG 0か国 ■天女 ウオーク 0人	■GG 0か国 ■天女 ウオーク 0人									【累計】 109か国(60か国増) 【実参加国 累計】 32か国(10か国増)	

● 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績						目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6	算出根拠等		
観光産業の振興	○「グラウンド・ゴルフ」や「ウォーキング」など本町の特性を活かし、国内はもとよりインバウンドを推進 ○はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上（滞在型観光・周遊観光の推進） ○天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進 ○観光客に対応したWi-Fiの整備、誘客キャンペーンなどの推進（多言語対応、利便性の向上） ○戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客	外国人宿泊者数	H26(5,303人)～H30(6,689人)の5年間の増加率126%を用いて算出。 直近H30の実績6,689人×増加率1.26≒R6目標8,500人	【年間】 4,018人	10人	29人				旅館組合宿泊客数報告による	年間8,500以上	産業振興課
					1,423人	3,334人				観光協会実績報告により教育旅行(ドラゴンカーヌー・グラウンド・ゴルフ)3,018人 滝床料理70人 その他 246人 計 3,334人	年間2,000以上	
商工業の振興	○事業所の新設や新分野への進出、新製品開発、6次産業化等に対する支援 ○地元資源を活用した町内商工業者の振興と活性化の推進 ○ICTを活用したコンテンツ系企業など企業誘致の推進 ○商工団体など関係機関と連携した事業承継の推進	支援制度を活用した事業者数	R1実績見込みに、地方創生起業支援金による東京からのUIJターンによる起業を加えて設定する。	8件 【累計】 32件	7件	9件				■雇用促進奨励金＝1件 ■チャレンジジョブ支援奨励金＝2件 ■創業・販路開拓支援補助金＝6件	5件 【累計】 25件	産業振興課／企画課
					5件	4件				湯梨浜町商工会による事業承継の個別支援件数。	2事業者 【累計】 10事業者	
雇用の推進	○地場産業の振興、起業家支援、企業誘致や雇用奨励制度などによる雇用の創出 ○就職情報提供による企業と学生とのマッチング促進 ○高齢者の経験や知識を活用した就労の支援	支援制度を活用した雇用者数	R1実績見込みに、地方創生移住支援金による東京からのUIJターンによる就業を加えて設定する。	4人 【累計】 14人	1人	3人				雇用促進奨励金＝3人	3人 【累計】 15人	

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち 第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI)一覧

●数値目標(令和4年度)

《SDGsの関連目標》



目標指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					目標値 (R6)	担当課
			R2	R3	R4	R5	R6		
合計特殊出生率	H30の国の合計特殊出生率1.42、県1.61で年々減少傾向にあることから、現状維持を目標とする。	1.84 (日本人人口 188)	1.89 (日本人人口 194)	1.65 (日本人人口 170)				令和3年度中に県が公表した令和2年分の合計特殊出生率。厚生労働省から交付された人口動態調査結果を基に、鳥取県福祉保健課が算出したもの。令和2年中(R2.1.1～R2.12.31)の女性人口、出生数が算出基礎数値となっている。	子育て支援課
出生数	過去5年出生数平均134人。出生数はわずかに減少傾向にあることから、第1期当初(H27)の出生数維持を目標とする。	127人	118	131				令和3年度中(R3.4.1～R4.3.31)の出生数。本町健康管理システム(住基連動)データによる。	150人 (年間)

●具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値	実績					目標値 (R6)	担当課	
				(R1)	R2	R3	R4	R5	R6			算出根拠等
子育て環境の推進	○安心して子育てができる保育サービスの充実 美など環境整備の推進 (子育て世代の経済的な負担の軽減) ○妊娠期から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップ化を推進 ○放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの推進	2歳未満児を家庭で子育てする率	年度末時点において、2歳未満児を家庭で子育てする率を70.3%以上とする。H30年度末時点において67.3%、年間0.5%増とし、今後6年間で3%増とする。	82.67%	78.17%	67.70%				令和3年度末時点において、2歳未満児のうち、家庭で子育てをしている者の割合とした。 令和4年3月31現在2歳未満児は257人。内入園児数83人。差引人数(未就園児)174人。家庭で子育てする率67.7%。	70.3% (2歳未満児の家庭子育て率)	子育て支援課
	第3子以降出生数	過去5年間で目標値の年間30人を上回ったのは平成29年度のみであり、H26 R1の6年間にわたる平均出生数は28.8人であったため年間での目標値を引き続き30人とし5年間の合計を150人とする。	28人 【累計】 145人	32人 【累計】 32人	39人 【累計】 71人			令和4年度3月末時点で初金の支給決定、支払いした件数	150人			
	こども園待機児童数	待機児童解消を目指すことを目標とする。	4人	0人	0人			保育所等利用待機児童数調査に準ずる	0			

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6		
子育て環境の推進	○安心して子育てができる保育サービスの充実など環境整備の推進(子育て世代の経済的な負担の軽減) ○妊娠前から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップ化を推進 ○放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの推進 ○子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える教育環境づくりの推進	自主学習の広場利用者数	【小学生】 各教室20人程度の児童(対象学年の児童数の20%程度)を想定している。(泊小の20%程度は10人程度) 【中学生】 各年とも対象となる中学1年生全体人数の20%の参加を目標に取り組んでいく。対象生徒数は約130～150人程度である。	小学生 57人 中学生 25人 【累計】 小学生 259人 中学生 83人	小学生 52人(対象児童の21.2%) 中学生 15人(対象生徒の約10%)	小学生 60人(対象児童の24.8%) 【累計】 112人 中学生 18人(対象生徒の12%) 【累計】 33人				ゆりはま自主学習の広場、地域未来塾を利用した小学生及び中学生の利用者数 小学生 250人 中学生 100人	教育総務課
子育て環境の推進	○地域の中で育ち、湯梨浜のすばらしさを体感し、ふるさとに愛着を持ち大切に守っていかうとするふるさと教育の推進	ふるさとを愛する児童の割合	アンケートを実施し、「住んでいる地域や湯梨浜町が好き」の割合85%以上をめざす。 設定根拠: 昨年度のアンケート結果 「地域や町が好き」の割合 83.4%	87.4%	91.8%	92.0%				住んでいる地域や湯梨浜町が好き85%以上 アンケート調査: 12月実施(小3～中3)	
子育て環境の推進	○仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの環境づくりを事業者とともに推進	鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数	第4次ゆりはま男女共同参画プランにおいてR5年度の目標値を20社以上(単年度換算では1社以上)としていることからその目標値にR6年度分2社を加えた。	1社 【累計】 16社	0社 【累計】 16社	2社 【累計】 18社				【累計】 21社	企画課
子育て環境の推進	イクボス宣言企業数		第4次ゆりはま男女共同参画プランにおいてR5年度の目標値を15社以上としている。(現状7社)		6社 【累計】 13社	3社 【累計】 16社				県のホームページによる。	【累計】 17社

● 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					目標値 (R6)	担当課	
					R2	R3	R4	R5	R6			
地域福祉の推進	○地域や個人に密着した健康づくりの推進 ○ボランティアとして地域の自主的な介護予防や健康づくり活動の指導や支援の推進 ○保健師等による定期的な訪問による、相談体制の充実を図る ○町民や移住者が健康で生涯活躍ができるまちを推進	全世代・全員 生涯活躍のまち (生活活動のまち) 事業に参画する民間事業者・団体数	参画団体を1年に1団体以上、合計5団体以上の参画団体増加を目指す。R1: 30団体→R6: 35団体	0団体 【累計】 30団体	² 【累計】 32団体	¹ 【累計】 33団体				R3: 福祉事業者2社がシェアサイト・ヴィレッジゆりはまで事業開始(うち1社は過去に参画済の事業者のため、新規は1社)まちづくり(株)会社出資者、シェアサイト・ヴィレッジゆりはま開発事業関連企業数等 まちづくり(株)会社(町を除く)出資者及びシェアサイト・ヴィレッジゆりはま開発協力企業 計31団体、ON協会	35団体	みらい創造室
			参加者の体組成計データ抽出により、年初回と年末尾との測定結果(体脂肪率)を比較し、改善された者の割合を7割以上とする。	55.32% 【52人/94人】	40.6% 【134人/330人】	39.8% 【163人/410人】				年度初回の測定値と直近の測定値を比較。 ※比較データがない者(年間1回のみの測定者など)については除外した。	70%以上	健康推進課
結婚の出会いの場づくりと推進	○結婚を希望する男女の出会いの機会を創出する縁結び支援員の活動を支援するとともに情報提供を行い、少子化・定住化対策の推進 ○出会いや交流機会が広がるよう、広域連携を含めた出会いの場づくりと推進	結婚支援事業による婚姻件数	鳥取中部マッチングによりマッチングできる機会が増えることとなるため、年1件の増を見込む。	0件 【累計】 1件	0件 【累計】 1件	0件 【累計】 1件				婚姻なし	【累計】 6件	企画課

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち 第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)一覧

●数値目標(令和4年度)

《SDGsの関連目標》



目標指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					目標値 (R6)	担当課
			R2	R3	R4	R5	R6		
県外からの IUUターナー者数	H27～R1の5年間の累計が900人を 超過する見込み。これまで1年あたり 170人だった目標を185人に増やし、 引き続きIUUターナー者数の維持・増 加に努める。	195 【累計】922 人	165	136				925 (令和3年4月～令和4年3 月)男性:82人、女性:54 人 (町民課住基データより)	み ら い 創 造 室
転入転出異動	①H27～R1の5年間で均衡に近い 数字となっている②年毎のIUUター ナー者数は微増③転出者数が減ってい ない④人口ビジョンでは減少が見込 まれる、の4点から、R2～R6の5年 間での累計の均衡を目標とする。	△25	△17	21				均衡 【累計】 (1月～12月)転入:467 人、転出:446人 (鳥取県統計課「鳥取県 の推計人口」より)	

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6		
移住・子育て世帯の推進	○多様な移住ニーズに 対応する相談体制の充 実やIUUターナーの促進 に向け広く本町の魅力 を発信 ○若者夫婦や子育て世 代の住宅支援をばし め、町内への移住や定 住を促進 ○空き家を活用して移 住希望者が求める住 まい環境づくりを推進 ○移住定住希望者が本 町の暮らしを体験でき るよう、お試し住宅の設 置や環境づくりを図る。 ○鳥取大学等との連携 による「地(知)の拠点C OC+」事業に参画し、 地域の活性化・定住化 につながる人材の育成 を図る	空き家・バン ク成約件数	1期の目標であった年 間4件増を継続し、R6 目標値を累計で36件 とする。ホームページ による速やかな情報 提供を引き続き行うと ともに、みらい創造室 に配置した地域おこし 協力隊による空き家 掘り起しの取り組みと の連携により、空き家 バンクへの物件登録 件数を増やしていく。	3件 【累計】 13件	3件 【累計】 3件	4件 【累計】 7件				【累計】 20件 (R2～R6)	企 画 課
					19件 【累計】 19件	25件 【累計】 44件				【累計】 90件 (R2～R6)	
		若者・子育て世帯の移住件数	H27年度～R1年度の 累計見込である94件 を5年(1期分)で割った 年約18件の増加を見 込む。 東郷・泊地域などの中 山間地域について、 HPや広報紙だけでなく、 住定メーカーへの PRにより移住の促進 を図る。	22件 【累計】 91件							

● 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6		
まちの形成	○町民や団体が主体となっていて創意工夫による魅力的な地域づくり活動を支援 ○災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が主体的・意欲的に取り組む防災対策を推進 ○いつでも、誰もが集える拠点を整備するため、バリアフリーなど環境づくりを推進 ○分散している様々な生活サービスや地域活動の場などをつなぐ「小さな拠点」づくりを推進するほか、企業等と連携した移動販売や買い物支援など多機能なサービスの充実を図る ○地域に伝わる伝統芸能活動や文化資源の活用による地域振興 ○ICTの急速な進化がもたらす社会への対応 ○地域資源を有効活用した「癒しの地域づくり」の推進 ○温泉・熱・風力・太陽光など自然エネルギーの活用を図る ○環境・健康づくり・福祉・教育等様々な分野における団体の育成を図り、自助・共助を推進するほか、住民参画による行政推進を目指す ○地域課題の解決や将来的な移住への裾野を拡大するため、地域住民との交流や町との関わりを継続する関係人口の創出、拡大を目指す	新規自主防災組織取組件数	町内全集落における自主防災組織の設立を目標とする	71件	0件	0件				75件	総務課
		集会所バリアフリー一件数	集会所バリアフリー改修について、前期の19件に加え、25件増加(年5件の増)を目標として取り組む。	19件	6件 【累計】 25件	5件 【累計】 30件				平成27年度 3地区 28年度 6地区 29年度 4地区 30年度 3地区 令和元年度 3地区 2年度 6地区 計 25地区	総合福祉課
		小さな拠点づくりにおける地域活動団体の設立	当初は泊地域での買い物機能の確立を目標としていたが、R2年度地域協議において店舗設置は行わず移動販売業者の支援を行う方針となり目標を地域活動団体の設立に変更し支援する。	0団体	0団体	1団体				1	みらい創造室
		温泉・熱・エネルギー利用施設数	引き続き国庫補助金や先進事例等の情報収集に努めながら、事業可能性のある有効な活用分野を模索していく。	0施設	0施設 【累計】 3施設	0施設 【累計】 3施設				【累計】 4施設	企画課
		NPO法人、ボランティアグループの数	団体登録や補助申請の手続きの簡素化も検討して、1期の当初の目標であった7団体の増を見込む。	1団体 【累計】 48団体	2団体 【累計】 50団体	1団体 【累計】 51団体				【累計】 55団体	

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略

(単位:千円)

事業名	計画	予算額	実績	決算額	KPI			担当課
					目標	達成率	評価	
湯梨浜町 総合戦略 策定事業	湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業を着実に実施していくとともに、成果検証を行い改善を図っていく。 ◆総合戦略会議、成果検証会議委員報償金 44千円 ◆戦略会議2回開催予定 151千円 ◆報告会、説明会、研修会への参加旅費 60千円 ◆消耗品の購入、郵送料 60千円 令和元年度に策定した第2期総合戦略に関する事業の着実な実施のため、成果検証のための会議を開催していく。	255	■5月7日にゆりはま未来づくり本部会議を開催して、令和2年度の実績と令和3年度の事業計画を協議した。 ■6月1日に第1回ゆりはま創生総合戦略会議を開催して、令和2年度の実績と令和3年度の事業計画について、委員からの意見を集約した。また、総合戦略を改訂した。 ■6月10日に町HP公開 ■6月18日に議会全員協議会で上記決定内容を説明した。 ■10月8日にゆりはま未来づくり本部会議を開催して、令和3年度の進捗状況と令和4年度の実施方針を協議した。 ■11月8日に第2回ゆりはま創生総合戦略会議を開催して、令和3年度の実績見込と令和4年度の実施方針について、意見交換を行った。	44	総合戦略会議、成果検証会議を各1回以上開催する	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 目標どおりに会議を開催し、活発に議論することができた。	みらい創造室
農産物販 路拡大及び ブランド化 推進事業	二十世紀梨販路拡大PR事業 コロナ禍および新型コロナウイルス感染症拡大の終息を見据えて進物用パンフレットの内容などを再検討し、JA東郷果実部で県の他事業を活用して作成していく。販路拡大、単価増額については、リモート形式を活用した販売PRを行い、増収につなげる。 【販売PRイベント】 観光大使活動謝金 12,000円 特別旅費 45,000円 PR用梨 10,000円	67	8月28日に開催されたガイナール鳥取2021ホームタウンデーで贈答品として二十世紀梨2箱(10kg/箱)を提供。	前年度産単価より増(R2:二十世紀梨5,351円/10kg)	98%	【評価:D 計画より遅れた】 販売PRイベントの中止は感染症拡大防止のためやむを得ないが、県内で開催されるイベントを利用したPRが実施できた。令和3年度二十世紀梨の販売実績は5,272円/10kgであったが販売数量において前年比103%、販売額において前年比102%であった。 5272/5351=0.98	産業振興課	
鳥取県等 生産振興 事業(農業 生産現場 強化事業) ①	鳥取県が新規栽培を推奨している新品種(輝太郎、シャインマスカット)への新植、それに伴う園地の整備(ハウス新設、果樹棚、園内道、かん水施設等)、育成管理を支援する。 輝太郎全面改植100千円(10a)×1/2=50千円 防除用機械整備300千円×1/2=150千円 育成促進対策(新植等) 48千円(10a)	248	輝太郎の改植10a(42本)および動力噴霧機1台の購入を支援した。 事業費 全面改植84,420円×1/2=42,210円 動力160,100円×1/2=80,050円 育成促進対策48,000円	柿、ぶどう等の新品種の新植面積の10a増	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 輝太郎10a(42本)の改植を行い、高収益品種への切り替えを進めることができた。	産業振興課	

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績	決算額	目標	達成率	KPI		担当課
							評価		
4 鳥取梨等 生産振興 事業(農業 生産現場 強化事業) ②	・鳥取梨生産振興事業(地方創生) 県が推奨する新品種(新甘泉、王秋など)を中心に栽培に必要な資材(苗木、土壌改良剤等)、施設(果樹棚、かん水施設、園内道、スピードスプレーヤーなど)の整備を支援。新品種の植栽を伴う場合は2/3(県1/2+町1/6)、既存品種(ジョイント栽培)が中心の場合は1/2(県1/3+町1/6)。補助対象者は町内で梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合。 新甘泉等特別対策16,882千円、気象災害に強い施設整備事業580千円、ジョイント栽培拡大事業2,340千円、低コスト・体制強化事業350千円	20,152	強風を防ぐための防風ネット設置(3件・約90a)、新甘泉改植(10件・約83a)、ジョイント栽培拡大(新甘泉ほか1,036本・約60a)、低コスト・体制強化(乗用モア1台購入)など、事業費総額19,550千円を実施した。 事業費(補助金) 気象災害対策885,980円 (内補助金295,326円) 新甘泉等特別対策14,628,776円 (内補助金9,450,726円) ジョイント栽培拡大3,294,700円 (内補助金2,188,129円) 低コスト・体制強化740,000円 (内補助金370,000円)	12,305	新品種の新 改植0.5ha	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 推奨する新品種「新甘泉」・「王秋」を約52a改植し目標を達成した。また、ジョイント栽培及び機械導入により作業の省力化を図ることができた。	産業振興課	
5 湯梨浜版 担い手認定	○湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業 【対象者】①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就農者、④準認定新規就農者、⑤集落営農組織 【支援内容、補助率等、対象者】 ○就農奨励金:就農3年以内の対象者に定額30万円(予算額300千円)、④ ○新規就農者住宅家賃補助:町外から転入する就農者に家賃上限2万円を補助(予算額240千円)、③・④ ○中古機械導入補助:中古機械導入費の1/3(上限10～50万円)を補助(予算額1,000千円)、①・②・③・④・⑤ ○農業機械修理補助:農業機械・施設の修繕費の一部を補助(5～30万円)(予算額1,000千円)、①・②・③・④・⑤	2,540	新規就農者住宅家賃補助:1件 240千円 中古機械導入補助:5件 1,738千円 農業機械修理補助:5件 529千円	2,507	新たな認定農業者数 2名	150%	【評価:A 達成済、事業完了】 認定制度の普及及び関係機関との連携により、新たに3件の新規認定を行うことができた。	産業振興課	
6 中核的担い 手農家育成 奨励金 交付事業 (農業生産 現場強化 事業)	【事業内容】 認定農業者あるいは新規就農者が町内の農地を3年以上借り受け、奨励金を交付する。本町の農地を守るため、27年度から町外の認定農業者が借り受けした場合も対象としている。 町内者:2,000円/10a×年 町外者:1,000円/10a×年 予算額 R3.1月～12月契約見込み分 2,053千円	2,053	利用権設定面積 243,046㎡ 利用権設定筆数 191筆 利用権設定者数 116人 補助金額 1,014,800円	1,015	権利設定面積 21ha	115%	【評価:A 達成済、事業完了】 権利設定面積は24.30ha。計画的に権利設定しており、今後も増加見込。	産業振興課	

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

	事業名	計画		実績	KPI			担当課
		事業額	計画		決算額	目標	達成率	
7	農林水産物等販売促進事業		町内の農林水産物の商標権、意匠権等の取得や宣伝資材作成を支援する。 販売促進のための新規パッケージ作成を支援 予算:50千円 (1/2補助・上限80千円) 販売促進にかかるチラシ、パンフレット作成費 予算:100千円 (1/3補助・上限300千円) ブランド化を図るための商標権、意匠権等の取得を支援100千円(1/2補助・上限あり)	醸造用ブドウの栽培を行っている新規就農者が、200本程度ワインを醸造し、瓶に貼付するラベルなどを作成した。	71	パンフレットの作成利用について周知を実施し、制度利用を見込む	30%	産業振興課
8	東郷湖漁業振興事業		○東郷湖漁協漁業振興費補助金 【事業内容】漁協が実施する覆砂事業費を補助し、東郷池の水質浄化及びシジミの増殖を図る。 ◆補助金 267千円 ○内水面漁場環境保全事業補助金 【事業内容】東郷湖の浮遊ゴミ等の処理費を補助し、漁場環境を保全する。 ◆補助金 267千円	○東郷湖覆砂事業 交付決定 8/19 事業実施 10/7～1/20 ○東郷湖クリーンアップ事業 交付決定 8/19 事業実施 9/26		シジミ漁獲量 100t	78%	産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績	決算額	目標	達成率	KPI	
							評価	担当課
9 沿岸漁業 活性化推 進事業	町内の漁業者の漁業経営改善を図るために、燃料高騰対策として輸送量コスト支援を行う。 ◆輸送コスト支援補助金 30,000箱×100円×1/3＝ 1,000千円	1,000	交付決定 4/1 事業費 1,106,300円 (100円×11,063箱) 交付決定額 368,766円	368	新規漁業就業者1名	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 漁業者の高齢化等の理由により、漁獲量は減少傾向であったが、新規漁業就業者の育成を支援し、1名を就業につなげることが出来た。	産業振興課
10 特産果物 生産振興 事業	町の特産品である、二十世紀梨、ぶどう、イチゴ、メロン、スイカ、梅の生産を維持・拡大するため、県の補助事業にのらない品種について、生産者の要望に沿う支援を行う。 ・二十世紀梨：灌水施設、ハウス整備等 1/2補助 725千円 ・ぶどう：資材購入 2/3補助 96千円 ・ぶどう：ハウス整備 1/2補助 1,012千円 ・ほうれん草：ハウス整備 1/2補助 1,033千円 ・いちご：ハウス整備 1/2補助 873千円 ・メロン：ハウス整備 1/2補助 178千円	3,917	JA生産部会へ事業説明を行い、事業を募ったところ、梨、ぶどう、ほうれん草、いちご、メロンの部会から要望があり、補正予算により対応した。 事業内容 二十世紀梨関係(灌水施設、ハウス整備等)7件 ぶどう関係(資材購入、ハウス整備)14件 ほうれん草関係(ハウス整備) 9件 いちご関係(ハウス整備)6件 メロン関係(ハウス整備)2件 一般農業者(棚更新)2件	3,987	設備導入支援 農家数 5戸	600%	【評価:A 達成済、事業完了】 申請内容はハウス被覆材の張り替えがほとんどで、県事業では拾い出せなかった要望を拾い出すことができた。 R3年 支援農家数31戸	産業振興課
11 森林環境 税関連事 業	管理不足による森林環境の悪化が懸念される中、森林経営管理事業や放置竹林対策事業を支援する。 ◆森林経営管理事業 1,790千円 意向調査委託(小浜、筒地地区:20.59ha)・管理権集積計画作成委託(石脇、泊地区:26.59ha) ◆竹林対策事業 89千円 町放置竹林対策協議会1回 タケノコ掘り講習会、ウラ止め・間伐講習会 ◆森林整備基金積立金 4,800千円 令和2年度森林経営管理事業推進面積 26.59ha(石脇、泊地区) (意向調査回答面積 21.01ha)	6,679	実施事業 2,391,086円 ・森林経営管理事業 1,801,800円 ・新たな森林管理システム推進センター負担金 589,286円 ■小浜・筒地地区内の58.01ha(290筆)の意向調査を実施。昨年度意向調査を行った石脇・泊地区内の境界調査及び1.57ha(3筆)の管理権集積計画(案)を作成。 ■竹林対策事業関連については、雨天により講習会の中止及びコロナ禍のため未実施。 ■森林環境譲与税の積立 4,778千円	2,391	森林経営管理事業推進面積 20ha	290%	【評価:A 達成済、事業完了】 意向調査及び森林境界調査を実施し、提案集積計画(案)の作成を行った。 R3年 58ha	産業振興課
12 ゆりはま農 作業体験ツ ア一事業	就農希望者に本町での農作業体験ツアーを提供する。費用助成することで参加を促し、将来的な移住就農へとつなげる。 交通費助成(片道相当) 1/2補助 53千円 宿泊費助成(3泊4日・お試し住宅) 36千円 着地型観光体験 4千円 ※いずれも4人を想定	93	webを利用した就農イベントで参加を促したが、コロナ禍により県をまたぐ移動に自粛が求められ、実施できていない。	0	参加者数 4人	0%	【評価:E 未着手、未実施、先送りなど】 コロナ禍により積極的な勧誘ができない。	産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

(単位:千円)

事業名	計画	実績			KPI		担当課
		予算額	実績	決算額	目標	達成率	
13 グラウンド・ゴルフ 国際化及び潮風の 丘聖地化の推 進①	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化に向け、プロモーションDVDの多言語化を推進する。本年度はアラビア語、ウルドゥー語、カザフ語 ◆多言語DVD作成委託料 1,667千円	1,667	計画どおりプロモーションDVDの多言語化を行った。 アラビア語、ウルドゥー語、カザフ語	1,650	①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	0%	産業振興課
14 グラウンド・ゴルフ 国際化及び潮風の 丘聖地化の推 進②	グラウンド・ゴルフの国際化及び潮風の丘聖地化に向け、潮風の丘の施設等整備を行う。 ◆潮風の丘とより多目的広場周辺の景観保全 611千円	611	多目的広場東屋付近の支障木を伐採し、東屋からの眺望を確保した。	462	①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	0%	産業振興課
15 グラウンド・ゴルフ 国際化及び潮風の 丘聖地化の推 進③	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化のため、海外普及活動・WMG2021関西のPR・国際組織の運営協力や、用具海外販売を促進する。 ◆ルール普及1,470千円 スペイン ◆用具提供・販売2,601千円 未普及国を中心に用具を贈呈するとともに、湯梨浜まちづくり㈱による販売をPRする。 ◆国際組織運営協力0千円 町国際大会時に国際グラウンド・ゴルフ連盟と連携して、参加国代表者会議等を開催する。	4,071	◆ルール普及0円 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による出入国制限が厳しい中、海外でのトップセールスは実施できなかった。 ◆用具提供・販売1,518千円 アメリカ(サイパン)及びカザフスタンに用具を贈呈した。湯梨浜まちづくり㈱による30%オフセールで約300万円売り上げた。 ◆国際組織運営協力0円 参加国代表者会議について具体的な協議は進まなかったが、適宜連絡調整し、連携を密にしている。	1,518	①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	0%	みらい創造室

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画		実績		KPI		担当課
	事業名	予算額	実績	決算額	目標	達成率	
16	ウオーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進①	【地方創生推進交付金】令和2年11月、済州オウルとの「友情の道」協定を締結。ウオーキングリゾートとしてインバウンド化を目指すため、町の認定したウオーキングコースを生かし、国内外の交流人口増加と地域活性化を目指す。また、湯梨浜町ウオーキングコースにおいて町の特産等でおもてなしを行う。《ウオーキングリゾート推進事業》 ◆旅費 360千円 ◆消耗品費 20千円 ◆印刷製本費 264千円 ◆通信運搬費 9千円 ◆筆耕翻訳料 90千円 ◆委託料 663千円 ◆使用料及び賃借料 1千円 ◆負担金 5千円 計 1,412千円	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国内はもとより、海外との往来が制限される状況の中で、海外でのトップセールスの実施が厳しい見込み。昨年度協定締結した「友情の道」提携コースの維持、整備を進めるとともに、コロナ禍で実施される済州オウルレフェスティバル(10/22～11/16)での町PR方法を検討。 □湯梨浜町・済州オウルレ交流事業リポートミーティングの開催(10/14、参加：湯梨浜町・済州オウル・NPO法人未来) □感染拡大の影響により、イベント等でのPRの十分な機会がなく、感染終息後に向けたコース整備等を実施。	275	①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	0%	健康推進課
17	アロハカーニバル事業【I・③商工業の振興にも掲載あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、地元飲食店でのスタンブラーや宿泊施設や観光施設とも連携した企画を実施するなど、飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳： スタンブラー企画(スタンブラー、景品等) 500千円 観光誘致費用 450千円 イベントPR費用 460千円 事務費20千円 計1,430千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実行委員会が協議の結果、今年度の事業は中止とした。	0	①イベント参加店舗数:15店舗以上 ②スタンブラー参加者数:200人以上	0%	産業振興課
18	天女のふる里づくり事業①	①東郷湖・未来創造会議事業 「天女のふる里づくり」事業の一層の伸展に向け、住民と連携した緑化の取組を推進する。 ◆地域おこし協力隊員報酬等 2,416千円 ◆社会保険料 385千円 ◆委員報償費等 72千円 ◆委員旅費 70千円 ◆消耗品 10千円 ◆通信運搬費 13千円 ◆交付金 1,026千円 ②花と緑のまちづくり支援事業補助金の交付 ◆補助金 400千円	①地域おこし協力隊員(コミュニティ・ガーデナー)の募集を6月に行い、3件の応募があったが不採用となった。 ②交付申請 1件	0	補助金の利用:5件	20%	企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

	事業名	計画	予算額	実績	KPI			担当課	
					決算額	目標	達成率		評価
19	天女のふる里づくり事業②	①-1 天女を活用したまちづくりの一環として関係自治体へのイベント参加交流を実施 ①-2 子どもたちへの羽衣天女伝説の認知度向上を目的にパンフレットを配付 ◆ イベント参加旅費 46千円 ◆ 消耗品 28千円 ◆ 通信運搬費 5千円 ◆ モニタメント保険料 4千円 ◆ 高速道路使用料等 13千円 ② 宇宙桜やハナミズキ、宙ユリなど花関連の情報を発信する。	96	① 高石市の開催するイベントへの参加を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。 ② 町報及びHPIに宇宙桜及び宙ユリに関する記事を掲載。空ユリについて日本海新聞に掲載されたが、R4.3月は宇宙桜の開花が遅く新聞等で取り上げられることは無かった。	4	① イベント参加: 1回 ② 花関連情報の新聞、ニュース等での取り扱い: 2回	33%	【評価: C】計画どおりに進んだ ① 高石市のイベントは新型コロナウイルス感染症の影響により中止。今後も新型コロナウイルスの感染動向に影響されるが、できるだけイベントに参加して情報発信を行っていく。 ② 今後も積極的な情報発信を行っていく。	企画課
20	天女のふる里づくり事業③	・宇宙桜植樹交流事業 宇宙を旅した桜の種から生育した苗木の植樹をH29年度に実施。宇宙の桜＝「天女桜」として育て、観光振興に活用していく。これをシンボルとして、緑化推進の機運醸成にもつなげる。(植樹3年目) ◆ 旅費 141千円 ◆ 消耗品 50千円	191	宇宙桜ガーデニングプロジェクト(宇宙桜PT)と合同で、天女桜ガーデンの草刈りを6回実施。 山梨県で開催予定の宇宙桜サミットは、新型コロナウイルスの影響により中止となった。	0	宇宙桜に関連した住民参加による取組: 7回	86%	【評価: C】計画どおりに進んだ 天女桜ガーデニング草刈について、宇宙桜PTのメンバーがPTの活動以外でも個人的に草刈を行うようになり、自主的な活動による緑化推進の機運が少しずつ醸成されつつある。取組回数は目標に達していないが、概ね計画どおりに進んでいる。	企画課
21	天女のふる里づくり事業④	・天女のふる里東郷湖「花」基金積立金 天女を活用したまちづくりの推進策の一つである町内の緑化推進のため、東郷湖周への桜植樹などを行うこととしている。その財源に充てるため、ふるさと納税制度等を活用した寄付を募り、基金へ積み立てるもの。 ◆ 積立金 1,202千円	1,202	天女のふる里東郷湖「花」基金寄付金額 2,104千円	2,104	寄付金額を120万円とする。	175%	【評価: A】達成済、事業完了 目標の120万円を大幅に上回る210万4千円の寄付を受けたことができた。	企画課
22	天女のふる里づくり事業⑤	・町天女キャラクター活用推進事業 天女のまちイメージ創出に向け、天女キャラクター「ゆりりん」のデザインと着ぐるみの活用を進める。 ◆ 旅費、メンテナンス、通信運搬費等 192千円	192	■ デザイン活用25件 ■ 着ぐるみ活用10件	22	デザイン活用30件 着ぐるみ活用30件	58%	【評価: D】計画より遅れた イベントの中止などの影響で、デザインと着ぐるみの活用が進まなかった。	産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績	決算額	KPI			担当課
					目標	達成率	評価	
23 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)①	・鳥取県中部観光推進機構【会費】 鳥取県中部地域及び岡山県蒜山地域の連携を深め、観光資源の共有及び周遊環境の整備等による広域観光地の魅力向上のための事業を展開するためH27に一般社団法人化したDMO組織への会費。 ◆会費 531千円	531	■R3年度会費 531千円 令和3年(1月～12月) 鳥取県中部エリア ・観光入込客数 4,006,880人 (前年比:93.4%、前年:4,288,897人) ・全宿泊者数(日本人・外国人計) 318,726人 (前年比:88.1%、前年:361,599人) ・外国人宿泊者数 840人 (前年比:23.9%、前年:3,511人)	531	推進交付金 中部エリア (令和3年) ①年間観光入込客数 5,000,000人以上 (R2:4,288,897人) ②年間宿泊客数 400,000人以上 (R2:361,599人) ③年間外国人宿泊客数 4,000人以上(R2:3,511人)	60.3% 60.3% ①80.1% ②79.7% ③21.0%	【評価:D 計画より遅れた】 県内及び全国的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年に比べ観光客等が少ない状況が続いている。	産業振興課
24 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)②	【地方創生推進交付金】 新たな観光振興スタイル、時代に合致した情報提供方法(デジタル化)、感染対策を講じた観光商品(ワーケーション等)を中心とした事業を実施する。 広域観光連携推進事業負担金 30,000千円 デジタル化推進事業 アニメカルチャーコンテンツ育成事業 情報発信事業 インバウンド誘客対策事業 観光スキルアップサイト構築事業 ワーケーション整備計画策定事業 ◆湯梨浜町負担金 3,520千円	3,520	■R3年度負担金 3,520千円 ○デジタル化推進事業:中部圏域デジタルマップに「こいこmap」9/1運用開始 掲載施設:約570箇所 ○アニメカルチャーコンテンツ育成事業:ひなびたデジタルスタンプラリー(1/7～2/6) 185名参加、日本遺産×三朝歌連オンラインクイズキャンペーン(2/28～3/14) 3351名参加 ○情報発信事業:メルマガ配信、ホームページ、Twitter、Facebook、インスタグラム、高速SAハット配架により観光情報発信 ○インバウンド誘客対策:通訳案内士・通訳・翻訳業務登録者26名、リモーター6名 ○観光スキルアップサイト構築事業:観光スキルアップ研修 第1期受講17名 第2期受講11名 第3期受講7名 第4期受講11名 写真撮影講座受講 9名 ○ワーケーション整備計画策定事業:6/28、10/15実行委員会開催 先進地視察(和歌山県白浜12/21～22)10名参加 ワーケーション講演会(3/4)22名参加	3,520	推進交付金 中部エリア (令和3年) ①年間観光入込客数 5,000,000人以上 (R2:4,288,897人) ②年間宿泊客数 400,000人以上 (R2:361,599人) ③年間外国人宿泊客数 4,000人以上(R2:3,511人)	60.3% 60.3% ①80.1% ②79.7% ③21.0%	【評価:D 計画より遅れた】 県内及び全国的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年に比べ観光客等が少ない状況が続いている。	産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績			KPI			担当課
		予算額	実績	決算額	目標	達成率	評価	
25 教育旅行のメニュー開発事業	教育旅行商品の企画・作成を行う。 ◆町観光協会補助金 10,481千円	10,481	■町観光協会補助金交付10,370千円 2023年度 教育旅行予約29件 (ドラゴン29件、Gゴルフ10件(潮風4、夢広場6) 重複あり)	10,370	2年後の修学旅行等の予約:10件	290%	【評価】A 達成済、事業完了】 2023年度教育旅行予約29件	産業振興課
26 ワーケーション推進事業 (ゆうゆうゆりはま事業、観光関連施設公衆無線LAN整備支援事業を含む)	【地方創生推進交付金・臨時交付金ほか】 町内宿泊施設等におけるワーケーションの活用について県内外へPRを行う ◆ワーケーション推進事業 24,336千円 Webサイト更新及び告知ページ制作、動画制作、新聞等広告、告知パンフ制作など 受入体制整備、プランの作成・企画 県外企業とのマッチング、事業実施等 ・日本海テレビ「ガンパル・ヤの週末移住バラエティ冠ル・ヤ」による町のPR ◆観光関連施設公衆無線LAN整備支援事業 300千円 町内観光施設等が行う公衆無線LANの整備補助	24,636	■ワーケーション推進事業 ・ワーケーションHP告知ページ制作、 ・Webサイト更新12回、PR動画制作 ・説明パネル及びチラシ制作 ・新聞広告(11/26山陰、11/27大阪) (3/4東京、大阪) ・広報番組(日本海テレビ「週末移住バラエティ冠ル・ヤ」)12/18、25、1/15、22放送 ・ワーケーション研修会(3/4) ■ワーケーションプラン実施事業 ・モニタープラン実施 (11/19～21、11/26～28、1/11～13) ・ガイドブック制作 ■観光関連施設公衆無線LAN整備支援事業 ・希望事業者なし	22,633	町内宿泊施設におけるワーケーション利用者数50人	66%	【評価】D 計画より遅れた】 【ワーケーションモニタープラン参加者】33人 ワーケーション受入施設の拡充など、受け入れ態勢の整備を推進していく必要がある。	産業振興課
27 食と健康のまちづくり事業	県・町・(株)タニタヘルスリンクと進める「ゆりはま食と健康のまちづくり事業」に関する協定」に基づき、町民の健康寿命の延伸及び店舗への誘客を図る。 ◆飲食店とタイアップしたタニタ監修メニューの提供 《食と健康のまちづくり事業》 ◆タニタヘルスリンク・リズム展開業務委託料 監修メニュー・オリジナルメニュー 165千円	165	■メニューの品質チェックについては、新型コロナウイルスの影響とそれに伴う店舗意向もあり、監修事業者が来訪しての実施は中止した。委託業者とは、状況を捉えて早期に品質チェックを行うことで協議済み。 ■提供を中止する店舗があり、現メニュー一覧等を刷新する必要あり。	0	【目標】 監修メニュー提供数:800食	99%	【評価】D 計画より遅れた】 【提供数】:795食 うち3店舗より提供中止意向あり。健康メニューの利用促進に向けた周知強化及び施策展開を図る。	健康推進課

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			予算額	決算額	達成率	評価
28 ゆりはまじげ産業支援事業	町内での創業、新事業進出や販路開拓に取り組む事業者に對して必要経費の一部を補助する。 ◆補助金 創業、新事業進出や販路開拓に取り組む事業者を支援する。 ○補助金 ・創業、新規事業展開支援 1,667千円 (事業費1,000千円×1/2×2事業者 ＋事業継承 事業費1,000千円×2/3×1事業者) ・販路開拓支援 2,533千円 (事業費400千円×1/2×9事業者 ＋事業継承 事業費400千円×2/3×2事業者)	■創業、新事業進出＝交付決定5件、2,591千円 ■販路開拓＝交付決定1件、178千円	4,200	2,769	120%	【評価:A 達成済、事業完了】 創業5件、販路開拓1件の計6件を交付決定した。 産業振興課
29 チャレンジショップ支援事業 【I:④雇用の推進にも記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ※限度額は、月5万円で交付期間は1年間 ◆補助金 新規分1件480千円 継続分1件300千円	■継続分＝交付決定1件、300千円 ⇒令和2年10月に創業した事業者の令和3年4月から9月までの賃借料を支援した ■新規分＝交付決定1件、17千円 ⇒令和4年1月に創業した事業者の令和4年1月から3月までの賃借料を支援した	780	317	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 新規分1件を交付決定した。 産業振興課
30 〈再掲〉アロハカーニバル事業 【I:②観光産業の振興にも記載あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、地元飲食店でのスタンプラリーや宿泊施設や観光施設とも連携した企画を実施するなど、飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳: スタンプラリー企画(スタンプラリー、景品等) 500千円 観光誘致費用 450千円 イベントPR費用 460千円 事務費20千円 計1,430千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実行委員会と協議の結果、今年度の事業は中止とした。	1,250		0%	【評価:E 未着手、未実施、先送りなど】 実行委員会と協議。ハワイアンフェスティバル中止やコロナ禍において実施の判断に至らなかった。 産業振興課

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI					担当課
			予算額	決算額	目標	達成率	評価	
31 ふるさと名 物応援事 業	町の地域資源を生かした商品や観光プランの開発を支援する。従来は東郷湖周ウオーキングを活用した商品開発を対象としていたが、制度を拡大し、町内の地域資源を活用する事業を対象とする。 ◆補助金 150千円×1事業者＝150千円	要綱を制定し、ウオーキングに限らず町内の豊富な地域資源を活用する事業を支援できるようにした。	150	0	新規申請1件以上	0%	【評価:D 計画より遅れた】 新型コロナウイルス感染症の影響の中、新たな取り組みを検討する事業者がいない状態。	産業振興課
32 環境創出プロジェクト事業	町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液体肥料や培養土として販売する。また、その他東郷支所などに液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより町民参画と食物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路を図り循環型社会を継続して推進する。 ◆対象事業費3,924千円(委託料3,773千円:生ごみ収集運搬、報償金10千円:生ごみ回収協力区への報償、消耗品費141千円:生ごみ収集に係る事務経費)	生ごみ収集運搬業務について、契約済。 新規回収協力区は無し。	3,924	3,630	生ごみ回収協力区の拡大 R2末 10区 ⇒ R3末 12区以上	0%	【評価:D 計画より遅れた】 既協力区からの回収、液肥の作成、配布については順調に進んでいるが、新規協力区の掘り起こしに苦慮している。	町民課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

(単位:千円)

事業名	計画	予算額	実績	KPI			担当課	
				決算額	目標	達成率		
33 看護師、保育士奨学金助成事業 (ふるさと奨学金支援事業) 【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】	【ふるさと人材育成奨学金支援助成金】 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭、農業、林業、漁業、農林水産業協同組合 ○助成内容 ・無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6 ・有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8 ・助成期間:原則として県内の対象業種に就職してから8年間 ◆45千円×2人=90千円(助成中) ◆60千円×5人=300千円(新規)	390	新たに1名交付決定した。 町HPに制度の概要を掲載するとともに、県のHP上においても周知してもらった。 今後県とよく連携を図りながら取り組んでいきたい。 現在、2名に助成中。	82	申請者(新規) 5人	20%	【評価:D 計画より遅れた】 新規の申請者はあったが、計画に比べて申請件数が少ない。 引き続き、県と連携しながら県の制度周知と併せて町の制度の周知を行っていく。 新規申請者:実績1人/目標5人=20%	教育総務課
34 〈再掲〉 チャレンジショップ支援奨励金 【Ⅰ:③商工業の振興にも記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ※限度額は、月5万円で交付期間は1年間 ◆補助金 新規分1件480千円 ◆補助金 継続分1件300千円	780	■継続分=交付決定1件、300千円 ⇒令和2年10月に創業した事業者の令和3年4月から9月までの賃借料を支援した ■新規分=交付決定1件、17千円 ⇒令和4年1月に創業した事業者の令和4年1月から3月までの賃借料を支援した	317	新規申請1件	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 新規分1件を交付決定した。	産業振興課
35 雇用促進奨励金事業①	・雇用促進奨励金 町内の事業所が①シニア世代(55歳以上)②子育て女性(18歳以下の子ともがいる女性)③就職氷河期世代(昭和49年度から昭和58年度生まれ)④コロナウイルス感染症の影響による解雇や内定取り消しを受けた人―を6か月以上継続雇用した事業所に奨励金を交付する。 ◆補助金 4人分の制度利用を見込む。 20万円×4人=80万円	800	交付申請に必要となる雇用計画認定申請が1事業者3人分あり、認定を行った。雇用が継続されたため、1事業者3人分600千円を交付決定した。	600	新規雇用者4人	75%	【評価:C 計画どおりに進んだ】 1事業者3人分を交付決定した。	産業振興課
36 就職関連情報提供事業	県内就職を支援するため、県外の大学生などに就職関連情報を提供する。	0	県事業を活用し、県外学生に就職関連情報を提供した。	0	情報提供1件以上	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 奨学金に関する就職関連情報を提供した。	産業振興課
37 企業誘致用地等情報提供事業	町内の企業誘致可能な土地や空き工場の情報を集約し、町ホームページなどを活用して情報提供を行う。	0	相談が1件あったが、町ホームページでの掲載に結び付かなかった。	0	情報提供1件以上	0%	【評価:D 計画より遅れた】 相談が1件あったが、町ホームページでの掲載に結び付かなかった。	産業振興課

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			予算額	決算額	達成率	評価
38 ビジネス人材移住支援事業	東京圏から町内に移住した者が、鳥取県が実施するマッチングサイトに掲載された求人就業し、3か月以上勤務している場合は鳥取県が実施する起業支援金の交付決定を受けた場合に移住支援金を交付する。 世帯で移住した場合1,000千円、単身で移住した場合500千円 ◆補助金 1,000千円×1世帯＝1,000千円	交付実績0件	1,000	0	0%	【評価】D 計画より遅れた】 コロナ禍ということもあり、特に相談や問い合わせも受けていない。今後は、町ホームページやフェイスブックへの掲載など電子媒体の積極的な活用や、鳥取県とも連携の上、制度周知に努めていく。
39 中学校跡地施設活用事業	旧北浜・旧東郷中学校等跡地施設の有効利用を図るため、民間提案制度の活用等により、利用事業者を決定する。 《R3予算額》1,625千円(報償費327千円、需用費291千円、役員費5千円、委託料944千円)	9月に公共用地有効利用審査委員会を開催し、旧東郷学校給食センター等の施設(旧東郷中エリアの跡地施設の一部)利用希望者が作成した事業計画及び旧北浜中エリアの民間提案募集要項案について審議を行い、その結果を踏まえて、給食センター等の利用希望者の事業計画の採用を決定。現在当該事業者と事業化に向けた協議を実施中。 旧北浜中学校については11月に民間提案募集を開始し、令和4年3月末で提案受付を終了、旧東郷中学校については令和4年2月に民間提案募集を開始し、6月末を締切としている。	1,994	137	33%	【評価】D 計画より遅れた】 旧北浜中、旧東郷中ともに利用事業者の決定までは至らなかった。旧北浜中についてはR4.3月末に民間提案募集を終了し、4/29.30開催の公共用地有効利用審査委員会で事業採択について審議し、採択事業者があれば契約等の詳細協議を行っていく予定としている。 旧東郷中については旧給食センター等の利用希望者と協議中。その他のエリアについてはR4.2月に民間提案募集を開始し、提案受付期限を6月末としている。提案事業者があれば、7月下旬に公共用地有効利用審査委員会を開催、採択について協議する予定である。

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績		KPI		担当課
		予算額	決算額	目標	達成率	
40 家庭子育て支援事業	低年齢児(満2歳未満児)の家庭子育ての支援 生後8週を超え満2歳に満たない乳幼児を、昼間家庭で子育てをする父母又は祖父母に対し給付金を支給。 育児休業給付金(手当)を受けている期間を除く。 乳幼児1人につき1月30,000円。 ◆5,392千円/3ヵ月×4回=21,568千円 通信運搬費40千円	21,608	■R3.4～6月分(7/26支払):4,771千円 ■R3.7～9月分(10/25支払):5,486千円 ■3/31現在 申請受付:101件 ■R3.10～12月分(1/13支払):5,759千円 ■4.1～3月分(4/14,18支払):5,587千円 16,016	年度末時点で2歳未満児の家庭での子育てを68.8%以上とする。	98% 67.7%	子育て支援課
41 多子世帯保育料軽減事業	令和3年度無償化、軽減 【国】年収360万円未満の世帯。同時入所問わず 第3子以降児無償、第2子半額 【県】年収360万円未満の世帯。第1子と同時入所の第2子、無償。年収360万円以上の世帯。 同時入所問わず第3子以降児無償 【町】年収360万円以上世帯。同時入所問わず第2子軽減	0	計画内容に加えて、令和元年10月から国の幼児教育・保育の無償化により、原則3歳以上児の保育料が無料となり、保護者の負担がさらに減っている。 0 第3子以降児出生数(出産祝い金支給申請、決定数)決定 39件	第3子以降児の出生件数を令和3年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)	100%	子育て支援課
42 第3子以降中学校卒業祝い金支給事業 (第3子以降出産・入学・卒業祝い金支給事業)	多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の軽減のため、出産・入学祝い金支給事業を拡大し、進学や就職準備時である中学校卒業時に祝い金支給を行う。 (H28年度から卒業祝い金支給実施) ◆見込み 3,230千円 出産時 50,000円 × 31名 = 1,550千円 小学校入学時 30,000円 × 27名 = 810千円 中学校卒業時 30,000円 × 29名 = 870千円 通信運搬費 8千円	3,238	■3/31現在 申請受付:92件 ■入学祝い金:870千円 ■卒業祝い金:720千円 ■出産祝い金:1,950千円 3,540	第3子以降児の出生件数を令和3年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)	100%	子育て支援課
43 子育て世代包括支援センターの整備①	子育て世代包括支援センター事業 相談支援のワンストップ拠点となる子育て世代包括支援センターを設置し妊娠、出産から就学前までの切れ目ない支援をめざす。 コーディネーターを配置し、必要な支援やサービスが受けられるよう情報提供、関係機関調整などを行う。 妊婦期、出産時から就学前までの時期、就園時から就学までのそれぞれの時期に対象者全員への子育てプラン提供、支援の必要な方への子育て応援プランの提供等を行う。 ◆消耗品費、通信運搬費 67千円	67	子育てプラン配布:妊娠届出者全員 乳幼児健康診受診者全員 子育て応援プラン作成:妊娠届出時や産婦訪問時等に必要と判断した人全員(年間目標45人 実績36人) 町内関係機関と情報共有:(年間目標6回 実績 子育て支援センターとの会4回 ケース会議3回 計7回)	子育てプラン配布:妊娠届出者全員 乳幼児健康診受診者:全員 子育て応援プラン作成:妊娠届出時必要と判断した人全員(45人程度) 町内関係機関(要対協事務局・子育て支援センター)との情報共有の会:年6回 産科医療機関との会:1回	74%	子育て支援課

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績		KPI	担当課	
		予算額	実績			
子育て世代 包括支援セ ンターの整 備② 44	・産前産後サポート事業 妊産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等につ いて、保健師による相談支援を行い、家庭や地域での孤 立感の解消を図るため、主に自宅に訪問するなどし、個 別に相談に対応する。 パート保健師賃金 【アウトリーチ型】※新型コロナウイルス対応による電話訪問も含 む 保健師が自宅に訪問し、個別に相談に対応する。 【デイサービス型】※新型コロナウイルス対応で中止する場合あ り。 公共施設等で集団形式により、同じ悩み等を有する利用 者からの相談に対応する。 ◆職員賃金等 2,810千円、消耗品費 10千円	2,822	■産前産後サポート事業アウトリーチ型： 28件 ■産前産後サポート事業デイサービス型 赤ちゃん広場9回 ハイハイ広場9回 プレ ママ広場9回 計27回 * 毎月1回は開催予定だったが、コロナ感 染症予防のために4回ずつ中止したため 回数が減少した。	決算額 2,750 目標 アウトリーチ型：年 48件(延) デイサービス型： 赤ちゃん広場12 ハイハイ広場12 レママ12回 計36 回 達成率 67%	【評価：C 計画どおりに進ん だ】 必要な対象者へのサポート支 援は行うことができている。対 象者から、「保健師さんからの 電話があり安心感があつた」 との評価も聞かれた。 引き続き、支援を実施してい く。	子育て支援課
	子育て世代 包括支援セ ンターの整 備③ 45	・産後ケア事業 強い育児不安や家族等から産後の支援が得られない母 子に対し、医療機関委託や助産師、保健師訪問、ヘル パー派遣等、宿泊、日中預かりなど様々な方法で、心身 のケアや育児サポートを行う。心身の負担軽減により産 後の未然防止も図る。 【宿泊型】 母子を産科医療機関に宿泊させ、休養の機会 を提供するとともに、心身のケアや育児サポートなどきめ 細かい支援を行う。 【デイサービス型】 日中所した者に対し、個別又は集 団で心身のケアや育児サポート等の支援を行う。 ・母子来所 ・乳児一時預かり 【訪問型】 産婦の状態を把握し、必用と思われる家庭に 助産師を派遣し、産婦の母体ケア及び乳児のケアを行 う。 【産前産後ヘルパー派遣事業】主に出産後間もない時期 に、家事支援が必要な家庭にヘルパー派遣を行う。 ◆助産師報酬 24千円、委託料 213千円(ヘルパー派 遣・ショートステイ・デイサービス等)	237	■産後ケア事業訪問型4件 ■デイサービス型：15件 ■産前産後ヘルパー派遣：1回	訪問型：5件 宿泊型：2件 デイサービス型：10 件 ヘルパー派遣事業 7回 61%	【評価：C 計画どおりに進ん だ】 鳥取県産後ケア事業無償化 事業を導入し、利用料無料と なり、利用がしやすくなり、 デイサービス型の産後ケアの 利用者数が増えた。産後不安 定になる産婦がタイムリーに 利用できるように、今後も新 生児訪問等により、引き続き 対象者の把握に努めていく。
不妊治療費 助成事業 46	県の助成決定を受けた不妊治療を行う夫婦に対し、治療 の種類ごと、回数ごと、年度ごとに定める額を助成する。 【治療の種類】 ◆特定不妊治療費 見込み32件 2,690千円 ◆人工授精費 見込み4件 26千円 ◆不育症治療費 見込み1件 50千円	4,190	【治療の種類】 ◆特定不妊治療費 39件 ◆人工授精費 16件 ◆不育症治療費 0件	利用件数 特定不妊治療32 件、人工授精4件、 不育症治療1件 3,803 174%	【評価：A 達成済、事業完了】 新規に申請される夫婦もあ り、申請数は順調に伸びてい る。	子育て支援課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績		KPI		担当課
		予算額	実績	決算額	目標	達成率
47 ファミリーサポートセンター事業の充実	子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援したい人(提供会員)が育児の相互援助活動を行う。調整役としてアドバイザー1人配置に係る賃金。 事業PR、会員の確保。 預かり体験。 ◆職員賃金等 2,435千円 ◆講師謝金、消耗品、郵送料 32千円 ◆活動保険料 83千円	2,550	3/31現在 実利用者数 14人	2,297	実利用者数の増。年間実利用者数を前年の1.5倍とする。(8人×1.5=12人)	117%
48 病児・病後児・夜間保育事業	◆病児保育:74人(R2実績) (定住自立圏構想での取組。事業受託者ババール園。実施場所県立厚生病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 712千円 ◆病後児保育:7人(R2実績) (定住自立圏構想での取組。事業受託者十字会。実施場所野島病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 415千円 (上記は引き続き定住自立圏で取り組む)	1,127	◆病児保育:61人(実25人)527,435円 ◆病後児保育:17人(実9人)656,937円	1,185	利用者数 病児保育 74件 病後児保育 7件	163%
49 SNS等による子育て支援情報の提供	妊娠出産子育て期全般にわたる必要な情報をリアルタイムに提供していく方法としてフェイスブック等を立ち上げる。 子育て支援アプリを導入し、妊娠期から子育て期における子育てで情報提供をタイムリーに行える体制整備を行う。関係機関との連携会議を定期的に行い、情報連携を強化していく。 委託料 396千円	396	令和3年度母子手帳交付数(妊娠届着数)150件 令和3年度新規登録者数122件(全登録者数428件)	396	子育てアプリ等による情報発信。年間母子手帳交付数に対し、子育てアプリ登録者数を95%以上とする。	81%
50 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進①	放課後児童クラブ5カ所運営。 放課後子ども総合プランに基づき、3小学校においては、放課後こども教室と一体的に実施する。コミュニティ施設で実施する児童クラブについても、教育委員会と連携を取りながらゆりりはま自主学習の広場事業と連携実施する。 ◆羽合第1:9,154千円、羽合第2:14,956千円、東郷第1:9,023千円、東郷第2:9,024千円、泊:8,714千円	50,871	各児童クラブ利用実人数 羽合第1:73人 羽合第2:161人 東郷第1:98人 東郷第2:65人 泊:58人	38,944	利用希望に応じた利用となるよう、登録者数に対する利用者数の割合を、3月利用について100%とする。	100%
					【評価:A 達成済、事業完了】 3/31現在、R3年度新規依頼会員数は14人、提供会員は2人であった。	子育て支援課
					【評価:A 達成済、事業完了】 コロナの影響が見られた前年度に比べ、利用に回復傾向がみられた。(実利用人数が前年度から増加した。)	子育て支援課
					【評価:A 達成済、事業完了】 妊娠婦や子育て中の保護者に対し、母子手帳アプリを活用した情報発信ができている。登録者数も増加している。	子育て支援課
					【評価:A 達成済、事業完了】 現時点で利用希望者全員が利用している。	子育て支援課

事業名	計画	予算額	実績	決算額	目標	達成率	KPI	担当課
							評価	
放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進② ゆりはま自主学習の広場事業(放課後子ども教室)	【放課後子ども教室推進事業】 町内3小学校の空き教室を使用し、年間30回程度の学習支援活動を行う。 放課後に週1回(月3回程度を予定)と夏季休業期間中に開催し、小学校低学年からの学習習慣の定着を目指す。指導については、教員OBを含めた地域人材を活用する。 ◆報償費:894千円 ◆消耗品:40千円 ◆通信運搬費:7千円 ◆保険料:64千円 計:1,005千円	1,005	各小学校の空き教室等を利用し、月3回程度で教室を開催した。 目的:児童が放課後を安心、安全に過ごすことのできる環境整備、学習習慣の定着 ・参加児童 羽合小:26名(1年生)、泊小9名(1～3年生)、東郷小:25名(1・2年生) ・指導者:16名(教員OB、元役場職員などの地域の方) ・実施回数:27回(3月31日現在) 今年度の事業を始める前と終わりに、「ゆりはま自主学習の広場連絡協議会」を各教室ごとに開催し、学校、指導者、放課後児童クラブ支援員代表、事務局担当者で連携しながら事業を行うことができた。	877	連絡協議会を開催した上で各小学校等でこども教室を実施し、学習習慣の定着を図る。 ・参加児童数を50名とする。(対象児童の20%)	120%	【評価:A 達成済、事業完了】 ・参加児童合計:60名 各教室ごとに連絡協議会を開催した。 各教室とも、指導者が宿題への支援と補充プリント等を準備し、児童が意欲的に学習できる環境づくりに努めており、落ち着いた運営ができた。 ・連絡協議会開催:2回×3教室 ・実施回数:27回(予定30回) ・達成率:60人(参加児童数)/50人(目標人数)=100%(120%)	教育総務課
放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進③	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保し、地域の方々の協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験、交流活動等の取り組みを実施し、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりを推進する。 R3年度も継続して羽合地域(長瀬、東田後、橋津)、東郷地域(舎人、大介)の、計5教室で事業を実施予定。 ◆報償費(5教室分) 2,773千円、消耗品費 120千円	2,893	平日の放課後や週末など、子どもたちの安心・安全な居場所、活動拠点を確保し、学習支援や様々な体験活動の機会を提供した。4月から東郷地域、羽合地域において4教室を開設し、地域の方々の協力を得ながら事業を実施した。東田後区寺子屋教室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休止中。 【R3参加延人数】(3月末時点) (R2) ながせキッズくらぶ 28人 (47人) 舎人放課後子ども教室 334人 (324人) 大介といっしょ 159人 (120人) 橋津子ども塾 633人 (777人) 東田後寺子屋教室 0人 (578人) 合計 1,154人 (1,740人)	1,077	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保する。 年間参加延児童数2,000名以上とする。	57.7%	【評価:C 計画どおりに進んだ】 それぞれの教室で事業が実施され、子どもたちの居場所の提供、学習支援、体験活動などが実施できたが、新型コロナウイルス感染症の影響で一部の教室が開催を中止したり、参加者数が減少したりしており、目標を達成することができなかった。	生涯学習・人権推進課

事業名	計画	実績	決算額	目標	達成率	KPI	担当課
53 ゆりはま自主学習の広場事業 (ゆりはま地域未来塾)	【地域未来塾推進事業】 町内在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の放課後や土曜日の部活動終了後に、希望する中学1年生を対象に実施する。 基礎学力の定着と学習習慣の定着を目指すもので、オール湯梨浜体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の機会を提供する。 ※国の『学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金』を活用(補助率:国、県、市町各1/3) ◆報奨金:446千円 ◆消耗品:22千円 ◆郵送料:14千円 ◆保険料:48千円 計:530千円	湯梨浜中学校1年生18人の参加を得て、平日10回、土曜10回の計20回を開催した。 地域住民11人が学習支援にあたっていた。 各月2回、年間20回開催することができた。 1回目を開催するにあたって、運営委員会を開催し、生徒の支援の在り方等について共通認識を持って取り組むことができた。	530	基礎学力と学習習慣の定着を図るため、運営委員会を開催し、中学校1年生を対象に地域未来塾を実施する。 ・参加生徒数を対 象生徒数の20%を 目標とする。	60%	【評価: C 計画どおりに進んだ】 参加している生徒たちは意欲的に学習に取り組んだ。今後とも生徒の基礎学力の定着と学習習慣の定着に寄与したい。 ・実施回数:20回/20回 ・参加率:18人/150人×100 =12%(150人:1年生全生徒数・18人:参加生徒数) ・達成率:12%(参加率)÷ 20%(目標)=60%	教育総務課
54 学校支援ボランティア事業 の推進	【地域による学校支援推進事業】 各小中学校が作成した学校支援ボランティア登録者へのボランティア保険加入手続を行う。 また、自校だけでは要請することが難しいボランティア活動の内容に対しては、他校人材バンクへの登録者情報を必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。 ◆ボランティア保険料 105千円	登下校の見守り活動や環境整備、学習支援等のボランティアが行われ、子どもたちの学び、成長、安全確保等に大きく寄与している。子どもたちの登下校の見守りを行う「オレンジベスト隊」も学校区を超えてさらに広がりを見せている。東郷小学校オレンジベスト隊が県交通安全功労表彰を受けることとなった。 湯梨浜中学校1年生を対象に実施する予定であった伝統文化保存団体等から伝統芸能を学ぶ学習活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。	105	各学校のニーズに沿った地域による学校支援を実施する。 ・小中学校で230名の登録を目標とする。(令和7年度までに250人の登録を目指す。)	90%	【評価: C 計画どおりに進んだ】 羽合小:50人・泊小:56人・東郷小:99人・湯梨浜中:1人の計:206人を学校支援ボランティアとして登録(保険加入)した。小学校では着実に人数を増やしているが、中学校においては小学校との重複登録や事業の中止等により、1人のみの登録となった。 ・達成率:206人(実績)/230人(目標)×100=90%	教育総務課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績	決算額	KPI	担当課	
					達成率	評価	
55 ふるさと教育 の推進	【ふるさと教育推進事業】 総合的な学習の時間の時間で行われている地域学習の取組みを拡充するため、各小中学校独自の取組みにおける地域人材の活用や消耗品等の支援を行う。 ・羽合小学校：体験学習（町探検、文化伝承、平和学習ほか）、交流学習（町内高齢者等との交流、町を元気にする活動ほか） 123千円 ・泊小学校：体験活動（水産教室、泊貝がら節伝承、ワカメ栽培、GG体験ほか）、食育（とまり食の恵ほか） 102千円 ・東郷小学校：体験学習（梨づくり、東郷池体験活動、GG体験ほか）、環境教育（サケ飼育） 112千円 ・湯梨浜中学校：湯梨浜町調べ、職場体験、観光地PR動画制作ほか 120千円	457	新型コロナウイルス感染症防止に努めながら、可能な方法で地域学習を行った。（下記は補助金活用事業） ・羽合小：命の大切さを考える学習（助産師来校）、町を元気にする活動（アロハ委員会）など ・泊小：泊貝がら節、梨づくり、クラブ活動でのグラウンド・ゴルフ体験など ・東郷小：梨づくり、カヌー体験、グラウンドゴルフ体験など ・湯梨浜中：家庭部による七夕茶会、地域訪問、事業所訪問に係る調査活動など ふるさと湯梨浜についてのアンケートによる「今自分が住んでいる地域や湯梨浜が好き」と回答した割合は92.0%であった。	309	108%	【評価：A 達成済、事業完了】 今年度は事業所の訪問や外部講師の招聘などが困難であり、計画どおりに事業を行うことができない部分もあったが、各学校が可能な方法で、補助金等も活用しながら地域学習を進めることができた。 ・実施事業数：24事業（計画：30事業） ・アンケート：結果：92.0%/目標：85%≒108%	教育総務課
56 小学校社会 科副読本作 成事業	【社会科副読本作成事業】 町に誇りと愛着を持ち、大人になっても湯梨浜町に住みたいという気運を子供の時から醸成していくため、また、社会科の学習時に町を勉強するため、小学3・4年生を対象に社会科の副読本を作成し、授業等で活用することによりふるさと教育の推進を図る。 改善点や教科書改訂の内容等を確認し、次年度の副読本に活かすため、編集委員会を年2回開催する。（出席者：小学校社会科教諭等） ◆報償金 2,400円×3名×2回＝15千円 ◆印刷費 420千円	435	町内小学校3年生を対象に、年度初めに社会科副読本を配布した。（前年度作成分） 各小学校において、3・4年生の社会科の学習を中心に副読本を活用した。 副読本を授業のきっかけづくりに活用し、教材開発をしている指導者もいる。 8月4日、2月7日に編集委員会を開催し、令和4年度の副読本の発行に向けて新たな単元（湯梨浜町の様子と人々のくらしのうつりかわり）の資料を収集し、原稿作成を行った。 3月に令和4年度分の副読本が完成し、令和4年度初めに各校への配布を行う。	402	100%	【評価：A 達成済、事業完了】 学校が副読本を活用して、湯梨浜町を題材に学習を進めたいという強い思いを持っており、教員が活用しやすい副読本の作成に努めた。 ・一単元（湯梨浜町の様子と人々のくらしのうつりかわり）追加＝100% ・達成率：編集委員会2/2回開催＝100%	教育総務課
57 ワーク・ライフ・ バランス セミナー事業	生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深め、子育て等しやすい環境づくりを推進するため、町内中小企業、一般勤労者等を対象にワーク・ライフ・バランスセミナー開催する。 ◆需用費 10千円 ◆委託料 200千円 ◆男女共同参画環境づくり奨励事業補助金 170千円	380	■男女共同参画推進企業数 新規2社認定（湯梨浜学園、(有)アトラス） 累計18社 ■男女共同参画環境づくり奨励事業補助金 2社（湯梨浜学園、心結）交付済 ■ワーク・ライフ・バランスセミナー 町民向け及び町内企業向けいずれのセミナーも新型コロナウイルスの影響により中止。	50	100%	【評価：A 達成済、事業完了】 男女共同参画認定企業が1社増加したこと、当面の目標は達成したが、引き続き企業訪問など制度の周知を行って認定企業数を増やしていく。	企画課

(単位:千円)

事業名	計画	予算額	実績	決算額	目標	達成率	KPI	評価	担当課
58 地域で取り組む介護予防活動推進事業	①養成した100名の介護予防・健康づくりリーダー(ゆりりんメイト)に地域で活躍してもらったため、継続した働きかけや支援を行う。また、ゆりりんメイトを含む地域住民が担い手となり、新たに健康づくり・介護予防・フレイル予防等を目的とした地域サロン活動に取り組む地域・団体等を増やすため、短期集中サロンの実施や地域サロン活動に対する助成を行う。 ②導入した認知症診断プログラムやフレイル評価・管理システムを活用して、高齢者等の状態を判定し、町が実施する運動教室や介護予防教室、筋力トレーニングや脳活トレーニング事業、地域サロン等を体系化して個々の状態に合わせたプログラムを提供するとともに、プログラム実施前後の個々の状態を管理・評価して段階に応じた適切なプログラムにつなげていく。 ◆脱フレイル大作戦 1,945千円 消耗品 14千円、通信料・郵送料 72千円 プログラム保守料 374千円 システム使用料 1,485千円 ◆脳活トレーニング事業 2,756千円 消耗品費 20千円、郵送料 9千円 事業委託料 2,727千円 ◆筋力トレーニング事業 8,756千円 消耗品費 20千円、郵送料 38千円 事業委託料 8,698千円 ◆ミニデイサービス事業 3,862千円 消耗品費 20千円、通信料・郵送料	17,319	①7月13日のサロン世話人交流会(社協主催:参加者25名)において、コロナ禍で介護認定率が増加している現状とコロナ禍でもフレイルに留意したサロン活動の必要性について、短期集中型サロン活動支援事業(短期集中ゆりりんサロン)と地域介護予防活動支援補助金について説明した。 1)9月28日:【新規】田後南部高齢者クラブ 11月11日からの8回コース(1回/2週)の予定で実施していたが、新型コロナウイルスにより6回目実施後は中止となる。 2)10月5日:宇野地区サロン世話人へサロン再開実施を勧奨。 3)11月4日:【再開】原地区でサロン再開 4)3月22日:長和田いきいきくらぶ総会で、短期集中ゆりりんサロンについて説明。 5)3月23日:久留西高齢者クラブサロンで補助金について説明。 ②各種プログラムを実施し、介護予防事業の勧奨や脳活トレーニング事業等委託事業での個別指導に活用した。 ・フレイル評価システムの実施:65歳以上の者に対し配布回収した基本チェックリスト回答者2,693人に対しフレイル判定結果を個別通知した。 ・物忘れ相談プログラムの実施:延249人(集団健診160人、地区サロン25人、その他64人)(脳活、ミニデイサービス、来所、訪問等) ・運動処方プログラムの実施:延244人(筋力トレーニング事業159人、脳活トレーニング21人、長瀬中央サロン外5カ所64人) ◆脱フレイル大作戦 2,155千円 ◆脳活トレーニング事業 2,108千円 ◆筋力トレーニング事業 8,128千円 ◆ミニデイサービス事業 1,545千円	13,936	【目標】 ①新たに健康づくり・介護予防・フレイル予防等を目的とした地域サロン活動に取り組む地域・団体を年間3団体増やす。 ②導入したプログラムで700人以上の個別評価を実施する。	66%	【評価:C 計画どおりに進んだ】 ①コロナ禍の影響で、サロンの実施、再開について積極的な勧奨ができなかった。 新規:田後南部高齢者クラブ1団体/3団体=16%/50% ②コロナ禍の影響により、筋力等委託事業の参加者や、介護予防教室の開催等は最小限となったが、今年度初めて基本チェックリスト回答者全員に対しフレイル判定結果を個別通知した。 各種プログラムの実施者 3,186人/700人×0.5= 227.6% 達成率 ①16%+②50%=66%	長寿福祉課	

事業名	計画	実績			KPI		担当課
		予算額	決算額	目標	達成率	評価	
59 歯・口の健康づくり推進事業	フッ化物洗口事業は、教育総務課に移管。協力しながら、歯・口の健康づくりを推進する。 健康推進課としての関わりとしては、 ①「小学校におけるフッ化物洗口手引き」及び「中学校におけるフッ化物洗口手引き」の見直しの確認を中部歯科医師会歯科衛生士及び学校歯科医、県歯科担当者に依頼。修正後は、各小中学校に配布する。 ②説明会の要望があれば、出向く。 ③フッ化物洗口の評価を行う。	0	①小学校・中学校のフッ化物洗口の手引きを、県歯科担当、中部歯科医師会、学校歯科医(はまよし歯科クリニック、あだち歯科医院、くらげ歯科クリニック)に確認を依頼。修正後、各小・中学校に配布した。 ②説明会の要望はなく、実施していない。 ③フッ化物洗口の効果について、湯梨浜町、鳥取県、全国のデータを活用して資料を作成。教育総務課に提出し、各小・中学校に配布済。	①必要に応じた手引きの見直し(33.3%) ②必要に応じた説明会の開催(33.3%) ③フッ化物洗口の評価(33.3%)	67%	【評価：C 計画どおりに進んだ】 ①令和3年4月29日に実施済(33.3%) ②令和3年度は要望はなし(0%) ③令和3年12月27日に実施済(33.3%)	健康推進課
60 健康相談・健康教室等の実施①	温泉を活用したウォーキング教室の実施(龍鳳閣) 年間計画に沿って実施(週2回、年79回) 《健康増進事業》 ◆講師謝金 395千円	395	□健康づくりのための水中運動を月曜日から木曜日に龍鳳閣で実施。 □特措法の発令に伴う外出自粛要請を受け、8月3日～9月12日までの間、教室開催を中止とした。 □全国各地で連日過去最大の感染者を記録するなど、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、鳥取県が感染流行嚴重警戒地域となったため、1月25日から教室開催を中止した。 □参加延べ人数 4月：140人、5月：178人、6月：192人、7月：96人、8月：実施なし、9月：94人、10月：170人、11月：186人、12月：172人 R4.1～3月：実施なし 【合計：1,228人】	【目標】 教室参加人数を1,600人以上 ※R2年度参加者1,455×1.1＝1,600人	77%	【評価：C 計画どおりに進んだ】 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一時的に事業を中止したが、1カ月平均(8月、1月、2月、3月を除く)で153人の参加があり、概ね計画どおりに進んでいる。	健康推進課

事業名	計画	予算額	実績	決算額	目標	達成率	KPI	担当課
健康相談・健康教室等の実施②	《つみたて貯筋運動教室他》 町内の体育施設等を利用して運動教室を開催し、運動の習慣化や健康づくり、介護予防として取り組む。また、月1回運動教室と併せて、生活習慣病予防のための健康講座を開催し、町民の生活改善を促す。 《積立貯筋運動(健康づくり)事業》 ◆講師謝金 408千円 ◆消耗品費 77千円 ◆通信運搬費 3千円 ◆委託料 639千円 計 1,127千円		【運動教室】 実績：教室参加延べ人数 □つみたて貯筋(とうごう教室)：335人(32回)《16回中止》 □つみたて貯筋(とまり教室)：306人(31回)《17回中止》 □つみたて貯筋(はわい教室)：76人(6回) □ココカラ運動教室：322人(30回)《14回中止》 計 1,039人(99回) * 1,039人÷99回≒10.5人 【健康講座】 4月「噛む力を鍛えよう」：10人 5月「身体づくりと食事バランス」：15人 6月「血液検査について」：13人 7月「唾(唾液)出ますか」：14人 9月「水分補給」：9人 10月「お口と全身の病気の関係は？」：12人 11月「免疫力と感染症予防」：12人 12月「生活習慣病について」：14人 1月「飲み込みUpで誤嚥性予防」：13人 ※大雨警報の発令(7月7日)、新型コロナウイルス感染症拡大による特措法の外出自粛要請(8月3日～9月12日)、大雨被害による施設利用中止(7月8日～28日)、全国的な感染拡大(1月25日～3月末)等の要因で、運動教室及び健康講座を中止する期間が長期となったため、前年より参加者は減少した。		【目標】 教室参加延べ人数を1,750人以上 ※R2年度実績 参加人数 1,214人/114回≒1回あたり10.6人 ※R3年度目標 1回あたり12人×開催予定回数146回＝1,752人		【評価：C 計画どおりに進んだ】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより、教室が予定どおり開催できなかった。健康二次被害防止の観点から、運動機会の創出と広報による参加を促していく。 R3年度実績1,039人／R3年度目標1,750人＝59.4%	健康推進課
	61		1,127		868		59%	

事業名	計画	予算額	実績	決算額	目標	達成率	KPI	評価	担当課
健康相談・健康教室等の実施③ 62	居住地区周辺でのウォーキング教室開催により、ウォーキングの習慣化を図り、町民の健康につながる。 ◆自治会4回、事業所2回 《ノルディックウォーキング教室事業》 ◆委託料 112千円	112	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、不要不急の外出や人と人との接触機会を減らす行動の必要性が叫ばれる中、自治会等での教室は開催していない。 □緊急事態宣言が解除され、町報等での周知を開始した。 □新型コロナウイルス感染拡大により、県内での特別警報発令等の影響を受け、教室は開催できていない。	0	【目標】 運動効果の周知により、ノルディックウォーキング教室の参加者を70人とする。 ※R2実績 教室開催1回 参加者24人 ※R元実績 教室開催2回 参加者61人	0%	【評価】E 未着手、未実施、先送りなど】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中部地区でも特別警報が発令されるなど、健康教室や運動教室の開催を自粛する傾向がみられた。 健康二次被害防止の観点からも、町報やホームページなどでPRしながら、開催方法を工夫し、実施を継続する。	健康推進課	
SIBを活用した飛び地型自治体連携事業(食と健康のまちづくり事業) 63	【地方創生推進交付金】 タニタ健康プログラムの推進 ・タニタ健康システムの運用 ・タニタ健康プログラムの推進 《SIBを活用した飛び地型自治体連携事業》 ◆普通旅費 716千円 ◆消耗品費 1,716千円(ポイント景品) ◆通信運搬費 339千円 ◆委託料 13,884千円 ◆使用料及び賃借料 4,195千円 (活動量計ID、サイト等 使用料) 計 20,850千円	20,850	□歩数向上施策として、4月に推奨歩数達成キャンペーンを開催。達成者120名。 □町報やホームページ、ワクチン接種会場や健診会場等での情報発信のほか、四半期毎にアドバイスシートの送付を実施。 □新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言等の影響を受け、会員向けセミナー等は実施できていない。 □10月に連携自治体歩数イベント、3月に町単独歩数イベントを開催し、歩数向上を促した。 □12月に筑波大学大学院教授を講師とした健康二次被害防止講演会を開催。 □2月に「フレイルの日サミット(飯塚市)」を連携自治体等と開催。共同宣言を行うなど、フレイル予防への取り組み強化を確認した。	15,042	【目標】 運動管理システム(活動量計等)を利用した「ゆりほまヘルシーくらぶ」の会員を520名とする(R3)。 ※最終1,400名とする(R6)。	110%	【評価】A 達成済、事業完了】 毎月の町報での広報や、既参加者からのクチコミによる誘引により、本年度の参加者目標数は達成できた。 ただし、参加者向けセミナーなどの予定事業はコロナ禍により開催できておらず、運動継続意欲を切らさないための取り組みの検討・実施を継続する。 【参加者数】 571名(3月31日時点)	健康推進課	

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課	
			予算額	決算額	目標		
64 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進① 【Ⅲ：①移住 定住の推進 にも記載あり】	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業（地方創生推進） 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に 基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の 方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨 浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯 梨浜まちづくり株式会社」等、官民が連携し一体 となり推進していく。 ◆生涯活躍のまちPR業務（情報発信）6,435千 円（旅費72千円、役務費1,155千円、委託料 5,208千円） 令和3年度は、都市圏（東京、大阪）でのセミ ナー、オンラインセミナー、現地ツアーを実施す る。	レークサイド・ヴィレッジゆりはまの一般 分譲地全67区画中59区画が販売済で 建設・入居が進行中。福祉ゾーン3施設 のうち2施設が供用開始済で1施設の事 業者が決定。その他福祉施設2施設も 供用開始済。 ■8月28日大阪日日新聞で、生涯活躍 のまちの取組、レークサイド・ヴィレッジ ゆりはまの概要を掲載してPRした。 ■1月～2月都市部の人を対象に3回セ ミナーを開催し、延べ82人が参加。 ■3月、インターネット広告によりPR。	6,435	4,942	＜推進交付金＞ ①県外からの 移住者：185人 （R3）、925人 （R6） ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数：1団体 （R3）、35団体 （R6） 87%	【評価：D 計画より遅れた】 ①4月～3月：136人。136人 /185人＝74% ②1団体。1団体/1団体＝ 100% (74%+100%)/2＝87%	みらい創造室
65 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」の 推進①	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍ポータル「カラフル」出展（地方創生 推進） 生涯活躍のまちに取組む全国5自治体（北海道 東川町、福島県伊達市、山梨県都留市、湯梨浜 町、南部町）が連携して東京に相談窓口を設置 して、移住定住へ向けた相談受け付けや、イベ ントを開催して生涯活躍のまちの情報発信を実 施する。	■7月17日オンラインで合同イベント「ま ちづくりサミット」を実施。延べ125人が参 加。 ■8月5日オンラインで単独イベント「ゆり はまカレッジ①」を実施。19人が参加。 ■8月19日オンラインで単独イベント「ゆ りはまカレッジ②」を実施。16人が参加。 ■2月22日オンラインで合同イベントを実 施し、82人が参加。			＜推進交付金＞ ①県外からの 移住者：185人 （R3）、925人 （R6） ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数：1団体 （R3）、35団体 （R6） 87%	【評価：D 計画より遅れた】 ①4月～3月：136人。136人 /185人＝74% ②1団体。1団体/1団体＝ 100% (74%+100%)/2＝87%	みらい創造室
66 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進② 【Ⅲ：①移住 定住の推進 にも記載あり】	・地域おこし協力隊事業（生涯活躍のまち） 地域おこし協力隊3名を任命し、「湯梨浜町版生 涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨 浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたる まちづくりに関連する事業の運営などの中核を 担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動（3名） 11,186千円	総合相談センターどれみを拠点として、 生涯活躍のまちに関する空き家利活用 と情報発信を行っている。 ■空き家の利活用（2人） 毎月どれみでの空き家相談会を実施 している。相談会で相談を受けた結果、 2件の空き家情報バンクへの申請を行っ た。 ■情報発信（1人） 地域おこし協力隊Facebook「ゆりはま フェローズ」で町の情報発信を行い、フェ ローが83人増加した。（4月22日時点、 462人⇒545人）	11,186	9,112	＜推進交付金＞ ①県外からの 移住者：185人 （R3）、925人 （R6） ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数：1団体 （R3）、35団体 （R6） 87%	【評価：D 計画より遅れた】 ①4月～3月：136人。136人 /185人＝74% ②1団体。1団体/1団体＝ 100% (74%+100%)/2＝87%	みらい創造室

(単位:千円)

事業名	計画	予算額	実績	決算額	KPI			担当課
					目標	達成率	評価	
67 縁結び支援 員事業	晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「縁結び支援員」の活動を支援することで人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。 ◆縁結び支援員 情報交換会、研修会 出席報償金、旅費 123千円 ◆婚姻成立時報償金 30千円	153	◆縁結び支援員 情報交換会1回(出席報償金 12千円) ◆婚姻成立時報償金 0千円	12	縁結び支援員 事業等により 婚姻した件 数:年1件	0%	【評価:D 計画より遅れた】 令和4年3月に町縁結び支援員情報交換会を開催。今年度新しく加わった支援員の紹介を含め、現状の意見交換並びに来年度からの新しい支援制度(とっとりエントリー)の登録助成)について説明を行った。	企画課
68 婚活イベント事業(広域連携)	中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する人の出会いの機会を広域的に拡大するなど、少子化傾向の改善に取り組む。 ※中部定住自立圏事業で実施する。 ・広域連合負担金 200千円	200	上半期が事業実施業者決定に時間を要したためイベント開催はなし。 中部地区市町と連携し、10月からイベント等を開始。また、とっとりエントリーとの共催イベントも実施した。 【イベント】 合計10事業13回の実施を計画し、7事業8回を実施。参加者数延べ110人(湯梨浜町からは13人)が参加。 【オンラインセミナー】 合計5回計画・実施。参加者数延べ185人(湯梨浜町からは13人)が参加。	200	令和3年度に広域連携による婚活イベントを実施。パーティー型イベント:2回 婚活セミナー:2回	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 計画以上のイベント・セミナーを実施。今後も新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、オンライン開催等、感染拡大時でも開催できる体制を整え、独身男女に対し結婚につながる出会いの場の提供を図る。 【パーティー型イベント】 3事業4回実施。 【セミナー】 オンラインで5回実施。	企画課

事業名	計画	予算額	実績	決算額	KPI			(単位:千円)
					目標	達成率	評価	
69 IJUタウン 促進事業	地域の将来を支える人材の呼び込みを図るため、都市圏での移住定住相談会に参加し、本町の魅力を積極的に発信する。また、移住コーディネーターを設置し移住相談窓口として各種支援制度の紹介や空き家、住宅情報の提供などを実施し、移住促進を図る。 《R3予算額》 3,660千円(旅費95千円、需用費25千円、役務費40千円、委託料3,500千円)	3,660	＜ふるさと鳥取県定住機構主催＞ ■7月10日鳥取県来葉暮(オンライン)に出展した。 ■7月18日住む・働く・鳥取県移住フェア(オンライン)に参加して4組の相談を受けた。 ■11月6日鳥取県来葉暮カフェ(オンライン)に参加して1組の相談を受けた。 ■1月15日、16日鳥取県IJUタウンBIG相談会(オンライン)に参加して7組の相談を受けた。 ＜町主催＞ オンライン相談会を10回実施し、10組の相談を受けた。	3,176	移住について具体的な相談に入っている者数:5件	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 具体的な相談に入っている相談者5件 5件/5件=100% ※うち2件3人が移住に結び付いた。	みらい創造室
70 空き家情報バンク活用 促進事業	①空き家情報バンクの運用により空き家所有者と利用希望者のマッチング、紹介を行う。 ②空き家情報バンク登録物件に県内からの町外者が転入する場合には、空き家所有者が行う改修等の費用を補助する。 上限:250千円 補助率1/2 予算:250,000円×1件=250,000円 《R3予算額》 補助金 250千円	254	①空き家情報バンク成約数4件(登録物件の成約数) R2年度未登録物件数:8件 新規登録:2件 登録抹消:4件 ※抹消についてはバンクでの内見を経ず所有者が空き家を売却したもの。購入者の内訳は、利用希望登録者済の者2件(県外1、県内1)とその他個人2件) ②交付申請0件		①町外(県内)利用者からの空き家バンク物件成約数:1件 ②町空き家改修補助金利用:1件	50%	【評価:D 計画より遅れた】 ①不動産事業者経由で売却される物件が増えてきている。現在は、空き家登録件数が少なく、また、状態の良いものは高額であるなど、条件面が難しい状況もある。 ②空き家バンクに登録されている物件でも空き家所有者が改修費用を負担する物件が少なくなっている。	企画課

事業名	計画	予算額	実績	決算額	KPI		担当課	
					目標	達成率		評価
71 空き家対策事業	①空き家改修事業補助金 県外からの移住定住希望者に空き家を提供する人に対し、空き家の改修費を最大500千円補助する。 上限:500千円 補助率1/2 《R3予算額》 補助金 500千円 ②空き家利活用流通促進事業 町内空き家を活用する町内の個人(転入予定を含む)に対し、空き家の改修費を補助する。 上限 住宅:500千円 非住宅:900千円 補助率 1/2 《R3予算額》 補助金 1,900千円	1,900	①交付件数 0件 ②交付件数 0件		移住希望者へ 空き家提供:2 件	【評価:D 計画より遅れた】 相談はあるものの、申請に至っていない。 ①空き家バンクに登録されている物件でも空き家所有者が改修費用を負担する物件が少なくなっている。 ②交付申請が1件あったが、交付決定後に申請者都合により中止となった。この他2件の相談があったが、1件は別事業を利用することとで申請には至らなかった。また、1件は転入後の相談であり、該当とならなかった。	企画課	
72 移住定住者住宅支援事業①	県外の人又は県外から町に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合に補助する。 《R3予算額》 4,500千円 移住定住(土地開発公社)2,000千円×1件 移住定住2名以上1,000千円×2件 移住定住1名500千円×1件	4,500	◆交付決定(3/31時点) 2件 移住定住2名以上1,000千円×1件 移住定住1名 500千円×1件 ◆交付済額(3/31時点) 移住定住2名以上1,000千円×1件 移住定住1名 500千円×1件	1,500	県外からの転入者の定住:4件	75%	【評価:D 計画より遅れた】 HP、町報等で周知を行った。2件の申請を受け付け、支払済。3名が転入済。	企画課
73 移住定住者住宅支援事業②	・移住定住者中古住宅修繕支援事業 中古住宅を購入し県外から町内に移住してきた者又は県外から町内に移住し中古住宅を購入した者で、移住から5年を経過していない者を対象に、購入した中古住宅の修繕費用の一部を補助する。 上限額:250千円 補助率:1/4 《R3予算額》 250千円×1件	250	◆交付決定(3/31時点) 1件 250千円×1件 ◆交付済額(3/31時点) 1件 250千円×1件	250	補助金利用:1件	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 補助金利用者1件。	企画課

事業名	計画	実績			KPI		担当課
		予算額	実績	決算額	目標	達成率	
74 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業	町内で移住定住希望者にボランティアで作業を行ってもらうことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。 ボランティア受入者に報償費を支払い、ボランティア従事者には宿泊費を負担する。 ◆ボランティア受入報償金 70千円 ◆ボランティア受入委託料(宿泊)42泊 301千円 ◆宿泊費補助 26千円 ◆通信運搬費 4千円	401	ボランティア従事者数:0名	0	ボランティア従事者:14名	0%	企画課
75 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業	どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入 500千円×41件=20,500千円 新築・購入(中山間地域かさ上げ分) 100千円×6件=600千円 新築・購入(土地開発公社)1件 1,000千円 新築・購入(レークサイドビレッジ) 600千円×5件=3,000千円 合計 47件、25,100千円	25,300	◆交付決定(R3債務負担含) 49件 26,132千円 新築・購入 25件 11,507千円 新築・購入(中山間地域かさ上げ分) 23件 13,625千円 新築・購入(土地開発公社)1件 1,000千円 ◆交付済額 49件 26,132千円	26,132	若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:57件	86%	企画課
76 結婚新生活支援事業	夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得が400万円未満の新規に婚姻した世帯に対し、婚姻に伴う住宅取得費用に対して補助金を交付。 新築・購入 500千円×5件=2,500千円 合計 5件、2,500千円	3,450	◆交付決定(3/31現在) 1件 300千円 ◆交付済額(3/31現在) 1件 300千円	300	新婚夫婦の定住:5件	20%	企画課
77 三世帯同居三世帯等支援事業	三世帯家族の形成と子育てでの支援を促進し、家族の絆の再生と定住促進を図る。 親と子と孫が新たに三世帯で同居するための住宅の取得や増改築・リフォーム等の費用に対して助成を行う。 500千円×3件 1,500千円	1,000	◆交付決定(3/31時点) 2件 ◆交付済額(3/31時点) 0件	0	新たな三世帯家族の定住:3件	33%	企画課

事業名	計画	実績			KPI		担当課
		予算額	決算額	目標	達成率	評価	
78 移住者運転免許取得支援事業	■県外からの移住者が自動車運転免許証を取得した場合、取得費用の一部を助成する。 150千円×3人 450千円 ■県外からの移住者がペーパードライバー講習を受講した場合、受講料の一部を助成する。 5千円×3人 150千円	460	◆交付決定(3/31時点) 移住者運転免許取得支援補助金 0件 1件 150千円 移住者運転安心支援事業補助金 0件 ◆交付済額(3/31時点) 移住者運転免許取得支援補助金 1件 150千円 移住者運転安心支援事業補助金 0件	◆県外からの移住者の免許取得:3人 ◆県外からの移住者のペーパードライバー講習受講者:3人	17%	【評価:D 計画より遅れた】 HP、町報等で周知を行っている。1件の申請があり、1名が転入済である。	企画課
79 住宅取得仲介報酬助成事業	中古住宅及び新築住宅用地(いずれも集合住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支払った仲介報酬を一部助成し、町内定住促進により町の活性化を図る。 130千円×7件 1,300千円	910	◆交付決定(3/31時点) 14件 1,377千円 ◆交付済額(3/31時点) 14件 1,377千円	中古住宅及び新築住宅用地購入による、町内への定住:7件	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 HP、町報等で周知を行っている。14件の申請があり、転入済である。	企画課
80 お試し住宅運営事業	古民家を活用したお試し住宅と、街なかに新設したお試し住宅を設置して、移住定住を検討している方に本町の暮らしを体験してもらおうとともに、空き家の有効活用、移住定住検討者と地域住民の交流による地域活性化及び定住促進を図る。 ・お試し住宅修繕2,052千円 ・指定管理委託料6,040千円(どれみ含む)	8,092	利用実績 もりた屋:0件 まつざき屋:5件 新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月1日～7月29日まで地域により利用制限を設け、7月30日～10月13日全面的に利用を中止とし利用は少ないが、オンラインによる移住・関係人口イベント会場に活用するなどコロナ後の利用促進に向けPRを図った。10月14日から再び利用制限を設けた。風雨等により破損した外壁や屋根等を修繕した。	お試し住宅利用件数:42件	12%	【評価:D 計画より遅れた】 利用5件/42件≒12%	みらい創造室

	事業名	計画	予算額	実績	決算額	目標	達成率	KPI		担当課
									評価	
81	〈再掲〉 ふるさと奨 学資金貸与 事業(名称 変更:ふる さと人材育 成奨学金支 援助成金事 業) 【Ⅰ:④雇用 の推進にも 記載あり】	【ふるさと人材育成奨学金支援助成金】 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定 を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還 額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設 業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育 士、幼稚園教諭、農業、林業、漁業、農林水産 業協同組合 ○助成内容 ・無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還 総額の1/6 ・有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還 総額の1/8 ・助成期間:原則として県内の対象業種に就職 してから8年間 ◆45千円×2人=90千円(助成中) ◆60千円×5人=300千円(新規)	390	新たに1名交付決定した。 町HPIに制度の概要を掲載するとともに、 県のHP上においても周知してもらった。 今後県とよく連携を図りながら取り組 んでいきたい。 現在、2名に助成中。	82	申請者(新規) 5人	20%	【評価:D 計画より遅れた】 新規の申請者はあったが、計 画に比べて申請件数が少な い。 引き続き、県と連携しながら 県の制度周知と併せて町の 制度の周知を行っていく。 新規申請者:実績1人/目標5 人=20%	教育総務課	
82	〈再掲〉 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進① 【Ⅱ:②地域 福祉の推進 にも記載あ り】	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進) 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に 基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の 方々が、充実した生活と安心して暮らせる「湯梨 浜町版生涯活躍のまち」の実現に向けて、「湯 梨浜まちづくり株式会社」等、官民が連携し一体 となり推進していく。 ◆生涯活躍のまちPR業務(情報発信)6,435千 円(旅費72千円、役務費1,155千円、委託料 5,208千円) 令和3年度は、都市圏(東京、大阪)でのセミ ナー、オンラインセミナー、現地ツアーを実施す る。	6,435	レークサイド・ヴィレッジゆりはまの一般 分譲地全67区画中59区画が販売済で 建設・入居が進行中。福祉ゾーン3施設 のうち2施設が供用開始済で1施設の事 業者が決定。その他福祉施設2施設も 供用開始済。 ■8月28日大阪日日新聞で、生涯活躍 のまちの取組、レークサイド・ヴィレッジ ゆりはまの概要を掲載してPRした。 ■1月～2月都市部の人を対象に3回セ ミナーを開催し、延べ82人が参加。 ■3月、インターネット広告によりPR。	4,942	〈推進交付金〉 ①県外からの 移住者:185人 (R3)、925人 (R6) ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数:1団体 (R3)、35団体 (R6)	87%	【評価:D 計画より遅れた】 ①4月～3月:136人。136人 /185人=74% ②1団体。1団体/1団体= 100% (74%+100%)/2=87%	みらい創造室	

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			予算額	決算額	目標	達成率
83 〈再掲〉全世代・全生涯活躍型「生涯活躍のまち」事業の推進②【Ⅱ：②地域福祉の推進にも記載あり】	・地域おこし協力隊事業（生涯活躍のまち） 地域おこし協力隊3名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業の運営などの中核を担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動（3名） 11,186千円	総合相談センター（どこれみ）を拠点として、生涯活躍のまちに関する空き家利活用と情報発信を行っている。 ■空き家の利活用（2人） 毎月どこれみでの空き家相談会を実施している。相談会で相談を受けた結果、2件の空き家情報バンクへの申請を行った。 ■情報発信（1人） 地域おこし協力隊Facebook「ゆりはまフェローズ」で町の情報発信を行い、フェローが83人増加した。（4月22日時点、462人⇒545人）	11,186	9,112	〈推進交付金〉 ①県外からの移住者：185人（R3）、925人（R6） ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：1団体（R3）、35団体（R6）	87%
					【評価：D 計画より遅れた】 ①4月～3月：136人。136人/185人＝74% ②1団体。1団体/1団体＝100% (74%+100%)/2＝87%	みらい創造室
84 全世代・全生涯活躍のまち「事業の推進⑥	生涯活躍のまちに活かされる多世代交流拠点としての町営住宅建替えについて、民間事業者の選定及び事業契約の締結。 ●町営住宅建設事業（PFI）に係るPFIアドバイザリー業務（10,983千円） ●町営住宅建替事業着手。事業期間は令和7年3月24日まで。令和3年度は設計業務（19,215千円）、基盤整備（道路・上下水）（35,574千円）	■PFIアドバイザリー業務について、令和2年度から継続して実施中。業務開始後に実施方針等の公表を行い、3回の民間事業者選定委員会を経て9月に落札者を決定し公表を行った。 ■建替事業について、10月26日に契約締結し、翌27日に着手した。令和3年度は全体の基本設計及び全調査、新・長江団地（仮称）の一部実施設計を実施した。	66,362	65,871	〈推進交付金〉 ①県外からの移住者：185人（R3）、925人（R6） ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数：1団体（R3）、35団体（R6）	87%
					【評価：C 計画どおりに進んだ】 ①4月～3月：136人。136人/185人＝74% ②1団体。1団体/1団体＝100% (74%+100%)/2＝87%	町民課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

(単位:千円)

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			予算額	決算額	目標	達成率
85 地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊の活用が有効と思われる分野について、関係課の予算措置に基づき、隊員募集を企画課で行う。	6月から5区分6名の募集を開始。(2名は協力隊員の退任による) 8月に2区分3名の任用を決定したが、合格者のうち1名から辞退の申し出があり、任用は2名となった。合格者が決まらなかった区分について、随時募集を開始。12月に果樹生産振興担当1名が決定。また、1月にまちづくり推進担当(空き家・移住関係)1名が合格したが、自己都合により辞退となった。	0	0	協力隊の任用 4名から6名へ変更する	50%
86 地域のにぎわいを創出する事業への支援① コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業 (財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。 ◆通信運搬費 21千円 (交付決定後、補正予算で対応) ◆補助金3件 4,300千円 ①光吉区 1,200千円 ②長瀬中部区会 1,900千円 ③長江自治区会 1,200千円 ※6月補正予算計上	◆交付決定済 4件 5,700千円 ①光吉区 1,200千円 ②長瀬中部区会 1,900千円 ③長江自治区会 1,200千円 ④旭区 1,400千円	4,300	5,700	(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。	100%
87 地域のにぎわいを創出する事業への支援② まちづくり創造事業・ステップ事業	まちづくり創造事業・ステップ事業 自主的・継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 ◆交付補助金 700千円 1件200千円×3団体(創造事業) 1件100千円×1団体(ステップ事業) ◆役務費 2千円 ※県費:市町村交付金(1/2)	◆交付決定済 2件 300千円 創造事業(みんなの食堂ゆるりん) 1件 200千円 ステップ事業(鬼嫁の里プロジェクト) 1件 100千円	702	300	まちづくりを創造する団体の育成 創造事業 新規 1団体	0%

【評価: D 計画より遅れた】
任用決定は5名であったが、任用に至った件数は3件であった。

【評価: A 達成済、事業完了】
令和3年度採択自治区に対し交付決定手続きを行い、次年度の募集案内手続きを実施した。

【評価: D 計画より遅れた】
令和3年度中に新たな団体の申請はなかったが、翌年度申請予定の団体からの協議書の提出があった。

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績			KPI			担当課
		予算額	実績	決算額	目標	達成率	評価	
88 地域のにぎわいを創出する事業への支援③ 集落づくり総合交付金事業	集落づくり総合交付金事業 町内各集落の運営費や防災活動、その他福祉活動等自主的な集落づくり活動などに対して交付金を助成する。 ◆集落運営交付金 ◆自主防災組織運営交付金 ◆防犯灯維持管理交付金 ◆防犯灯設置等交付金 ◆集落活性化交付金 ◆補助金 計 37,255千円 ◆通信運搬費 63千円	37,318	◆集落運営交付金(全区) 5/10支払 ◆防犯灯維持管理交付金(73区)5/10支払 ◆区長等事務費交付金(全区)10/11支払 ◆集落活性化事業交付金(随時) ◆自主防災組織運営交付金(随時) ◆防犯灯設置等交付金(随時) ◆補助金 31,138千円 ◆通信運搬費 54千円	31,192	集落づくり総合交付金:75地区	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 集落活性化交付金については、新型コロナウイルスの影響で事業規模の縮小又事業実施を断念した区が散見された。	企画課
89 地域のにぎわいを創出する事業への支援④ 地域のにぎわい創出事業	町内に旧地区公民館単位を基準とした地域を設定し、その地域が実施する「運動会」、「祭り」などの経費を補助する。 12地域(羽合:7地域、東郷:4地域、泊:1地域) 【補助率・補助金限度額】 補助率:10/10 限度額:地域均等分90,000円+地域の人口×150円 ◆補助金 3,570千円 ◆役務費 6千円	3,600	12地域すべてから申請を受け交付決定を行ったが、うち2地域については事業を中止、残り10地域についても事業縮小となった。 ◆補助金 1,185千円 ◆役務費 0円	1,185	地域にぎわい創出補助金:12地域	84%	【評価:D 計画より遅れた】 新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの地域が事業縮小となった。また2地域については実施自体を中止された。	企画課
90 地域のにぎわいを創出する事業への支援⑤ ボランティア団体育成支援事業	ボランティア団体育成支援事業 ボランティア団体の育成を図り、住民参加型の地域活動を促進し、協働のまちづくりを推進する団体を支援する。 ◆補助金 17団体 553千円 ◆消耗品費 5千円 ◆通信運搬費 5千円	563	交付済 11件 うち新規交付団体 0件 ◆補助金 297千円 ◆消耗品費 3千円 ◆通信運搬費 0千円	300	NPO法人、ボランティアグループの数:2団体増 ※助成金を交付した団体	0%	【評価:D 計画より遅れた】 町報で新規団体の募集案内や登録団体の活動紹介は行っているものの、新規団体の登録はなし。	企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績	決算額	目標	KPI		担当課
						達成率	評価	
91 防災対策特別強化事業	湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。15件以上の各種団体・集落における研修を実施する。また、自主防災組織を1地区以上設立する。 ◆報酬 2,116千円 ◆期末手当 450千円 ◆社会保険料 411千円 ◆旅費 10千円 ◆費用弁償 51千円 ◆消耗品 80千円 ◆通信運搬費 10千円	3,128	◆全体 13回 ■研修12回 4月 赤池区 6月 橋津区 9月 羽合小学校4年生 10月 宇野区 門田区 11月 社会福祉協議会(つわぶき荘) 中央公民館 東郷デイサービス なりすな会館 原区 12月 羽合赤十字 3月 あすま園 ■自主防災組織設立に係る説明会 6月 レークサイドビレッジPT会議	3,076	15件以上の各種団体・集落における研修を実施。また自主防災組織を1地区以上設立する。	87%	【評価:D 計画より遅れた】 コロナ禍の影響により、6件のキャンセルがあり、年間で12件の開催実績にとどまった。回数は目標に達しなかったが、集落以外に社会福祉施設等で開催できたことは評価できる。 自主防災組織について、未設置集落に検討を持ち掛けるが、高齢化等の理由により、困難な現状である。新たに生まれるレークサイドビレッジへ働きかけ実績につなげなければならぬ。	総務課
92 小地域拠点集会所等バリアフリー事業	高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるように拠点である地域集会所等のバリアフリー改修に対し助成を行う。上限1,000千円。2/3助成。 ◆補助金 2,000千円 より多くの地区にバリアフリー改修を実施していただくため、各区長に事業内容等についてお知らせし、改修の必要性を検討いただき、実施を呼びかける。	2,000	■改修実施 5地区 ・上橋津区 トイレ改修 ・橋津区 玄関スロープ設置 ・田後(南部・北部)区 トイレ改修 ・上浅津区 玄関スロープ トイレ改修 ・光吉 トイレ改修	1,691	バリアフリー改修5地区	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 5地区がバリアフリー改修実施済みであり、それぞれに助成を実施した。今年度の目標5地区は達成したが、引き続きバリアフリー改修の実施について呼びかけていきたい。	総合福祉課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績	KPI			担当課
			予算額	決算額	達成率	評価
93 買い物難民対策事業	高齢者支援のための地域支え合いの手引きの情報更新し、買い物等不便者の解消を図る。 町社会福祉協議会が実施している「のりあいバス運行事業(週1回運行)」の経費助成を行い、高齢者等の移動手段の確保を図るとともに、より活用しやすいのりあいバス運行事業について検討を進める。また、令和3年度から対象者を拡大した高齢者へのタクシー料金助成事業について周知を行い、運転免許を持っていない高齢者の移動手段の確保を図る。 また、高齢者等の移動手段の拡充について検討を進めたい地域や地域貢献活動を行う民間事業者との協議を進め、のりあいバス事業・高齢者タクシー料金助成事業以外の移動手段について協議を進める。 ◆乗り合いバス運行事業に対する補助金 補助金 282千円(当初予算) ◆高齢者タクシー料金助成事業 消耗品費 77千円 扶助費 4,800千円	◆高齢者支援のための地域支え合いの手引きの情報更新した。(7月)窓口設置、相談者、ケアマネジャーへ配布。 ◆乗り合いバス運行事業 (毎週金曜日) 登録者:50人(3名増) 利用者:40名 ※泊→羽合行 1便 (マイクロ 定員21人)平均 11人/回 ※東郷→羽合行 2便 (ミューター定員13人) 1便目:平均 7人/回 2便目:平均 5人/回 ◆乗り合いバス運行事業に対する補助金 補助金 245千円 ◆高齢者タクシー料金助成事業 事業費 760千円 申請者:185名	1,005	社会資源の把握、啓発を行い、適切な支援につなげる。 また「のりあいバス事業」の利用者を45人以上とし、運行に係る経費の助成を行う	88%	【評価:C 計画どおりに進んだ】 地域支え合いの手引きの更新を行い情報の把握ができた。 乗り合いバスに関しては登録者が50名となっており今後の利用につながるが見込まれる。 高齢者タクシー料金助成事業については、R3年度より対象者を拡大したことで利用者の増加につながった。 達成率:40/45=88%
94 小さな拠点事業の推進	泊地域において、住む人・場所、買い物、地域コミュニティ、行政などの各機能と各集落をつなげ、地域の再生を目指す取り組みを行う。 地域住民が主体的に買い物支援や地域コミュニティ等の生活サービスを持続・確保する等、地域課題を解決するための仕組みづくりを支援する。	地域住民が主体となった買い物支援や地域コミュニティ等に取組むNPO法人の設立にむけ取り組んでいる。 ■5月7日発起人会 ■6月20日設立総会 ■9月30日NPO法人認可の申請を県に提出 ■10月28日設立認証 ■3月20日とまりの食堂(こども食堂)試験的实施		小さな拠点づくりにおける地域活動団体の設立	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 県に設立を認証されるとともに、活動を開始した。
95 ICT推進事業①	行政インフラシステムを活用を奨励し、県内自治体間における業務効率化を促進する。 ◆負担金 62千円	新規のスペース立ち上げの実績はない。		県等によるスペース(ワーキンググループ)の立ち上げ件数:80件	0%	【評価:D 計画より遅れた】 横断的な協議に必要と思われるワーキンググループはすでにあり、自治体の協議の場が必要な大型事業がないため難しい状況。

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績		KPI		担当課
		予算額	決算額	目標	達成率	評価
96 ICT推進事業 ②	鳥取県と県内市町村(一部除く)が、共同で運用している電子申請システムの利用促進と、情報通信技術に関する業務対応が可能な職員育成に努める。	270	電子申請操作研修(8月27日・9月15日)参加部署5部署・参加人数8名。各課に登録可能な電子申請手続について照会を行い、電子申請可能な手続は、今年度8手続増加(様式ダウンロード含む)して、13手続となったが、目標とした20手続の追加には至らなかった。	5部署以上の職員の研修参加・電子申請取扱い手続20以上の追加	70%	【評価:D 計画より遅れた】 操作研修については、計画どおり実施。電子申請での受付については、今年度8手続増加して13手続となったが、目標としていた20手続の増加には至らなかった。令和4年度において、引き続き電子申請手続の整備を図っていく。
97 東京大学 フィールドスタ ディ型政策協 働プログラム	東京大学の学生が自治体の社会的課題解決のため、①事前調査②地域に滞在して現状を体験・把握③課題解決提案に向けた調査④地域及び大学で提案を行う。学生を受け入れることで、湯梨浜町の関係人口の創出を図る。	0	申込を行ったが不採択となり、R3におけるフィールドスタディは実施できなかったが、過去のフィールドスタディ参加学生との情報交換を継続しており、3人が町主催のオンラインツアーに参加した。	交流した学生にゆりはまフェローになってもらう:4人	0%	【評価:D 計画より遅れた】 フィールドスタディは実施できなくとも、過去に参加した学生と交流を深めることにより、町の魅力を発信することができた。
98 ふるさと納税 推進事業	ふるさと納税の寄附受け入れ、町特産品(返礼品)送付、定期的な情報提供・町のPRを通じて、寄附リピーターと関係人口の増加を図る。	224,361	寄付者へのメルマガ送付20回 最新お知らせ情報96回 パンフレット送付(春・秋)13,000部 寄付者数8,321人 寄付金額142,419千円 寄付者への定期的なメルマガ送信、パンフレット送付により、返礼品の情報を提供し、リピーターとなってもらうよう働きかけを行った。	メルマガ等による情報提供 24回以上 寄付者数 毎年 10,000人以上 (R2 9,126人 R1 16,740人 H30 8,606人 H29 7,059人)	83%	【評価:D 計画より遅れた】 寄付者への情報提供は計画どおり実施したが、一部返礼品で寄付単価を引き上げたことにより、寄付金額は前年度比103%となった反面、寄付件数は前年度比91%に落ち込んだ。今後、継続的な力タログ、メルマガ等の送付により、リピーターを確保し、関係人口と安定的な寄付件数確保を図っていく。

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績			KPI		担当課
		予算額	実績	決算額	目標	達成率	
99 企業版ふるさと納税推進事業	都市部などの企業に総合戦略に係る事業をPRし、事業に対して寄附を募る。本町の取り組みに関心を持っていただくことにより、将来的に人材の交流などに結びつけるなど、企業との連携の深化を図る。 ・通信運搬費59千円 ・積立金101千円	160	9月に町ホームページに寄附募集掲載。10月、11月に内閣府主催の企業とのマッチング会に参加。 県外に本社のある法人約600社に寄附依頼文書を送付。	108	寄附を1社以上受領する。	500%	みらい創造室
100 ゆりはまフェローを核とした関係人口推進事業	【地方創生推進交付金】 地域おこし協力隊によるFacebookのフォローや、イベント等参加者及びふるさと納税者のうち県外者を「湯梨浜フェロー」と位置付け、町の広告塔としての役割を担っていただくほか、体験ボランティアとして来町していただくことにより、町の関係を維持し、将来的な移住定住に結びつける。※全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」事業の推進と連携実施 《R3予算額》ゆるりん館指定管理委託料7,490千円、ゆるりん館賃借料449千円 《R3.9月補正》サマースクールをオンラインツアーに変更。委託料1,023千円	8,962	関係人口の創出のため、関連イベントで生涯活躍のまちのPRを行った。 ■7月17日オンラインイベント「まちづくりサミット」125人参加 ■8月5日オンラインイベント「ゆりはまカレンダー①」19人参加 ■8月19日オンラインイベント「ゆりはまカレンダー②」16人参加 ■2月22日オンライン他市町合同イベント 82人参加 ■3月オンラインツアー 12人参加	8,939	新たにゆりはまフェローに認定された人数:100人	83%	みらい創造室
101 デジタル活用推進事業	地域おこし協力隊による高齢者等情報弱者等向けのスマートフォン等の講習会や個人相談会等を開催し、デジタル機器の活用推進を図る。 《R3予算額》4,465千円(報酬1,992千円、期末手当424千円、共済費385千円、活動費1,664千円)	4,465	11/11正式採用、12月から個別相談会・講習会を実施。 ・個別相談 85回 ・訪問相談 2回 ・講習会 1回 合計88回	1,441	講習会又は相談会の開催:12回 実績:88回	100%	企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

資料5

事業名	計画	実績 (●月現在)	KPI			担当課
			予算額	執行済	達成率	評価
1 湯梨浜町 総合戦略 策定事業	湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業を着実に実施していくとともに、成果検証を行い改善を図っていく。 ◆総合戦略会議、成果検証会議委員報償金 44千円 ◆戦略会議2回開催予定 44千円 ◆報告会、説明会、研修会への参加旅費 216千円 ◆郵券料 13千円 令和元年度に策定した第2期総合戦略に関する事業の着実な実施のため、成果検証のための会議を開催していく。	273			総合戦略会議、成果検証会議を各1回以上開催する	みらい創造室
2 農産物販 路拡大及び ブランド化 推進事業	二十世紀梨販路拡大PR事業 コロナ禍および新型コロナウイルス感染症拡大の終息を見据えて進物用パンフレットの内容などを再検討し、JA東郷果実部で県のお土産事業を活用して作成していく。販路拡大、単価増額については、リモート形式を活用した販売PRを行い、増収につなげる。 【販売PRイベント】 観光大使活動謝金 12,000円 旅費 45,000円 PR用梨 10,000円	67			露地二十世紀梨の販売額前年産比1%増 (R3販売額 668,877千円)	産業振興課
3 鳥取梨等 生産振興 事業(農業 生産現場 強化事業) ①	鳥取柿ぶどう生産振興事業 鳥取県が新規栽培を推奨している新品種(輝太郎、シャインマスカット)への新植、それに伴う園地の整備(ハウス新設、果樹棚、園内道、かん水施設等)、育成管理を支援する。 醸造用ぶどう新植300千円(10a)×1/2=150千円 育成促進対策(新植等)94千円(10a)	244			柿、ぶどう等の新植面積の10a増	産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (●月現在)	KPI				担当課
			予算額	執行済	達成率	評価	
4 鳥取梨等 生産振興 事業(農業 生産現場 強化事業) ②	・鳥取梨生産振興事業(地方創生) 県が推奨する新品種(新甘泉、王秋など)を中心に栽培に必要な資材(苗木、土壌改良剤等)、施設(果樹棚、かん水施設、園内道、スปีードスプレーヤーなど)の整備を支援。新品種の植栽を伴う場合は2/3(県1/2+町1/6)、既存品種(ジョイント栽培)が中心の場合は1/2(県1/3+町1/6)。補助対象者は町内で梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合。 新甘泉等特別対策8,452千円、ジョイント栽培拡大事業804千円、低コスト・体制強化事業2,988千円		12,244		新品種の新 改植0.5ha		産業振興課
5 湯梨浜版 担い手認定	○湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業 【対象者】①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就農者、④準認定新規就農者、⑤集落営農組織 【支援内容、補助率等、対象者】 ○就農奨励金:就農3年以内の対象者に定額30万円(予算額300千円)、④ ○新規就農者住宅家賃補助:町外から転入する就農者に家賃上限2万円を補助(予算額240千円)、③・④ ○中古機械導入補助:中古機械導入費の1/3(上限10～50万円)を補助(予算額1,500千円)、①・②・③・④・⑤ ○農業機械修理補助:農業機械・施設の修繕費の一部を補助(5～30万円)(予算額1,241千円)、①・②・③・④・⑤		3,281		新たな認定農 業者数 2名		産業振興課
6 中核的担い 手農家育成 奨励金 交付事業 (農業生産 現場強化 事業)	【事業内容】 認定農業者あるいは新規就農者が町内の農地を3年以上借り受けた場合、奨励金を交付する。本町の農地を守るため、27年度から町外の認定農業者が借り受けた場合も対象としている。 町内者:2,000円/10a×年 町外者:1,000円/10a×年 予算額 R4.1月～12月契約見込み分 1,038千円		1,038		権利設定面 積21ha		産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

	事業名	計画	予算額	実績 (●月現在)	執行済	KPI			担当課
						達成率	目標	評価	
7	農林水産物等販売促進事業	町内の農林水産物の商標権、意匠権等の取得や宣伝資材作成を支援する。 販売促進のための新規パッケージ作成を支援 予算:50千円 (1/2補助・上限80千円) 販売促進にかかるチラシ、パンフレット作成費 予算:100千円 (1/3補助・上限300千円) ブランド化を図るための商標権、意匠権等の取得を支援100千円(1/2補助・上限あり)	250				1件以上の宣伝資材作成を支援する		産業振興課
8	東郷湖漁業振興事業	○東郷湖漁協漁業振興費補助金 【事業内容】漁協が実施する覆砂事業費を補助し、東郷池の水質浄化及びシジミの増殖を図る。 ◆補助金 267千円 ○内水面漁場環境保全事業補助金 【事業内容】東郷湖の浮遊ゴミ等の処理費を補助し、漁場環境を保全する。 ◆補助金 267千円	534				シジミ漁獲量 120t		産業振興課
9	沿岸漁業活性化推進事業	町内の漁業者の漁業経営改善を図るために、燃料高騰対策として輸送量コスト支援を行う。 ◆輸送コスト支援補助金 30,000箱×100円×1/3＝ 1,000千円	1,000				新規漁業就業者1名		産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (●月現在)	執行済	KPI			担当課
					目標	達成率	評価	
10 特産果物 生産振興 事業	町の特産品である、二十世紀梨、ぶどう、イチゴ、メロン、スイカ、ほうれん草、梅の生産を維持・拡大するため、県の補助事業とならない生産経費・修繕などについて、生産者を支援する。	1,968			設備導入支援農家数 20戸			産業振興課
11 森林環境 税関連事 業	事業予定 7,619,000円 管理不足による森林環境の悪化が懸念される中、森林経営管理事業や放置竹林対策事業を支援すると共に森林整備の推進を図る。 ◆森林経営管理事業関連 3,926千円 意向調査委託(宇谷地区:50ha)・管理権集積計画作成委託(小浜、筒地地区:45.02ha) ◆竹林対策事業関連 454千円 町放置竹林対策協議会1回・竹林管理講習会(ウラ止め・間伐) ◆森林整備事業関連 3,239千円 景観保全事業、美観地区形成事業など ※森林整備基金積立金 6,200千円 令和4年度森林経営管理事業推進面積50ha(宇谷地区)(R3意向調査回答面積(小浜・筒地地区) 45.02ha)	7,619			森林経営管理事業推進面積 50ha			産業振興課
12 ゆりはま農 作業体験ツ アー事業	就農希望者に本町での農作業体験ツアーを提供する。費用助成することに参加を促し、将来的な移住就農へとつなげる。 交通費助成(片道相当) 1/2補助 56千円 宿泊費助成(3泊4日・お試し住宅) 37千円 着地型観光体験 4千円 ※いずれも4人を想定	97			参加者数 4人			産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

	事業名	計画	実績 (●月現在)	執行済 額	KPI			担当課
					予算額	目標	達成率	
13	グラウンド・ゴルフ 国際化及び潮風の丘聖地化の推進①	事業計画なし 【削除】	0					産業振興課
14	グラウンド・ゴルフ 国際化及び潮風の丘聖地化の推進②	事業計画なし 【削除】	0					産業振興課
15	グラウンド・ゴルフ 国際化及び潮風の丘聖地化の推進③	グラウンド・ゴルフの国際化のため、海外普及活動・WMG2021関西のPR・国際組織の運営協力や、用具海外販売を促進する。 ◆ルール普及1,977千円 マレーシア、スペイン ◆用具提供・販売3,388千円 全国から中古のクラブを収集するなどして、未普及国を中心に用具を贈呈するとともに、湯梨浜まちづくり㈱による用具販売を促進する。 ◆国際組織運営協力108千円 町国際大会時に国際グラウンド・ゴルフ連盟と連携して、参加国代表者会議等を開催する。	5,473			①海外からのイベント参加者数240人 ②海外からのイベント新規参加国数2カ国		みらい創造室

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (●月現在)	執行済 額	目標	KPI		担当課
					達成率	評価	
16 ウオーキンググ リゾート構想の推進 及びインバウンド の促進①	ウオーキングリゾートとしてインバウンド化を目指す ため、済州オルレとの「友情の道」協定を活用した 相互PRIにより、国内外の交流人口の増加と地域活 性化を目指す。 《ウオーキングリゾート推進事業》 ◆特別旅費 477千円 ◆消耗品費 20千円 ◆通信運搬費 9千円 ◆筆跡翻訳料 52千円 ◆委託料 865千円 ◆使用料及び賃借料 1千円 ◆負担金 6千円 計 1,430千円		1,430	①海外からのイ ベント参加者数 240人 ②海外からのイ ベント新規参加 国数 2カ国			健康推進課
17 アロハカーニバル 事業【I:③商工 業の振興にも掲 載あり】	事業計画なし 【削 除】		0				産業振興課
18 天女のふる里づく り事業①	①東郷湖・未来創造会議事業 「天女のふる里づくり」事業の一層の伸展に向け、 住民と連携した緑化の取組を推進する。 ◆地域おこし協力隊員報酬等 2,374千円 ◆社会保険料 396千円 ◆委員報酬 65千円 ◆委員報償費等 50千円 ◆委員旅費 70千円 ◆消耗品 10千円 ◆通信運搬費 13千円 ◆交付金 1,600千円 ②花と緑のまちづくり支援事業補助金の交付 ◆補助金 200.千円		4,778	補助金の利用:2 件			企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (●月現在)	執行済 額	KPI			担当課
					目標	達成率	評価	
19 天女のふる里づくり事業②	①-1 天女を活用したまちづくりの一端として関係自治体へのイベント参加交流を実施 ①-2 子どもたちへの羽衣天女伝説の認知度向上を目的にパンフレットを配付 ◆イベント参加旅費 46千円 ◆消耗品 28千円 ◆通信運搬費 5千円 ◆モニタメント保険料 4千円 ◆高速道路使用料等 13千円	96			①イベント参加：1回			企画課
20 天女のふる里づくり事業③	・宇宙桜植樹交流事業 宇宙を旅した桜の種から生育した苗木の植樹をH29年度に実施。宇宙の桜＝「天女桜」として育て、観光振興に活用していく。これをシンボルとして、緑化推進の機運醸成にもつなげる。(植樹3年目) ◆旅費 141千円 ◆消耗品 50千円 ◆委託料 122千円	313			宇宙桜に関連した住民参加による取組：6回			企画課
21 天女のふる里づくり事業④	・天女のふる里東郷湖「花」基金積立金 天女を活用したまちづくりの推進策の一つである町内の緑化推進のため、東郷湖周への桜植樹などを行うこととしている。その財源に充てるため、ふるさと納税制度等を活用した寄付を募り、基金へ積み立てるもの。 ◆積立金 3,002千円	3,002			寄付金額を300万円とする。			企画課
22 天女のふる里づくり事業⑤	・町天女キャラクター活用推進事業 天女のまちイメージ創出に向け、天女キャラクター「ゆりりん」のデザインと着ぐるみの活用を進める。 ◆旅費、メンテナンス、通信運搬費、商標登録更新手数料等 468千円	468			デザイン活用30件 着ぐるみ活用30件			産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

	事業名	計画	予算額	実績 (●月現在)	執行済 額	KPI			担当課
						目標	達成率	評価	
23	観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)①	・鳥取県中部観光推進機構【会費】 鳥取県中部地域及び岡山県蒜山地域の連携を深め、観光資源の共有及び周遊環境の整備等による広域観光地の魅力向上のための事業を展開するためH27に一般社団法人化したDMO組織への会費。 ◆会費 531千円	531			湯梨浜町観光客数(令和4年) ①年間観光入込客数 650,000人以上(R3:612,604人) ②年間宿泊客数 70,000人以上(R3:60,584人) ③年間外国人宿泊客数 50人以上(R3:29人)			産業振興課
24	観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)②	【地方創生推進交付金】 新たな観光振興スタイル、時代に合致した情報提供方法(デジタル化)、感染対策を講じた観光商品(ワーケーション等)を中心とした事業を実施する。 広域観光連携推進事業負担金 30,000千円 デジタル化推進事業 アニメカルチャーコンテンツ育成事業 観光スキルアップサイト構築事業 情報発信事業 インバウンド誘客対策事業 ワーケーション整備計画策定事業 ◆湯梨浜町負担金 3,520千円	3,520			湯梨浜町観光客数(令和4年) ①年間観光入込客数 650,000人以上(R3:612,604人) ②年間宿泊客数 70,000人以上(R3:60,584人) ③年間外国人宿泊客数 50人以上(R3:29人)			産業振興課
25	教育旅行のメニュー開発事業	教育旅行商品の企画造成を行う。 ◆町観光協会補助金 10,481千円	10,481			2年後の修学旅行等の予約:20件			産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (●月現在)	執行済 額	KPI			担当課
				予算額	達成率	評価	
26 ワーケーション推進事業 (ゆうゆうゆりはま事業、観光関連施設公衆無線LAN整備支援事業含む)	【地方創生推進交付金・臨時交付金ほか】 町内宿泊施設等におけるワーケーションの活用について県内外へ積極的にPRを行い、新たな観光産業の定着を図る ◆ワーケーション推進事業 19,269千円 プランの造成・企画、県外企業とのマッチング、マスメディア発信、誘致冊子作成等 ◆ゆうゆうゆりはま事業 765千円 Webサイト更新及び告知ページ制作 ◆観光関連施設公衆無線LAN整備支援事業 300千円 町内観光施設等が行う公衆無線LANの整備補助			20,334		町内ワーケーション受入宿泊施設数:5施設	産業振興課
27 食と健康のまちづくり事業	県・町・(株)タニタヘルスリンクと進める「ゆりはま食と健康のまちづくり事業に関する協定」に基づき、町民の健康寿命の延伸及び店舗への誘客を図る。 ◆飲食店とタイアップしたタニタ監修メニューの提供 《食と健康のまちづくり事業》 ◆タニタヘルスリンク・リズム展開業務 □委託料 369千円 (監修メニューオリジナルグッズ業務) ◆監修メニュー利用促進施策 □報償金 200千円 □消耗品費 52千円 □印刷製本費 165千円 計 786千円			786		【目標】 監修メニュー提供数:850食 ※R3年度実績:795食	健康推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (●月現在)	執行済	KPI			(単位:千円)
				予算額	達成率	評価	
28 ゆりはまじ げ産業支援 事業	町内での創業、新事業進出や販路開拓に取り組む事業者に対して必要経費の一部を補助する。 ◆補助金 創業、新事業進出や販路開拓に取り組む事業者を支援する。 ○補助金 ・創業、新規事業展開支援 1,667千円 (事業費1,000千円×1/2×2事業者 ＋事業継承 事業費1,000千円×2/3×1事業者) ・販路開拓支援 2,333千円 (事業費400千円×1/2×9事業者 ＋事業継承 事業費400千円×2/3×2事業者)			4,000		制度活用事業者5件以上	産業振興課
29 チャレンジ ショップ支 援事業 【I:④雇 用の推進に も記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ※限度額は、月5万円で交付期間は1年間 ◆補助金 新規分1件600千円 継続分1件150千円			750		新規申請1件	産業振興課
30 〈再掲〉 アロハカー ニバル事業 【I:②観 光産業の 振興にも記 載あり】	事業計画なし 【削除】			0			産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

	事業名	計画	実績 (●月現在)	KPI			担当課
				予算額	執行済	目標 達成率	
31	ふるさと名物応援事業	町の地域資源を生かした商品や観光プランの開発を支援する。従来は東郷湖周ウオーキングを活用した商品開発を対象としていたが、制度を拡大し、町内の地域資源を活用する事業を対象とする。 ◆補助金 150千円×1事業者＝150千円	150	新規申請1件以上			産業振興課
32	環境創出プロジェクト事業	町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液体肥料や培養土として販売する。また、その他東郷支所などに液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより町民参画と食物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路を図り循環型社会を継続して推進する。 ◆対象事業費4,427千円(委託料4,276千円:生ごみ収集運搬、報償金10千円:生ごみ回収協力区への報償、消耗品費141千円:生ごみ収集に係る事務経費)	4,427	生ごみ回収協力区の拡大 R3末 10区 ⇒ R4末 12区以上			町民課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

(単位:千円)

事業名	計画	予算額	実績 (●月現在)		KPI		担当課
			執行済	目標	達成率	評価	
33 〈再掲〉 ふるさと奨 学資金貸与 事業(名称 変更:ふる さと人材育 成奨学金支 援助成金事 業) 【1:④雇用 の推進にも 記載あり】	【ふるさと人材育成奨学金支援助成金】 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に 定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタ ント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭、農業、林業、漁 業、農林水産業協同組合 ○助成内容 ・無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6 ・有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8 ・助成期間:原則として県内の対象業種に就職してから8年間 ◆助成中2人(82千円) ◆新規4人(240千円)	322		申請者(新規) 4人			教育総務課
34 〈再掲〉 チャレンジ ショップ支 援奨励金 【1:③商工 業の振興に も記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃 借料を補助する。 ※限度額は、月5万円で交付期間は1年間 ◆補助金 新規分1件600千円 継続分1件150千円	750		新規申請1件			産業振興課
35 雇用促進奨 励金事業①	・雇用促進奨励金 町内の事業所が①シニア世代(55歳以上)②子育て女性(18歳以 下の子どもがいる女性)③就職氷河期世代(昭和49年度から昭和 58年度生まれ)の者 6か月以上継続雇用した事業所に奨励金を交付する。 ◆補助金 4人分の制度利用を見込む。 20万円×4人=80万円	800		新規雇用者4 人			産業振興課
36 就職関連情 報提供事業	県内就職を支援するため、県外の大学生などに就職関連情報を 提供する。	0		情報提供1件 以上			産業振興課
37 企業誘致用 地等情報提 供事業	町内の企業誘致可能な土地や空き工場の情報を集約し、町ホー ムページなどを活用して情報提供を行う。	0		情報提供1件 以上			産業振興課

事業名	計画	実績 (●月現在)	執行済	KPI		担当課
				達成率	評価	
38 ビジネス人材移住支援事業	東京圏から町内に移住した者が、鳥取県が実施するマッチングサイトに掲載された求人に就業し、3か月以上勤務している場合又は鳥取県が実施する起業支援金の交付決定を受けた場合に移住支援金を交付する。 世帯で移住した場合1,000千円、単身で移住した場合500千円 ◆補助金 1,000千円×1世帯＝1,000千円	1,000		目標 1世帯(2人)移住		企画課
39 中学校跡地施設活用事業	旧北浜・旧東郷中学校等跡地施設の有効利用を図るため、民間提案制度の活用等により、利用事業者を決定する。 《R4当初予算額》2,321千円(報酬29千円、旅費138千円、需用費49千円、役務費5千円、委託料2100千円) ※4月補正 報酬 144千円増額(予算現額 173千円) 旅費 200千円増額(予算現額 338千円) 事業全体 予算現額 2,665千円	2,665		旧北浜中エリア及び旧東郷中エリアの利用事業者を決定する。		企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

(単位:千円)

事業名	計画	実績 (●月現在)	執行済	KPI		担当課
				達成率	評価	
40 家庭子育て支援事業	低年齢児(満2歳未満児)の家庭子育ての支援 生後8週を超え満2歳に満たない乳幼児を、昼間家庭で子育てをする父母又は祖父母に対し給付金を支給。 育児休業給付金(手当)を受けている期間を除く。 乳幼児1人につき1月30,000円。 ◆5,414千円/3カ月×4回≒21,659千円 通信運搬費33千円	21,692			年度末時点で2歳未満児の家庭での子育て率を68.8%以上とする。	子育て支援課
41 多子世帯保育料軽減事業	令和4年度無償化、軽減 【国】年収360万円未満の世帯。同時入所問わず 第3子以降児無償、第2子半額 【県】年収360万円未満の世帯。第1子と同時入所の第2子、無償。年収360万円以上の世帯。 同時入所問わず第3子以降児無償 【町】年収360万円以上世帯。同時入所問わず 第2子軽減	0			第3子以降児の出産件数を令和4年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)	子育て支援課
42 第3子以降中学校卒業祝い金支給事業 (第3子以降出産・入学・卒業祝い金支給事業)	多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の軽減のため、出産・入学祝い金支給事業を拡大し、進学や就職準備時である中学校卒業時に祝い金支給を行う。 (H28年度から卒業祝い金支給実施) ◆見込み 3,090千円 出産時 50,000円 × 33名 = 1,650千円 小学校入学時 30,000円 × 25名 = 750千円 中学校卒業時 30,000円 × 23名 = 690千円 通信運搬費 7千円	3,097			第3子以降児の出産件数を令和4年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)	子育て支援課
43 子育て世代包括支援センターの整備①	・子育て世代包括支援センター事業 相談支援のワンストップ拠点となる子育て世代包括支援センターを設置し妊娠、出産から就学前までの切れ目の支援をめざす。 ・コーディネーターを配置し、必要な支援やサービスが受けられるよう情報提供、関係機関調整などを行う。 妊婦期、出産時から就園までの時期、就園時から就学までのそれぞれの時期に対象者全員への子育てプラン提供、支援の必要な方への子育て応援プランの提供等を行う。 ◆消耗品費、通信運搬費 67千円	67			○子育てプラン配布:妊娠届者全員、乳幼児健診受診者:全員 ○子育て応援プラン作成:妊娠届時必要と判断した人全員(45人程度) ○町内関係機関(要対協事務局・子育て支援センター)との情報共有の回 会:年6回 ○産科医療機関との会:1回	子育て支援課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (●月現在)	執行済	KPI		担当課
					達成率	評価	
44 子育て世代 包括支援セ ンターの整 備②	・産前産後サポート事業 妊産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等につ いて、保健師による相談支援を行い、家庭や地域での孤 立感の解消を図るため、主に自宅に訪問するなどし、個 別に相談に対応する。 パート保健師賃金 【アウトリーチ型】※新型コロナ対応による電話訪問も含 む 保健師が自宅に訪問し、個別に相談に対応する。 【デイサービス型】※新型コロナ対応で中止する場合あ り。 公共施設等で集団形式により、同じ悩み等を有する利用 者からの相談に対応する。 ◆職員賃金等 2,756千円、消耗品費 10千円、備品購入 費165千円	2,931			目標 アウトリーチ型:年 48件(延) デイサービス型: 赤ちやん広場:12 ハイハイ広場12プ レママ12回 計36 回		子育て支援課
45 子育て世代 包括支援セ ンターの整 備③	・産後ケア事業 強い育児不安や家族等から産後の支援が得られない母 子に対し、医療機関委託や助産師、保健師訪問、ヘル パー派遣等、宿泊、日中預かりなど様々な方法で、心身 のケアや育児サポートを行う。心身の負担軽減により産 後の未然防止も図る。 【宿泊型】 母子を産科医療機関に宿泊させ、休養の機会 を提供するとともに、心身のケアや育児サポートなどきめ 細かい支援を行う。 【デイサービス型】 日中所した者に対し、個別又は集 団で心身のケアや育児サポート等の支援を行う。 ・母子来所 ・乳児一時預かり 【訪問型】 産婦の状態を把握し、必用と思われる家庭に 助産師を派遣し、産婦の母体ケア及び乳児のケアを行 う。 【産前産後ヘルパー派遣事業】主に出産後間もない時期 に、家事支援が必要な家庭にヘルパー派遣を行う。 ◆助産師報酬 24千円、旅費12千円、委託料 213千円 (ヘルパー派遣・シヨートステイ・デイサービス等)	249			訪問型:5件 宿泊型:2件 デイサービス型:10 件 ヘルパー派遣事業 7回		子育て支援課
46 不妊治療費 助成事業	県の助成決定を受けた不妊治療を行う夫婦に対し、治療 の種類ごと、回数ごと、年度ごとに定める額を助成する。 【治療の種類】 ◆特定不妊治療費 見込み37件 3245千円 ◆人工授精費 見込み 4件 26千円 ◆不育症治療費 見込み 1件 50千円	3,321			利用件数 特定不妊治療37 件、人工授精4件、 不育症治療1件		子育て支援課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (●月現在)	執行済	KPI		担当課
					達成率	評価	
ファミリーサポートセンター事業の充実	子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援したい人(提供会員)が育児の相互援助活動を行う。 調整役としてアドバイザー1人配置に係る賃金。 事業PR、会員の確保。 預かり体験。 ◆職員賃金等 2,308千円 ◆講師謝金、消耗品、郵券料 31千円 ◆活動保険料 85千円	2,424			実利用者数の増。年間実利用者数を前年の1.5倍とする。(8人×1.5=12人)		子育て支援課
病児・病後児・夜間保育事業	◆病児保育:61人(R3実績) (定住自立圏構想での取組。事業受託者ババール園。実施場所県立厚生病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 639千円 ◆病後児保育:16人(R3実績) (定住自立圏構想での取組。事業受託者十字会。実施場所野島病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 803千円 (上記は引き続き定住自立圏で取り組む)	1,442			利用者数 病児保育 61件 病後児保育 16件		子育て支援課
SNS等による子育て支援情報の提供	妊娠出産子育て期全般にわたる必要な情報をリアルタイムに提供していく方法としてフェイスブック等を立ち上げる。 子育て支援アプリを導入し、妊娠期から子育て期における子育て情報提供をタイムリーに行える体制整備を行う。関係機関との連携会議を定期的に行い、情報連携を強化していく。 委託料 396千円	396			子育てアプリ等による情報発信。年間母子手帳交付数に対し、子育てアプリ登録者数を95%以上とする。		子育て支援課
放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進①	放課後児童クラブ5カ所で運営。 放課後子ども総合プランに基づき、3小学校においては、放課後子ども教室と一体的に実施する。コミュニティ施設で実施する児童クラブについても、教育委員会と連携を取りながらゆりまほ自主学習の広場事業と連携実施する。 ◆羽合第1:625千円、羽合第2:662千円、東郷第1:442千円、東郷第2:539千円、泊:434千円、放課後児童クラブ運営委託事業:54,860千円	57,562			利用希望に応じた利用となるよう、登録者数に対する利用者数の割合を、3月利用について100%とする。		子育て支援課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (●月現在)	執行済	KPI		担当課
				達成率	評価	
51 放課後児童 クラブ・ 放課後子ども教室の推 進② ゆりはま自 主学習の広 場事業(放課 後子ども教 室)	【放課後子ども教室推進事業】 町内3小学校の空き教室を使用し、年間30回程度の学習 支援活動を行う。 放課後に週1回(月3回程度を予定)と夏季休業期間中に 開催し、小学校低学年からの学習習慣の定着を目指す。 指導については、教員OBを含めた地域人材を活用す る。 ◆報償費:1,013千円 ◆消耗品:40千円 ◆通信運搬費:13千円 ◆保険料:70千円 計:1,136千円	1,136		目標 連絡協議会を開催 した上で各小学校 等で子ども教室を 実施し、学習習慣 の定着を図る。 ・参加児童数を50 名とする。(対象児 童の20%)		教育総務課
52 放課後児童 クラブ・放課 後子ども教 室の推進③	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活 動拠点(居場所)を確保し、地域の方々の協力を得て、子 どもたちに学習や様々な体験、交流活動等の取り組みを 実施し、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かで健 やかにはぐくまれる環境づくりを推進する。 R4年度も継続して羽合地域(長瀬、東田後、橋津)、東郷 地域(舎人、大介)の、計5教室で事業を実施予定。 ◆報償費(5教室分) 2,559千円、消耗品費 120千円	2,679		放課後や週末など における子どもた ちの安全・安心な 活動拠点(居場所) を確保する。 年間参加延児童数 2,000名以上とす る。		生涯学習・人権推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (●月現在)	執行済	KPI		担当課
					達成率	評価	
53 ゆりはま自主学習の広場事業 (ゆりはま地域未来塾)	【地域未来塾推進事業】 町内在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の放課後や土曜日の部活動終了後に、希望する中学1年生を対象に実施する。 基礎学力の定着と学習習慣の定着を目指すもので、オール湯梨浜体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の機会を提供する。 ※国の『学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金』を活用(補助率:国、県、市町各1/3) ◆報奨金:446千円 ◆消耗品:22千円 ◆郵送料:14千円 ◆保険料:40千円 計:522千円	522			目標 基礎学力と学習習慣の定着を図るため、運営委員会を開催し、中学校1年生を対象に地域未来塾を実施する。 ・参加生徒数を対象生徒数の約20%を目標とする。		教育総務課
54 学校支援ボランティア事業の推進	【地域による学校支援推進事業】 各小中学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに登録された学校支援ボランティア登録者へのボランティア保険加入手続きを行う。 また、自校だけでは要請することが難しいボランティア活動の内容に対しては、他校人材バンクへの登録者情報を必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。 ◆ボランティア保険料 105千円	105			各学校のニーズに沿った地域による学校支援を実施する。 ・小中学校で230名の登録を目標とする。(令和7年度までに250人の登録を目指す。)		教育総務課

事業名	計画	予算額	実績 (●月現在)	執行済	KPI		担当課
					達成率	評価	
55 ふるさと教育 の推進	【ふるさと教育推進事業】 総合的な学習の時間で行われている地域学習の取り組みを拡充するため、各小中学校独自の取り組みにおける地域人材の活用や消耗品等の支援を行う。 ・羽合小学校:体験学習(町探検、文化伝承、平和学習ほか)、交流学習(町内高齢者等との交流、町を元気にする活動ほか) 124千円 ・泊小学校:体験活動(水産教室、泊貝がら節伝承、ワカメ栽培、GG体験ほか)、食育(とまり食の恵ほか) 99千円 ・東郷小学校:体験学習(梨づくり、東郷池体験活動、GG体験、龍踊りほか)、環境教育(サケ飼育) 57千円 ・湯梨浜中学校:湯梨浜町調べ、職場体験、観光地PR動画制作ほか 120千円	400				各学校でふるさとに愛着を持つ児童生徒の育成をめざし、各種事業等実施する。 アンケート目標 92%以上。	教育総務課
56 小学校社会 科副読本作 成事業	【社会科副読本作成事業】 町に誇りと愛着を持ち、大人になっても湯梨浜町に住みたいという気運を子供の時から醸成していくため、また、社会科の学習時に町を勉強するため、小学3・4年生を対象に社会科の副読本を作成し、授業等で活用することによりふるさと教育の推進を図る。 改善点や教科書改訂の内容等を確認し、次年度の副読本に活かすため、編集委員会を年2回開催する。(出席者:小学校社会科教諭等) ◆報償金:2,400円×3名×2回=15千円 ◆印刷費:412千円	427				改善点や教科書改訂の内容等を確認し、次年度の副読本に活かすため、編集委員会を年2回開催する。	教育総務課
57 ワーク・ライフ バランス セミナー事業	生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深め、子育て等しやすい環境づくりを推進するため、町内中小企業、一般勤労者等を対象にワーク・ライフ・バランスセミナーを開催する。 ◆需用費 10千円 ◆委託料 200千円 ◆男女共同参画環境づくり奨励事業補助金 170千円	380				鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数:19社(前年比1社増)	企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

(単位:千円)

事業名	計画	実績 (●月現在)	執行済額	目標	達成率	KPI	評価	担当課
58 地域で取り 組む介護予 防活動推進 事業	①養成した100名の介護予防・健康づくりリー ダー(ゆりりんメイト)に地域で活躍してもらった ため、継続した働きかけや支援を行う。また、ゆり りんメイトを含む地域住民が担い手となり、新た に健康づくり・介護予防・フレイル予防等を目的 とした地域サロン活動に取り組む地域・団体等 を増やすため、短期集中サロンの実施や地域サ ロン活動に対する助成を行う。 ②導入した認知症診断プログラムやフレイル評 価・管理システムを活用して、高齢者等の状態 を判定し、町が実施する運動教室や介護予防教 室、筋力トレーニングや脳活トレーニング事業、 地域サロン等、個々の状態に合わせた事業を提 案するとともに、事業実施前後の個々の状態を 評価し個別の心身状況に応じた適切な事業等 を提案していく。 ◆脱フレイル大作戦 1,945千円 ◆脳活トレーニング事業 2,756千円 ◆筋力トレーニング事業 8,756千円 ◆ミニデイスーパービス事業 2,614千円	16,071	【目標】 ①新たに健康 づくり・介護予 防・フレイル予 防等を目的と した地域サロ ン活動に取り 組む地域・団 体を年間3団 体増やす。 ②導入したプ ログラムで 3,200人(フレ イル評価: 2,600人、物忘 れ相談プログ ラム:300人、運 動処方プログ ラム:300人) 以上の個別評 価を実施す る。				長寿福祉課	
59 歯・口の健 康づくり推 進事業	フツ化物洗口事業は、教育総務課に移管。協力 しながら、歯・口の健康づくりを推進する。 健康推進課としての関わりとしては、 ①「小学校におけるフツ化物洗口手引き」及び 「中学校におけるフツ化物洗口手引き」の見直し の確認を中部歯科医師会歯科衛生士及び学校 歯科医、県歯科担当者に依頼。修正後は、各小 中学校に配布する。 ②説明会の要望があれば、出向く。 ③フツ化物洗口の評価を行う。	0		①必要に応じ た手引きの見 直し(33.3%) ②必要に応じ た説明会の開 催(33.3%) ③フツ化物洗 口の評価 (33.3%)				健康推進課

事業名	計画	実績 (●月現在)	執行済額	KPI			担当課
				予算額	達成率	評価	
健康相談・健康教室等の実施①	温泉を活用したウォーキング教室の実施(龍鳳閣) □年間開催予定数 149回(月・水曜日の週2回、年78回分の補助) 《健康増進事業》 ◆報償金(講師謝金) 390千円	390			【目標】 教室参加人数を1,350人以上 ※R3年度参加者数1,228人×1.1≒1,350人		健康推進課
健康相談・健康教室等の実施②	《つみたて貯筋運動教室他》 町内の体育施設等を利用して運動教室を開催し、運動の習慣化や健康づくり、介護予防として取り組み。また、月1回運動教室と併せて、生活習慣病予防のための健康講座を開催し、町民の生活改善を促す。 《積立貯筋運動(健康づくり)事業》 年間開催予定数 189回 □ココカラ運動教室(火曜日) 42回 □つみたて貯筋運動東郷教室(水曜日) 50回 □つみたて貯金運動泊教室(木曜日) 47回 □つみたて貯金運動羽合教室(金曜日) 50回 ◆消耗品費 77千円 ◆通信運搬費 1千円 ◆委託料 2,805千円 ◆使用料及び賃借料 315千円 計 3,198千円	3,198			【目標】 教室参加延べ人数を2,270人以上 ※R3年度実績 参加人数 1,039人/99回 ≒1回あたり10.5人 ※R4年度目標 1回あたり12人×開催予定回数189回≒2,270人		健康推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (●月現在)	KPI				担当課
			予算額	執行済額	目標	達成率	
健康相談・健康教室等の実施③ 62	居住地区周辺でのウォーキング教室開催により、ウォーキングの習慣化を図り、町民の健康増進、健康意識の向上に努める。 ◆定例教室 3回 ◆自治会・事業所 3回 《ノルディックウォーキング教室事業》 ◆委託料 112千円	112			【目標】 運動効果の周知により、ノルディックウォーキング教室の参加者を90人とする。 ※R4年度目標 1回あたり15人×開催予定回数6回＝90人 R3実績：0人 R2実績：24人 R1実績：61人		健康推進課
SIBを活用した飛び地型自治体連携事業(食と健康のまちづくり事業)	【地方創生推進交付金】 タニタ健康プログラムの推進 □タニタ健康システムの運用 □タニタ健康プログラムの推進 《SIBを活用した飛び地型自治体連携事業》 ◆普通旅費 583千円 ◆消耗品費(ポイント景品) 2,541千円 ◆通信運搬費 437千円 ◆委託料 17,384千円 ◆使用料及び賃借料 5,962千円 (活動量計ID、サイト等 使用料) 計 26,907千円	26,907			【目標】 運動管理システム(活動量計等)を利用した「ゆりはまヘルシーくらぶ」の会員を770名とする(R4)。 ※最終1,400名とする(R6)。		健康推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (●月現在)	執行済額	KPI			担当課
					目標	達成率	評価	
64 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進① 【Ⅲ：①移住 定住の推進 にも記載あ り】	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進) 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に 基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の 方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨 浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨 浜まちづくり株式会社」等、官民が連携し一体 となり推進していく。令和4年度は、都市圏(東 京、大阪)でのセミナー、オンラインセミナー、現 地ツアーを実施する。 ◆生涯活躍のまちPR業務(情報発信)7,917千 円(旅費549千円、役務費1,037千円。委託料 6,331千円)	7,917	(●月現在)		①県外からの 移住者:185人 (R4)、925人 (R6) ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数:1団体 (R4)、35団体 (R6)			みらい創造室
65 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進② 【Ⅲ：①移住 定住の推進 にも記載あ り】	・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち) 地域おこし協力隊3名を任命し、「湯梨浜町版生 涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨 浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたる まちづくりに関連する事業の運営などの中核を 担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動(3名) 12,916千円	12,916	(●月現在)		①空き家対策 担当:4件/人 ②イベント担 当:2件/人・月			みらい創造室

事業名	計画	実績 (●月現在)	執行済額	目標	達成率	KPI		担当課
						予算額	評価	
町民総ス ポーツの推 進による一 人ひとりが 輝く生涯活 躍のまちづ くり	【地方創生推進交付金】 (1)健康なまちづくり事業調査委託料 9,726千円 (2)トレーニングルーム・トレーナー配置・育成(地域おこし協力隊)(交付金対象外) (3)中央公民館泊分館トレーニングルーム運営 トレーニングマシン教室(使い方教室) 144千円 " (働く世代 初級) 432千円 " (働く世代 上級) 432千円 " (女性向け) 432千円 " (高齢者向け) 1,868千円 トレーニングマシンプログラム使用料 669千円 (4)アンケート調査 600千円 (5)みんなの元気推進会議開催 180千円 (6)こども園児と中高生のスポーツ交流(子ども向け) 0千円 (7)小学1・2年生を対象にしたスポーツ体験(子ども向け) 0千円 (8)有名アスリートからの小・中学生向けのスポーツ指導(子ども向け) 1,000千円 (9)「ゆりはま スポーツの日」開催(全町民対象) 600千円 (10)新規スポーツ団体立ち上げ支援事業500千円 (11)みんなのげんき館看板作成 50千円 (12)トレーニングルーム施設・教室広報チラシ作成100千円			(推進交付金) ①成人の運動・スポーツ実施率(週1回以上)55% ②町民大会・スポーツ教室の参加者数807人 ③トレーニングルーム利用者数1,560人				生涯学習・人権推進課
	66	16,733						

	事業名	計画	実績 (●月現在)	予算額	執行済額	KPI			担当課
						達成率	目標	評価	
68	縁結び支縁員事業	晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「縁結び支縁員」の活動を支援することで人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。 ◆縁結び支縁員 情報交換会、研修会 出席報償金、旅費 81千円 ◆婚姻成立時報償金 30千円 ◆えんとりー入会登録補助金 50千円		161			縁結び支縁員事業等により婚姻した件数：年1件		企画課
69	婚活イベント事業(広域連携)	中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する人の出会いの機会を広域的に拡大するなど、少子化傾向の改善に取り組む。 ※中部定住自立圏事業で実施する。 ・広域連合負担金 200千円		200			広域連携による婚活イベント(独身男女の結婚に対する意識改革やスキルアップを目指す「セミナー」や異性の参加者全員と交流を図る「婚活イベント」の実施		企画課

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (●月現在)	執行済	KPI			担当課
					達成率	目標	評価	
70 IJUターン 促進事業	地域の将来を支える人材の呼び込みを図るため、都市圏での移住定住相談会に参加し、本町の魅力を積極的に発信する。また、移住コーディネーターを設置し移住相談窓口として各種支援制度の紹介や空き家、住宅情報の提供などを実施し、移住促進を図る。 旅費384千円、需用費25千円、役務費50千円、委託料3,500千円、使用料及び賃借料3千円	3,962				移住について具体的な相談に入っている者数:5件		みらい創造室
71 空き家情報 バンク活用 促進事業	①空き家情報バンクの運用により空き家所有者と利用希望者のマッチング、紹介を行う。 ◆通信運搬費 4千円	4				①空き家バンク物件成約数:1件		企画課
72 空き家対策 事業	①空き家改修事業補助金 町外からの移住定住希望者に空き家を提供する人に対し、空き家の改修費を最大500千円補助する。 上限:500千円(県外) 250千円(県内かつ町外) 補助率1/2 ②空き家利活用流通促進事業 町内空き家を活用する町内の個人(転入予定を含む)に対し、空き家の改修費を補助する。 上限 住宅:500千円(中山間地は600千円) 非住宅:900千円 補助率 1/2 《R4予算額》 補助金 2,000千円	2,000				移住希望者へ空き家提供:2件		企画課

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (●月現在)	KPI			担当課
			予算額	執行済	達成率	評価
73 移住定住者 住宅支援事業①	県外の人又は県外から町に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築・購入又は改修をする場合に補助する。 《R4予算額》 4,500千円 移住定住(土地開発公社)2,000千円×1件 移住定住2名以上1,000千円×1件 移住定住1名500千円×1件		4,000			企画課
74 移住定住者 住宅支援事業②	・移住定住者中古住宅修繕支援事業 中古住宅を購入し県外から町内に移住してきた者又は県外から町内に移住し中古住宅を購入した者で、移住から5年を経過していない者を対象に、購入した中古住宅の修繕費用の一部を補助する。 上限額:250千円 補助率:1/4 《R4予算額》 250千円×1件		250			企画課
75 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業	町内で移住定住希望者にボランティアで作業を行ってもらうことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。 ボランティア受入者に報償費を支払い、ボランティア従事者には宿泊費を負担する。 ◆ボランティア受入報償金 70千円 ◆ボランティア受入委託料(宿泊)42泊 301千円 ◆宿泊費補助 26千円 ◆通信運搬費 4千円		401			企画課
76 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業	どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入 500千円×42件=21,000千円 新築・購入(中山間地域かさ上げ分) 100千円×21件=2,100千円 新築・購入(土地開発公社)2件 2,000千円 合計 44件、25,100千円		25,300			企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (●月現在)	KPI				担当課
			予算額	執行済	目標	達成率	評価
77 結婚新生活 支援事業	夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得が400万円未満の新規に婚姻した世帯に対し、婚姻に伴う住宅取得費用に対して補助金を交付。 新築・購入 750千円×2件＝1,500千円	1,500			新婚夫婦の定住:2件		企画課
78 三世代同居 世帯等支援 事業	三世代家族の形成と子育ての支援を促進し、家族の絆の再生と定住促進を図る。 親と子と孫が新たに三世代で同居するための住宅の取得や増改築・リフォーム等の費用に対して助成を行う。 ① 中山間地域分 600千円×1件 ② ①以外 500千円×1件	1,100			新たな三世代家族の定住:2件		企画課
79 移住者運転 免許証取得 支援事業	■県外からの移住者が自動車運転免許証を取得した場合、取得費用の一部を助成する。 150千円×2人 300千円 ■県外からの移住者がパーパードライバー講習を受講した場合、受講料の一部を助成する。 10千円×1人 10千円	310			◆県外からの移住者の免許取得:2人 ◆県外からの移住者のパーパードライバー講習受講者:1人		企画課
80 住宅取得仲 介報酬助成 事業	中古住宅及び新築住宅用地(いずれも集合住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支払った仲介報酬を一部助成し、町内定住促進により町の活性化を図る。 130千円×7件 910千円	910			中古住宅及び新築住宅用地購入による、町内への定住:7件		企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (●月現在)	執行済	目標	達成率	KPI		担当課
						評価	評価	
81 お試し住宅 運営事業	【地方創生推進交付金】 古民家を活用したお試し住宅と、街なかに新設したお試し住宅を設置して、移住定住を検討している方に本町の暮らしを体験してもらうとともに、空き家の有効活用、関係人口や移住定住を検討者との地域住民の交流による地域活性化及び定住促進について、指定管理者である湯梨浜まちづくり㈱と連携しながら図る。令和4年度は、もりた屋の屋根及び外壁を修繕する。修繕料200千円、指定管理委託料6,040千円(どれみ含む)、工事請負費2,090千円	8,330		お試し住宅利用件数:42件				みらい創造室
82 (再掲) ふるさと奨学資金貸与事業(名称変更:ふるさと人材育成奨学資金支援事業) 【I:④雇用の推進にも記載あり】	【ふるさと人材育成奨学資金支援助成金】 鳥取県未来人材育成奨学資金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭、農業、林業、漁業、農林水産業協同組合 ○助成内容 ・無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6 ・有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8 ・助成期間:原則として県内の対象業種に就職してから8年間 ◆助成中2人(82千円) ◆新規4人(240千円)	322		申請者(新規)4人				教育総務課
83 (再掲) 全世代・全活躍型「生涯活躍のまち」事業の推進① 【II:②地域福祉の推進にも記載あり】	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進)28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる「湯梨浜町版生涯活躍のまち」の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」等、官民が連携し一体となり推進していく。令和3年度は、都市圏(東京、大阪)でのセミナー、オンラインセミナー、現地ツアーを実施する。 ◆生涯活躍のまちPR業務(情報発信)7,917千円(旅費549千円、役務費1,037千円。委託料6,331千円)	7,917		①県外からの移住者:185人(R4)、925人(R6) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(R4)、35団体(R6)				みらい創造室

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (●月現在)	執行済	KPI			担当課
					目標	達成率	評価	
84 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」の 推進①	・生涯活躍ポータル「カラフル」出展(地方創生 推進) 生涯活躍のまちに取組む全国5自治体(北海道 東川町、福島県伊達市、山梨県都留市、湯梨浜 町、南部町)が連携して東京に相談窓口を設置 して、移住定住へ向けた相談受け付けや、イベ ントを開催して生涯活躍のまちの情報発信を実 施する。				①県外からの 移住者:185 人(R4)、925 人(R6) ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数:1団体 (R4)、35団体 (R6)			みらい創造室
85 〈再掲〉 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進② 【Ⅱ:②地 域福祉の推 進にも記載 あり】	・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち) 地域おこし協力隊3名を任命し、「湯梨浜町版生 涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨 浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたる まちづくりに関連する事業の運営などの中核を 担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動(3名) 12,916千円	12,916			①空き家対策 担当:4件/人 ②イベント担 当:2件/人・ 月			みらい創造室
86 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進⑥	生涯活躍のまちに活かされる多世代交流拠点 としての町営住宅建替えについて、新長江団地 の実施設計、新築工事、移転等を実施。 ●松崎地区町営住宅建設事業(PFI)委託料 (44,523千円)	445,039			①県外からの 移住者:185 人(R4)、925 人(R6) ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数:1団体 (R4)、35団体 (R6)			町民課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (●月現在)	執行済	KPI			担当課
				予算額	達成率	評価	
87 地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊の活用が有効と思われる分野について、関係課の予算措置に基づき、隊員募集を企画課で行う。 【R4年度 募集予定】 ◆関係人口促進担当 1名(産業振興課) ◆健康づくり担当 2名(生涯学習・人権推進課) ◆まちづくり推進担当 2名※うち1名は現隊員の後任) ◆コミュニティガバナードナー 1名	0					企画課
88 地域のにぎわいを創出する事業への支援① コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業 (財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。 ◆通信運搬費 6千円 (交付決定後、補正予算で対応) ◆補助金3件 5,400千円 ①小鹿谷区 1,300千円 ②原区自治会 2,000千円 ③国信自治区 2,100千円 ※6月補正予算計上	5,400					企画課
89 地域のにぎわいを創出する事業への支援② まちづくり創造事業・ステップ事業	まちづくり創造事業・ステップ事業 自主的・継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 ◆交付補助金 700千円 1件200千円×3団体(創造事業) 1件100千円×1団体(ステップ事業) ◆役務費 2千円 ※県費:市町村交付金(1/2)	702					企画課

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (●月現在)	執行済	KPI			担当課
				予算額	達成率	評価	
90 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援③ 集落づくり総合交付金事業	集落づくり総合交付金事業 町内各集落の運営費や防災活動、その他福祉活動等自主的な集落づくり活動などに対して交付金を助成する。 ◆集落運営交付金 ◆自主防災組織運営交付金 ◆防犯灯維持管理交付金 ◆防犯灯設置等交付金 ◆集落活性化交付金 ◆補助金 計 37,517千円 ◆通信運搬費 64千円	37,517		集落づくり総合交付金:76地区(従来75区+レークサイドヴィレッジ1区)			企画課
91 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援④ 地域にぎわい創出事業	町内に旧地区公民館単位を基準とした地域を設定し、その地域が実施する「運動会」、「祭り」などの経費を補助する。 12地域(羽合:7地域、東郷:4地域、泊:1地域) 【補助率・補助金限度額】 補助率:10/10 限度額:地域均等分90,000円+地域の人口×150円 ◆補助金 3,573千円 ◆役務費 6千円	3,579		地域にぎわい創出補助金:12地域			企画課
92 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援⑤ ボランティア団体育成支援事業	ボランティア団体育成支援事業 ボランティア団体の育成を図り、住民参加型の地域活動を促進し、協働のまちづくりを推進する団体を支援する。 ◆補助金 17団体 553千円 ◆消耗品費 24千円 ◆通信運搬費 5千円	582		NPO法人、ボランティアグループの数:2団体増 ※助成金を交付した団体			企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (●月現在)	予算額	KPI			担当課
				達成率	目標	評価	
93 防災対策特別強化事業	湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。15件以上の各種団体・集落における研修を実施する。また、自主防災組織を1地区以上設立する。 ◆報酬 2,123千円 ◆期末手当 407千円 ◆社会保険料 336千円 ◆旅費 10千円 ◆費用弁償 51千円 ◆消耗品 80千円 ◆通信運搬費 10千円	3,017	15件以上の各種団体・集落における研修を実施。また自主防災組織を1地区以上設立する。				総務課
94 小地域拠点集会所等バリアフリー事業	高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるために拠点である地域集会所等のバリアフリー改修に対し助成を行う。上限1,000千円。2/3助成。 ◆補助金 2,000千円	2,000	バリアフリー改修5地区				総合福祉課
95 買い物難民対策事業	高齢者支援のための地域支え合いの手引きの情報を更新し、買い物等不便者の解消を図る。 町社会福祉協議会が実施している「のりあいバス運行事業(週1回運行)」の経費助成を行い、高齢者等の移動手段の確保を図るとともに、より活用しやすいのりあいバス運行事業について検討を進める。また、令和3年度から対象者を拡大した高齢者へのタクシー料金助成事業について、令和4年度よりタクシー乗車券の使用方法が変更されたことについて周知を行い、運転免許許を持っていない高齢者の移動手段の確保を図る。 また、高齢者等の移動手段の拡充について検討を進めたい地域や地域貢献活動を行う民間事業者との協議を進め、のりあいバス事業・高齢者タクシー料金助成事業以外の移動手段について協議を進める。 ①のり合いバス運行事業に対する補助金 補助金 304千円 ②高齢者タクシー料金助成事業 消耗品費 0千円(令和3年度予算で購入した乗車券があり、令和4年度申請者見込分が用意できている為)	3,324	①社会資源の把握、啓発を行い、適切な支援につなげる。 また「のりあいバス事業」の利用者を45人以上とし、運行に係る経費の助成を行う ②利用者を250人以上とする				長寿福祉課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	予算額	実績 (●月現在)	執行済	目標	KPI		担当課
						達成率	評価	
96 小さな拠点事業の推進	令和3年度に地域活動団体が設立され、目標を達成したため、事業完了とする。							みらい創造室
97 ICT推進事業①	行政イントラシステムを活用を奨励し、県内自治体間における業務効率化を促進する。 ◆負担金 62千円	62			県等によるスペース(ワーキンググループ)の立ち上げ件数:8件			企画課
98 ICT推進事業②	鳥取県と県内市町村(一部除く)が、共同で運用している電子申請システムの利用促進と、情報通信技術に関する業務対応が可能な職員育成に努める。	272			5部署以上の職員の研修参加・電子申請取扱い手続き20以上の追加			総務課
99 東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラム	東京大学の学生が自治体の社会的課題解決のため、①事前調査②地域に滞在して現状を体験・把握③課題解決提案に向けた調査④地域及び大学で提案を行う。学生を受け入れることで、湯梨浜町の関係人口の創出を図る。 令和3年度に応募の申込を行ったが、不採択となった。令和4年度は申込を見合わせた。町の主催するセミナーやツアーについて、過去にフィールドスタディに参加した学生と連携して取り組むことにより、町との関係深化を図りたい。	0			交流した学生にゆりはまフェローになってもらう:4人 交流した学生に町施策への提言・参加を受ける:2件			みらい創造室

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	計画	実績 (●月現在)	執行済	KPI			担当課
				予算額	目標	達成率	
100 ふるさと納税 推進事業	ふるさと納税の寄附受け入れ、町特産品(返礼品)送付、定期的な情報提供・町のPRを通じて、寄附リピーターと関係人口の増加を図る。			247,571	メルマガ等による情報提供 100回以上 寄付者数 毎年 10,000人以上 (R3 8,321人 R2 9,126人 R1 16,740人 H30 8,606人 H29 7,059人)		総務課
101 企業版ふるさと納税推進事業	都市部などの企業に総合戦略に係る事業をPRし、事業に対して寄附を募る。本町の取り組みに関心を持っていただくことにより、将来的に人材の交流などに結びつけるなど、企業との連携の深化を図る。 ・トップセールス旅費266千円 ・消耗品費・通信運搬費20千円 ・PRチラシ印刷製本費52千円 ・専門サイト掲載料金330千円 ・基金積立金501千円			1,169	寄附を3,000千円以上受領する。		みらい創造室
102 ゆりはまフェローを核とした関係人口推進事業	【地方創生推進交付金】 地域おこし協力隊によるFacebookのフォローや、町イベント等参加者及びふるさと納税者のうち県外者を「湯梨浜フェロー」と位置付け、町の広告塔としての役割を担っていただくほか、体験ボランティアとして来町していただいたり、交流拠点のイベントに参加していただいたりすることにより、町の関係性を維持し、将来的な移住定住に結びつける。 ※全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」事業の推進と連携実施 ・サマースクール委託料2,771千円 ・ゆるりん館指定管理委託料7,490千円 ・ゆるりん館賃借料779千円			11,040	(地方創生推進交付金) 新たにゆりはまフェローに認定された人数:25人 (R4) ※R4.4.22時点545人		みらい創造室
103 デジタル活用推進事業	地域おこし協力隊による高齢者等情報弱者向けのスマートフォン等の活用や講習会や個人相談会等を開催し、デジタル機器の活用推進を図る。 《R4予算額》4,736千円(報酬1,992千円、期末手当382千円、共済費356千円、活動費1,646千円)			4,736	受講者の延べ人数:486人		企画課

第 2 期 湯梨浜町まち・ひと・しごと 創生総合戦略

鳥取県湯梨浜町

令和 2 年 3 月

(令和 2 年 6 月改訂)

(令和 2 年 1 2 月改訂)

(令和 3 年 6 月改訂)

(令和 4 年 6 月改訂)

— 目 次 —

1	基本的な考え方	1
	(1) 趣旨	1
	(2) 総合戦略の位置づけ	1
	(3) 計画の前提となる社会背景	1
	(4) 計画期間	2
	(5) 目標管理及び見直し（PDCAサイクルの確立）	2
2	目指すべき基本方針	3
	(1) 人口減少（自然減と社会減）に歯止めをかける	3
	(2) 当面避けられない人口減少から生じる諸課題に的確に対応する	3
	【3つの基本目標】	3
3	重点戦略	4
	基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち	4
	① 農林水産業の振興	4
	② 観光産業の振興	5
	③ 商工業の振興	6
	④ 雇用の促進	6
	基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち	7
	① 子育て環境の推進	7
	② 地域福祉の推進	8
	③ 結婚の出会いの場づくりと情報提供	9
	基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち	10
	① 移住定住の推進	10
	② まちのにぎわい創出や拠点の形成	11

1 基本的な考え方

(1) 趣旨

この第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、「湯梨浜町人口ビジョン」に掲げた、本町の未来に向けた3つの基本目標「活力ある元気なまち」、「安心して暮らせるまち」、「町民みんなが創るまち」を実現するためのまち・ひと・しごとに関する総合的な施策を展開し、喫緊の課題である人口減少を克服し、将来の持続的発展可能なまちづくりを進めようとするものです。

平成27年10月に策定した「湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間が令和元年度で終了するにあたり、これまでに湯梨浜町が取り組んできた地方創生施策を検証し、前戦略の取組を継続しつつ、新たな時代に沿った取組を追加し、今後5年間の施策の方向性を示す次期総合戦略を策定します。

(2) 総合戦略の位置づけ

総合戦略は、本町の目指す地方創生を実現するため、町民のみなさんと意識を共有化し、今後目指すべき将来の方向と具体的施策を進めるための指針となるものです。

総合戦略の策定にあたっては、地元で活躍する産学金労言、まちづくり団体、各種団体、主役である町民のみなさんと共に取り組みます。

平成27年に策定した湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗は、全体として概ね順調であり、5年間で「達成済、事業完了」、「計画以上に進んでいる」及び「計画どおりに進んでいる」事業は、全体の64.9%（94項目中61項目）を占めました。今後は、観光客の誘致、町民への仕事の充実、子育てしやすい環境づくりのほか、Society5.0（※1）実現に向けた取り組みやSDGs（※2）を達成するための取り組みをはじめとした、世界の新たな動きに対応していく必要があります。

また、湯梨浜町総合計画等の各種計画との整合性を保ちながら、社会情勢や町民のニーズに的確かつ柔軟に対応し、必要に応じた見直しを行います。

(3) 計画の前提となる社会背景

本町の人口は、1970（昭和45）年以降17,000人台の人口で推移し、安定した人口形態でした。近年では1995（平成7）年以降微増した人口も2005（平成17）年をピークに減少傾向にあります。

この傾向は、本町のみでなく、国全体が「人口減少時代」に突入している中で、人口減少がこのまま続けば、将来的には経済規模や生活サービスの更なる縮小・低下を招きかねません。早急に人口減少に歯止めをかけるとともに、当面避けられない人口減少に的確に対応していくことが必要です。

本町は、上質で豊富な湯量の温泉、全国一の産地である二十世紀梨をはじめとする優れた農産物、日本海の海の幸などの産業のほか、美しい自然環境に恵まれています。それらに関する産業は後継者不足等の様々な課題を抱えています。そのため、町の持つ優れた地域資源や特徴を活かしながら、町の歴史や文化資源との共生、再生と創造を図ることが重要です。また、核家族化等の社会構造の変化や地域社会の復権などにより、子育てしやすい環境づくりや住みやすいまちづくりを進めなければなりません。

これらを総合的に推進することにより、全世代の町民が活躍し、足腰が強く、魅力にあふれるまちをつくり、将来の発展を目指すものです。

(4) 計画期間

総合戦略の計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

(5) 目標管理及び見直し（PDCAサイクルの確立）

総合戦略は、町民、地域、団体、企業、行政など全体で共有し、協働して推進する「公共計画」であるため、計画策定（Plan）、実施（Do）、点検・評価（Check）、改善（Action）の各過程においても、町全体が関わる体制を構築し高い実効性を確保します。

また、重点戦略及び施策に設ける数値目標並びに重要業績評価指標（KPI）については、実施した事業の量を測定するものでなく、その結果によって得られた成果を測定する成果指標を原則とし、目標を明確化することで、町全体での目標の共有化と成果を重視した取り組みを展開します。さらに、点検と評価により、目標の管理を行い、その結果を広く公表するとともに、必要に応じて計画の見直しを行います。

※1

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、新たな社会を指すもので、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。

※2

Sustainable Development Goals の略であり、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を期限とする、先進国を含む国際社会全体の17の開発目標です。また、「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」（平成28年12月22日第2回持続可能な開発目標（SDGs）推進本部決定）において、政府全体及び関係府省庁における各種計画や戦略、方針の策定や改訂に当たっては、SDGsを主流化することとされており、実施のための主要原則の1つに「包摂性」が示されています。なお、17の開発目標については、次のとおりです。



2 目指すべき基本方針

自然減が特に進んできた本町にあって、近年では社会増も見られるようになってきましたが、依然として社会減の傾向が続いています。この両方が進む人口減少問題は、地域経済や地域住民の生活にも大きな影響を与える極めて重要な問題です。

その問題を克服するためには、

(1) 人口減少（自然減と社会減）に歯止めをかける

急激に人口が減少している状況に歯止めをかけ、将来的にある一定水準の人口を保っていくため、

- ①若い世代の結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえることで出生数を増やし、本町の主な人口減少の要因である自然減を抑制する必要があります。
- ②魅力あるしごとの創出や豊かな生活・教育環境の整備により、本町をより住みやすく魅力ある地域にすることで、町内に人を呼び込み、若い世代の町外への流出を防ぎ、確実な社会増への転換を図る必要があります。特に、時代とともに変遷する社会のニーズに対応した地域社会を創る必要があります。

(2) 当面避けられない人口減少から生じる諸課題に的確に対応する

(1) の策を講じて、現在の少子化・高齢化の状況に鑑みれば、人口減少は続くものと見込まれるため、

- ①地域の主体性と創意のもとに、地域の資源や人材を生かし、効率的・効果的な社会・経済システムの構築を通じた持続可能な地域づくりを進める必要があります。
- ②生産年齢人口を見直し、高齢者が引き続き社会で活躍し続ける仕組みを構築し、若年層を補足する必要があります。

そこで、総合戦略では、次の3つの基本目標を設定し、自然減に対し、合計特殊出生率の目標値として、2014（平成26）から2018（平成30）年の5カ年平均1.98を、2030（令和12）年には2.07まで引き上げること、社会減に対する目標値として5年後には転入転出の移動率が均衡に達し社会増を目指していくという将来の目標に向かって、直面する今後5年間の取組を推進します。

【3つの基本目標】

I 活力ある元気なまち

（地域経済の持続的発展のための「しごと」を創る）

II 安心して暮らせるまち

（少子化対策や共に支え合うひとづくりの推進による「ひと」を増やす）

III 町民みんなが創るまち

（地域の持続的発展のための活力維持による「まち」を創る）

3 重点戦略

湯梨浜町総合戦略では、「活力ある元気なまち」、「安心して暮らせるまち」、「町民みんなが創るまち」の3つの基本目標に沿って、先駆的・重点的に取り組む施策を展開します。

基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち

活力ある元気なまちづくりを行うため、地域資源を活かした個性豊かな産業の振興に努めながら、既存産業の充実はもとより、様々な産業の連携による新たな活力を創出します。

《SDGsの関連目標》



●数値目標（令和6年度）

指標	数値目標
温泉宿泊客数	17万人（年間）
新規就業者数（常用雇用）	200人（年間）

●基本的方向

- 二十世紀梨等の特産物を活かした果物大国を目指す農業、東郷池のシジミや日本海の豊富な水産物を活かした漁業、町土の半分を占める森林を活かした林業、地場産業の振興に努めます。
- 温泉や歴史・文化、自然・健康、環境を活かした観光の振興を図り、交流人口の増加に努めます。
- 「グラウンド・ゴルフ」や「ウォーキング」など本町の特性を活かしたまちづくりを推進します。
- 行政、町内の様々な団体、企業などによる連携体制を強化し、商工業の発展に努めます。
- 企業の新規立地や付加価値向上のための様々な取り組みを行うことにより、人材育成と雇用の確保に努めます。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①農林水産業の振興

《具体的施策》

- 二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大国」の推進
- 新規就農者の増加支援、担い手確保・育成、集落営農化の促進
- 農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓
- 遊休農地及び耕作放棄地解消への対策
- 東郷池や日本海の豊富な水産物を活かした漁業の振興
- 森林を活かした林業の振興

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
梨栽培面積	138ha	130ha

梨新品種への改植・新植	6.09ha	5.0ha (R2~6)
新規就農者	16人	26人
認定農業者(家)数	47経営体	57経営体
GIマーク、商標権、意匠権等の取得件数	1件	3件 (R2~6)
利用権設定面積	264.9ha	300ha
シジミの漁獲量	556t	560t (R2~6)
漁業経営体数	40経営体	40経営体

《具体的事業》

- 農産物販路拡大及びブランド化推進事業
- 鳥取梨等生産振興事業（農業生産現場強化事業）
- 湯梨浜版担い手認定
- 中核的担い手農家育成奨励金交付事業（農業生産現場強化事業）
- 農林水産物等販売促進事業
- 東郷湖漁業振興事業
- 沿岸漁業活性化推進事業
- 特産果物生産振興事業
- 森林環境税関連事業
- ゆりはま農作業体験ツアー

②観光産業の振興

《具体的施策》

- 「グラウンド・ゴルフ」や「ウォーキング」など本町の特性を活かし、国内はもとよりインバウンドを推進
- はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上（滞在型観光・周遊観光の推進）
- 天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進
- 観光客に対応したWi-Fiの整備、誘客キャンペーンなどの推進（多言語対応、利便性の向上）
- 戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
海外からのイベント参加者数	816人	2,296人
海外からのイベント参加国数	22カ国	32カ国
外国人宿泊者数	4,018人	8,500人以上 (年間)
着地型観光商品利用者数	1,155人 (年間)	2,000人以上 (年間)

《具体的事業》

- グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進
- ウォーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進
- ~~子ロハカーニバル事業~~
- 天女のふる里づくり事業
- 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進（広域連携）

- 教育旅行のメニュー開発事業
- ワーケーション推進事業
- 食と健康のまちづくり事業

③商工業の振興

《具体的施策》

- 事業所の新設や新分野への進出、新製品開発、6次産業化等に対する支援
- 地元資源を活用した町内商工業者の振興と活性化の推進
- ICTを活用したコンテンツ系企業など企業誘致の推進
- 商工団体など関係機関と連携した事業承継の推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
支援制度を活用した起業事業者数	32件	25件（R2～6）
事業承継に着手した事業者数	—	10事業者

《具体的事業》

- ゆりはまじげ産業支援事業
- チャレンジショップ支援事業
- ~~アロハカーニバル事業〈再掲〉~~
- ふるさと名物応援事業
- 環境創出プロジェクト事業

④雇用の推進

《具体的施策》

- 地場産業の振興、起業家支援、企業誘致や雇用奨励制度などによる雇用の創出
- 就職情報提供による企業と学生とのマッチング促進
- 高齢者の経験や知識を活用した就労の支援

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
支援制度を活用した雇用者数	14人	15人（R2～6）

《具体的事業》

- 看護師、保育士奨学金助成事業
- チャレンジショップ支援事業〈再掲〉
- 雇用促進奨励金事業
- 就職関連情報提供事業
- 企業誘致用地等情報提供事業
- ビジネス人材移住支援事業
- 中学校跡地施設活用事業

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

安心して子育てができる環境を整備するとともに、出会いと、子どもから高齢者、障がいのある人など、すべての人が笑顔にあふれ、いつまでも健康で生きがいの持てる安心、安全のまちづくりを推進します。

《SDGsの関連目標》



●数値目標（令和6年度）

指標	数値目標
合計特殊出生率	2.07
出生数	150人（年間）

●基本的方向

- 全国的に急速な少子化が進み、また、家庭及び地域を取り巻く環境が変化する中で、安心して子どもを産み育てるための総合的な支援施策や福祉施策の実施を推進します。
- 共に支え合い安心して暮らせるまちづくりを推進するため、お年寄りや障がいのある人を地域で支える取り組みを推進します。
- 人との絆や地域のつながりを活かしながら出会い・結婚を望む方を応援します。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①子育て環境の推進

《具体的施策》

- 安心して子育てができる保育サービスの充実など環境整備の推進（子育て世代の経済的な負担の軽減）
- 妊娠期から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップ化の推進
- 放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの推進
- 子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える教育環境づくりの推進
- 地域の中で育ち、湯梨浜のすばらしさを体感し、ふるさとに愛着を持ち大切に守っていかうとするふるさと教育の推進
- 仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの環境づくりを事業者とともに推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
2歳未満児を家庭で子育てする率	—	70.3%
第3子以降出産数	145人	150人(R2~6)
こども園待機児童数	4人	0人
自主学習の広場利用者数	小学生 259人	小学生 509人

	中学生 83人	中学生 183人 (R2~6)
ふるさとを愛する児童の割合	87.4%	85%以上
鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数	16社	21社
イクボス宣言企業数	—	17社

《具体的事業》

- 家庭子育て支援事業
- 多子世帯保育料軽減事業
- 第3子以降中学校卒業祝金支給事業
- 子育て世代包括支援センターの整備
- 不妊治療費助成事業
- ファミリーサポートセンター事業の充実
- 病児・病後児・夜間保育事業（広域連携）
- 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進
- SNS等による子育て支援情報の提供
- ゆりはま自主学習の広場事業
- 学校支援ボランティア事業の推進
- ふるさと教育の推進
- 小学校社会科副読本作成事業
- ワーク・ライフ・バランスセミナー事業

②地域福祉の推進

《具体的施策》

- 地域や個人に密着した健康づくりの推進
- ボランティアとして地域の自主的な介護予防や健康づくり活動の指導や支援の推進
- 保健師等による定期的な訪問による、相談体制の充実を図る
- 町民や移住者が健康で生涯活躍ができるまちを推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」事業に参画する民間事業者・団体数	30団体	35団体
食と健康のまちづくり事業による測定数値改善割合	55.32%	70%以上

《具体的事業》

- 地域で取り組む介護予防活動推進事業
- 歯・口の健康づくり推進事業
- 健康相談・健康教室等の実施
- SIBを活用した飛び地型自治体連携事業（食と健康のまちづくり事業）
- 全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」事業の推進
- 町民総スポーツの推進による一人ひとりが輝く生涯活躍のまちづくり

③結婚の出会いの場づくりと情報提供

《具体的施策》

- 結婚を希望する男女の出会いの機会を創出する縁結び支縁員の活動を支援するとともに情報提供を行い、少子化・定住化対策の推進
- 出会いや交流機会が広がるよう、広域連携を含めた出会いの場づくりの推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
結婚支援事業による婚姻件数	1 件	6 件

《具体的事業》

- 縁結び支縁員事業
- 婚活イベント事業（広域連携）

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

豊かな自然環境を活かしながら本町の魅力を発信し、都市部からのひとの流れをつくとともに、町民一人ひとりが積極的にまちづくりに参画し、町民と行政が連携・協働してまちづくりを推進します。

《SDGsの関連目標》



●数値目標（令和6年度）

指標	数値目標
県外からのI J Uターン者数	925人（R2～6）
転入転出異動	均衡【累計】

●基本的方向

- 超高齢化の進行や社会情勢の変化により、人口減少・空き家が増加していることから、町の魅力を積極的に発信しながら、移住希望者への支援体制を整備し、移住定住を促進します。
- 生活様式や個人の価値観が多様化する中、今以上にコミュニティの醸成を図るため、町民や団体が主体となって行うまちづくり活動を支援します。
- 地域住民が主体的・意欲的に取り組む地域を守る防災体制づくりや、だれもが参加しやすい拠点づくり、基盤整備を推進します。
- NPO法人、ボランティアグループの育成を図り、各分野における住民参画を促進します。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①移住定住の推進

《具体的施策》

- 多様な移住ニーズに対応する相談体制の充実やI J Uターンの促進に向け広く本町の魅力を発信
- 若者夫婦や子育て世代の住宅支援をはじめ、町内への移住や定住を促進
- 空き家を活用して移住希望者が求める住まい環境づくりを推進
- 移住定住希望者が本町の暮らしを体験できるよう、お試し住宅の設置や環境づくりを図る
- 鳥取大学等との連携による「地（知）の拠点COC+」事業に参画し、地域の活性化・定住化につながる人材の育成を図る

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
空き家バンク成約件数	13件	20件（R2～6）
若者・子育て世代の移住件数	91件	90件（R2～6）

《具体的事業》

- I J Uターン促進事業
- 空き家情報バンク活用促進事業

- 空き家対策事業
- 移住定住者住宅支援事業
- 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業
- 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業
- 結婚新生活支援事業
- 三世帯同居等支援事業
- 移住者運転免許証取得支援事業
- 住宅取得仲介報酬助成事業
- お試し住宅運営事業
- ふるさと奨学資金貸与事業〈再掲〉
- 全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」事業の推進〈再掲〉

②まちのにぎわい創出や拠点の形成

《具体的施策》

- 町民や団体が主体となって創意工夫による魅力的な地域づくり活動を支援
- 災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が主体的・意欲的に取り組む防災対策を推進
- いつでも、誰もが集える拠点を整備するためバリアフリーなど環境づくりを推進
- 分散している様々な生活サービスや地域活動の場などをつなぐ「小さな拠点」づくりを推進する
ほか、企業等と連携した移動販売や買い物支援など多機能なサービスの充実を図る
- 山陰自動車道（北条道路）の観光・企業誘致への活用及び緊急時、福祉、健康対応のためのユニバーサルデザインによる道路などの基盤整備を推進
- 地域に伝わる伝統芸能活動や文化資源の活用による地域振興
- ICTの急速な進化がもたらす社会への対応
- 地域資源を有効活用した「癒しの地域づくり」の推進
- 温泉熱・風力・太陽光など自然エネルギーの利活用を図る
- 環境・健康づくり・福祉・教育等様々な分野における団体の育成を図り、自助・共助を推進する
ほか、住民参画による行政推進を目指す
- 観光地周辺の道路などの基盤整備を推進
- 地域課題の解決や将来的な移住への裾野を拡大するため、地域住民との交流や町との関わりを継続する関係人口の創出、拡大を目指す

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
新規自主防災組織取組件数	71件	75件
集会所バリアフリー件数	19件	44件
小さな拠点づくりにおける地域活動団体の設立	0団体	1団体
温泉熱エネルギー利用施設数	3施設	4施設
NPO法人、ボランティアグループの数	48団体	55団体

《具体的事業》

- 地域おこし協力隊事業
- 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援
- 防災対策特別強化事業
- 小地域拠点集会所等バリアフリー事業

- 買い物難民対策事業
- 小さな拠点事業の推進
- I C T推進事業
- 大学生によるフィールドスタディ型政策協働プログラム
- ふるさと納税推進事業
- 企業版ふるさと納税推進事業
- ゆりはまフェローを核とした関係人口推進事業
- デジタル活用推進事業